



土木施工管理システム [エクストレンド武蔵]

コマンドリファレンス

本書では、EX-TREND武蔵の各プログラムのコマンドを紹介しています。コマンドの詳細は、ヘルプを参照してください。

(※解説がオプションプログラムの内容である場合があります。ご了承ください。)

ご注意

- (1) 本ソフトウェアおよび本文の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本ソフトウェアおよび本文の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- (3) 本ソフトウェアを複数の機械で同時に使用する場合は、機械と同数の本ソフトウェアが必要です。
- (4) 本ソフトウェアの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)の項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- (6) 弊社以外のソフトウェアに関するお問い合わせはご遠慮願います。
- (7) データのバックアップについて
お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVDなど)に保存してください。
また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

-
- Microsoft、Windows、Windows Vista、SQL Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
 - Windows の正式名称は、Microsoft (R) Windows (R) Operating System です。
 - Windows Vista の正式名称は、Microsoft (R) Windows Vista (R) Operating System です。
 - UNLHA32.DLL は、Micco 氏のフリーソフトウェアです。
 - 7-Zip
Copyright (C) 1999-2011 Igor Pavlov.
 - LEADTOOLS
Copyright (C) 1991-2009 LEAD Technologies, Inc.
 - Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Acrobat、Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
 - LaLaVoice (TM) は、株式会社東芝の商標です。
 - 東芝製音声合成及び音声認識ソフトウェアの著作権は、全て株式会社東芝に帰属します。
 - Antenna House PDF Driver
Copyright (C) 2004- Antenna House, Inc.
 - ImageKit7
Copyright (C) 2005 Newtone Corp.
 - InstallShield2013
Copyright (C) 2013 Flexera Software LLC. Flexera Software および InstallShield は、Flexera Software LLC の商標です。その他すべてのブランドおよび製品名は、各社の登録商標または商標です。
 - LandXML Software Developers Kit Version 1.1
Copyright (C) 1999-2006 LandXML.org. All rights reserved.
 - Apache License2.0
Xerces is Copyright (C) 1999-2006 The Apache Software Foundation.
 - 解説画面を含め、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
 - BLUETREND、EX-TREND、EX-TREND武蔵およびEX-TREND MUSASHIは、福井コンピュータ株式会社の登録商標です。

目次

EX-TREND 武蔵 コマンドリファレンス

インデックス

1	インデックス[工事一覧]の画面構成	2
2	インデックス[工事一覧]のコマンドの紹介	3
	[ファイル]メニューのコマンド	3
	[工事]メニューのコマンド	3
	[分担作業]メニューのコマンド	4
	[表示]メニューのコマンド	4
	[ツール]メニューのコマンド	4
	[ヘルプ]メニューのコマンド	5
3	インデックス[武蔵データ]の画面構成	6
4	インデックス[武蔵データ]のコマンドの紹介	7
	[ファイル]メニューのコマンド	7
	[武蔵データ]メニューのコマンド	7
	[日報]メニューのコマンド	7
	[表示]メニューのコマンド	7
	[ヘルプ]メニューのコマンド	8
5	インデックス[スケジュール]の画面構成	9
6	インデックス[スケジュール]のコマンドの紹介	10
	[ファイル]メニューのコマンド	10
	[日報]メニューのコマンド	10
	[表示]メニューのコマンド	10
	[ヘルプ]メニューのコマンド	10
7	インデックス[工事成果]の画面構成	11
8	インデックス[工事成果]のコマンドの紹介	12
	[ファイル]メニューのコマンド	12
	[工事成果]メニューのコマンド	12
	[日報]メニューのコマンド	12
	[表示]メニューのコマンド	12
	[ヘルプ]メニューのコマンド	12

施工計画書作成支援

1 施工計画書作成支援の画面構成	14
2 施工計画書作成支援のコマンドの紹介	15
2-1 [ページ編集]のコマンド	15
2-2 書類内容編集(Excel)のコマンド	16
2-3 [変更履歴編集]のコマンド	18
2-4 [マスタ管理]のコマンド	19

工程管理

1 工程管理の画面構成	22
2 工程管理のコマンドの紹介	23
2-1 アプリケーションボタンのコマンド	23
2-2 [ホーム]タブのコマンド	24
2-3 [データ作成]タブのコマンド	24
2-4 [工程表]タブのコマンド	26
2-5 [実績]タブのコマンド	27

建設 CAD

1 建設CADの画面構成	30
2 建設CADのコマンドの紹介	31
2-1 CADのメニューバーのコマンド	31
[ファイル]メニューのコマンド	31
[編集]メニューのコマンド	32
[測量計算]メニューのコマンド	33
[CAD]メニューのコマンド	33
[入力]メニューのコマンド	35
[土木]メニューのコマンド	38
[建設]メニューのコマンド	41
[データ編集]メニューのコマンド	41
[ラスベク変換]メニューのコマンド	43
[設定]メニューのコマンド	43
[3D]メニューのコマンド	46
[ツール]メニューのコマンド	46
[ヘルプ]メニューのコマンド	47
2-2 座標入力のメニューバーのコマンド	48
2-3 座標プロットのメニューバーのコマンド	49
2-4 トラバース計算のメニューバーのコマンド	49
2-5 杭打ち計算のメニューバーのコマンド	50

2-6 線形計算のメニューバーのコマンド	51
2-7 縦断線形のメニューバーのコマンド	53
2-8 横断丁張のメニューバーのコマンド	54
2-9 舗装展開図のメニューバーのコマンド	57
2-10 擁壁展開図のメニューバーのコマンド	57
2-11 法面展開図のメニューバーのコマンド	58
2-12 切削オーバーレイのメニューバーのコマンド	58
2-13 3次元設計データ作成のメニューバーのコマンド	60

出来形管理

1 出来形管理の画面構成	65
2 出来形管理のコマンドの紹介	66
[ファイル]メニューのコマンド	66
[編集]メニューのコマンド	66
[データ入力]メニューのコマンド	66
[成果編集]メニューのコマンド	68
[表示]メニューのコマンド	69
[設定]メニューのコマンド	69
[ツール]メニューのコマンド	70
[ヘルプ]メニューのコマンド	70

舗装出来形管理

1 舗装出来形管理の画面構成	72
2 舗装出来形管理のコマンドの紹介	73
アプリケーションボタンのコマンド	73
[ホーム]タブのコマンド	73

写真管理

1 写真管理の画面構成	75
2 写真管理のコマンドの紹介	76
[ファイル]メニューのコマンド	76
[編集]メニューのコマンド	76
[入力・編集]メニューのコマンド	76
[アルバム]メニューのコマンド	77
[電子納品]メニューのコマンド	78
[表示]メニューのコマンド	78
[ツール]メニューのコマンド	78
[ヘルプ]メニューのコマンド	79

アルバム編集

1 アルバム編集の画面構成	81
2 アルバム編集のコマンドの紹介	82
[ファイル]メニューのコマンド	82
[編集]メニューのコマンド	82
[専用]メニューのコマンド	82
[入力]メニューのコマンド	84
[修正]メニューのコマンド	85
[設定]メニューのコマンド	85
[表示]メニューのコマンド	86
[ツール]メニューのコマンド	86
[ヘルプ]メニューのコマンド	87

アスファルト温度管理

1 アスファルト温度管理の画面構成	90
2 アスファルト温度管理のコマンドの紹介	90
[ファイル]メニューのコマンド	90
[編集]メニューのコマンド	90
[データ入力]メニューのコマンド	90
[成果編集]メニューのコマンド	91
[表示]メニューのコマンド	92
[設定]メニューのコマンド	92
[ツール]メニューのコマンド	93
[ヘルプ]メニューのコマンド	93

コンクリート品質管理

1	コンクリート品質管理の画面構成	95
2	コンクリート品質管理のコマンドの紹介	96
	[ファイル]メニューのコマンド	96
	[編集]メニューのコマンド	96
	[データ入力]メニューのコマンド	96
	[成果編集]メニューのコマンド	97
	[表示]メニューのコマンド	98
	[設定]メニューのコマンド	99
	[ツール]メニューのコマンド	99
	[ヘルプ]メニューのコマンド	100

電子品ツール

1	電子品ツールの画面構成	102
2	電子品ツールのコマンドの紹介	103
	[ファイル]メニューのコマンド	103
	[編集]メニューのコマンド	104
	[表示]メニューのコマンド	105
	[設定]メニューのコマンド	106
	[ツール]メニューのコマンド	106
	[ヘルプ]メニューのコマンド	107

原価工程管理

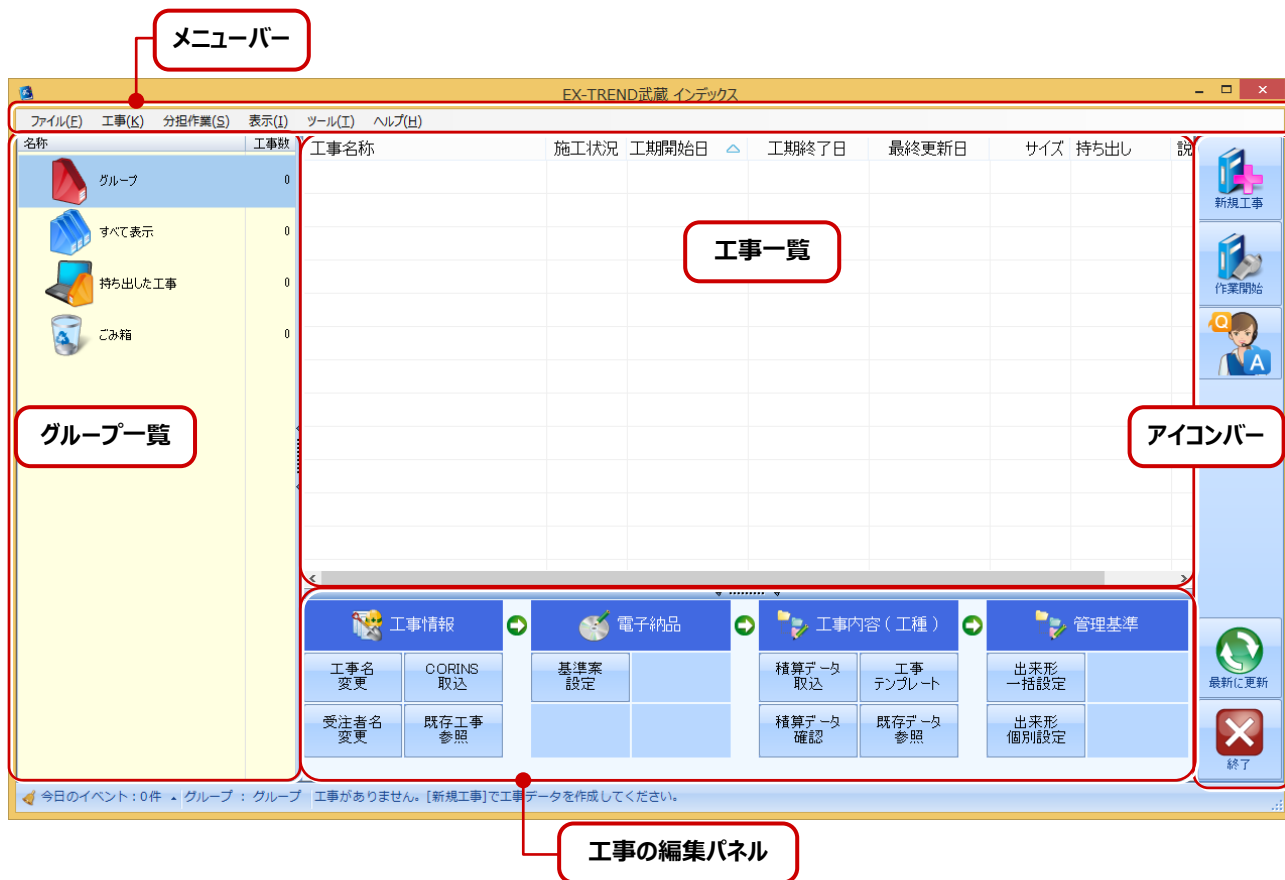
1	原価工程管理の画面構成	109
2	原価工程管理のコマンドの紹介	110
	2-1 アプリケーションボタンのコマンド	110
	2-2 [ホーム]タブのコマンド	111
	2-3 [予算書]タブのコマンド	111
	2-4 [工程表]タブのコマンド	113
	2-5 [実績]タブのコマンド	114
	2-6 [進捗]タブのコマンド	116

インデックス

1 インデックス[工事一覧]の画面構成

インデックス

インデックス[工事一覧]の画面まわりの機能を確認します。



インデックス[工事一覧]の画面構成

メニューバー	コマンドが関連性のあるコマンドごとにメニューで分類されています。
グループ一覧	工事をグループごとに管理します。グループは5階層まで作成可能です。右クリックで表示されるポップアップメニューで追加・編集・削除できます。
工事一覧	「グループ一覧」で選択中のグループ内の工事を一覧表示します。
アイコンバー	[新規工事][作業開始][QA][最新に更新][終了]のアイコンを表示します。 [QA]では、お困りごとを検索することができます。
工事編集パネル	[工事情報][電子納品][工事内容(工種)][管理基準]を編集するコマンドが用意されています。

2 インデックス[工事一覧]のコマンドの紹介

インデックス[工事一覧]のメニューバーのコマンドを紹介します。

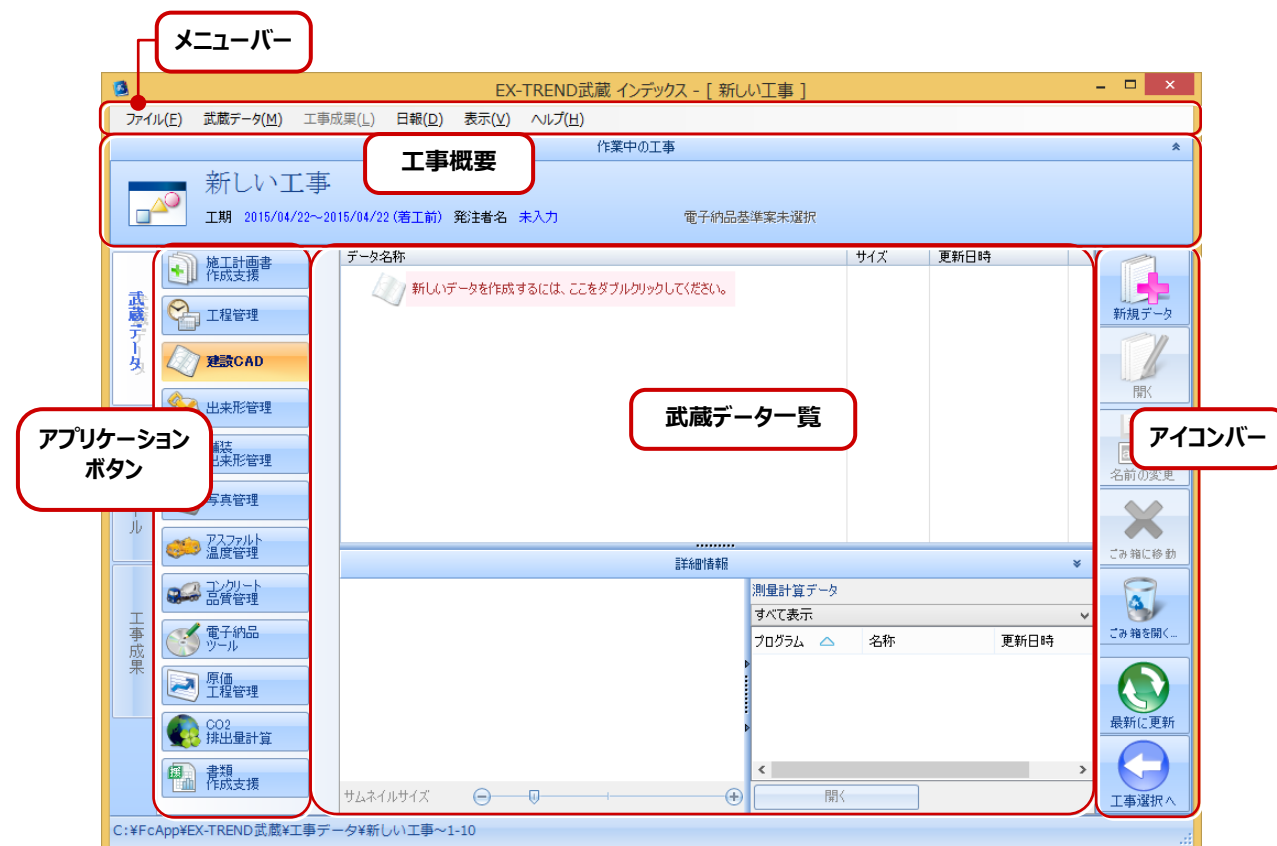
[ファイル]メニューのコマンド	
新規工事を作成する ()	工事を新規作成します。
作業を開始する ()	選択した工事・分担作業を開いて作業を開始します。
自社情報	自社の各情報を設定します。自社情報は組織マスタにも追加されます。社名、住所など自社情報を設定しておく、武蔵シリーズの各アプリケーションで、各工事概要表記箇所などへの再入力の手間を省くことができます。
資機材・組織・人材マスタ(共通)	各工事で使用する共通マスタを編集します。
起動パスワードの設定	インデックス起動時のパスワードを設定、または変更します。 パスワードは 1 つだけ設定可能で、6 文字以上 20 文字以下の半角文字を使用してください。ただし、使用できる文字は半角の英数字・記号・空白のみで、英字のみ／数字のみのパスワードは設定できません。
初期状態に戻す	ウインドウの前回位置、ダイアログの前回入力値などを、初期インストール状態に戻します。
EX-TREND 武蔵を終了する ()	インデックスを終了します。
[工事]メニューのコマンド	
工事情報	選択した工事の工事情報を確認・編集します。
工事内容	工種分類・資機材・出来形管理基準・社内規格値など、武蔵シリーズのアプリケーション間で共有する情報を設定します。
電子納品要領・基準案の選択	電子納品データを提出する機関・団体、適用事業、要領案を選択します。
持ち出し	ネットワーク上に保存されている工事データをローカルマシンにコピーして、ネットワークから切り離された環境でも作業することができます。
持ち出し終了	持ち出した工事をネットワーク上に戻します。
複製	選択されている工事を、同じグループ内にコピーします。
所属グループの変更	工事の所属グループを変更します。
ごみ箱に移動	選択した工事をごみ箱に移動します。
使用状態の強制解除	使用状態または持ち出し状態を強制解除して、工事を編集できるようにします。
成果フォルダの設定	[工事成果]画面の[成果フォルダ]を作成、または削除します。また、成果データの保存先を設定します。
成果設定テンプレート	[工事成果]画面において成果を管理するチェックリストのテンプレートを取り込みます。「成果設定のテンプレート」とは、[工事成果]画面で設定した「成果チェックリスト」と「成果フォルダ」およびその関連情報のことです。
工事アイコンの変更	[工事一覧]画面に表示されるアイコンを変更します。
資機材の編集	各工事内で使用する工事マスタを編集します。

[分担作業]メニューのコマンド	
追加	分担作業を作成し工事に対する作業を複数人が並行してできるようにします。分担は武蔵データ毎でおこないます。分担された作業を任意の一人が作業中のときは、他の人は作業できません。
情報の編集	分担作業のアイコン、名称などを編集します。
終了	分担している工事データを、元工事に統合します。
持ち出し	ネットワーク上に保存されている分担工事データをローカルマシンにコピーして、ネットワークから切り離された環境でも作業することができます。
持ち出し終了	持ち出した分担工事をネットワーク上に戻します。
[表示]メニューのコマンド	
工事の並び順	[工事一覧]画面の工事の並び順を変更します。
工事の絞り込み	[工事情報]ダイアログの入力内容を元に条件を設定して、表示される工事を絞り込みます。
最新の情報に更新する ()	画面を最新の状態に更新します。
グループ	グループ一覧の表示・非表示を切り替えます。
工事の編集パネル	工事の編集パネルの表示・非表示を切り替えます。
工事の表示方法—一覧	工事の表示を一覧表示に切り替えます。
工事の表示方法—工程	工事の表示を工程表示に切り替えます。
工事の表示方法—詳細	工事の表示を詳細表示に切り替えます。
工事詳細情報の自動取得	インデックス起動時などに画面表示が遅い場合は、このコマンドをオフにしてみてください。工事データサイズ・アプリケーションデータの取得を省いて表示を早くします。
次回起動時最後に編集した工事を開く	インデックス次回起動時に、最後に編集した工事を開いた状態で起動します。
[ツール]メニューのコマンド	
パスの設定	工事データ、バックアップデータ、分類情報、豆図、成果設定などの保存フォルダパスを確認・変更します。
工事のバックアップ	工事単位でバックアップします。バックアップアラート機能を利用して、定期的にバックアップすることをお勧めします。
工事のバックアップアラート	工事のバックアップを忘れないように警告メッセージを定期的に表示させるための機能です。工事の作業終了時に、前回バックアップから指定した日数以上経過している場合に、警告メッセージ(アラート)を表示します。
工事のリストア	バックアップした工事データを、インデックスでできるように戻します。バックアップ時のグループがある場合はそのグループに戻りますが、存在しない場合はバックアップ時のグループが作成されます。
工事の合成	工事データを合成します。
工事のごみ箱	ごみ箱に移動した工事を復元、または完全に削除します。 Data フォルダの空き容量を増やしたい時は、「完全削除」「ごみ箱を空にする」をおこないます。
工事の検索	指定したフォルダー内の工事データを、[工事情報]ダイアログの入力内容を元に検索します。

[ツール]メニューのコマンド	
工事一覧のエクセル出力	グループごとに各工事の工事情報を一覧にして、エクセルに出力します。
一括処理-工事の一括バックアップ	複数の工事を一括でバックアップします。
一括処理-工事の一括リストア	バックアップした複数の工事データを、インデックスでできるように戻します。バックアップ時のグループがある場合はそのグループに戻りますが、存在しない場合はバックアップ時のグループが作成された状態で工事データが戻ります。
一括処理-工事の一括ごみ箱移動	工事を一括でごみ箱に移動します。
一括処理 -工事の一括所属グループ変更	工事の所属グループを一括変更します。
設定のバックアップ	EX-TREND 武蔵シリーズ使用する共通設定、辞書などをバックアップします。
設定のリストア	バックアップしたインデックスの設定関係ファイルをインデックスに復元します。
旧バージョンの工事データ取込	インデックスの旧バージョンの工事データ(ごみ箱データ含む)、武蔵 2011R2 以前の工事管理の工事データ・バックアップデータ、施工管理データを取り込んでインデックスでできるようにします。
工事管理設定のリストア	武蔵 2011R2 以前の《工事管理》を使用してバックアップした設定関係ファイルをインデックスに復元します。
[ヘルプ]メニューのコマンド	
ヘルプ	インデックスのヘルプを表示します。
各種資料	「各種資料」の目次を表示します。
武蔵.TV	武蔵.TV を利用します。
よくある質問と回答	よくある質問と回答を利用します。
FC コンシェルジュ	FC コンシェルジュを利用します。
リモートサポート	リモートサポートを利用します。
ローカルマスターの更新	各省庁／地域のローカルマスターを新規インストール・更新インストール、またはアンインストールします。 インターネットに接続して、弊社のサーバーから最新のローカルマスターに更新します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

3 インデックス[武蔵データ]の画面構成

インデックス[武蔵データ]の画面まわりの機能を確認します。



インデックス[武蔵データ]の画面構成

メニューバー	コマンドが関連性のあるコマンドごとにメニューで分類されています。
工事概要	工事アイコン、工事名称、工期、施工状況、発注者名、電子納品基準案を表示します。リンクをクリックするとダイアログ(編集不可)を表示して詳細を確認できます。
アプリケーションボタン	データを作成するアプリケーションのボタンをクリックして選択します。 「商品を購入されていない」「アプリケーションがインストールされていない」「バージョンが古い」など、アプリケーションが使用できない状態の場合は選択できません。
武蔵データ一覧	選択したアプリケーションの武蔵データを作成・編集・管理します。
アイコンバー	[新規データ][開く][名前の変更][ごみ箱に移動][ごみ箱を開く][最新に更新][工事選択へ]のアイコンを表示します。

4 インデックス[武蔵データ]のコマンドの紹介

インデックス[武蔵データ]のメニューバーのコマンドを紹介します。

[ファイル]メニューのコマンド

工事選択 ()	開いている工事・分担作業を閉じて、[工事一覧]画面に戻ります。
工事情報の参照	工事情報を参照します。編集はできません。
電子納品要領・基準案の参照	電子納品要領・基準(案)の選択を確認します。編集はできません。
ひな形ファイルの登録・編集	ひな形フォルダの管理、およびひな形ファイルの編集・属性の設定などをおこないます。
EX-TREND 武蔵を終了する	EX-TREND 武蔵を終了します。

[武蔵データ]メニューのコマンド

新規データ ()	新規にデータを作成します。
開く ()	選択したデータを開きます。
名前の変更 ()	選択した武蔵データの名称を変更します。
ごみ箱に移動 ()	選択した武蔵データを「ごみ箱」に移動します。[ごみ箱を開く]コマンドで元に戻すことができます。
複製	選択中の武蔵データを複製します。
グループの変更	選択中の武蔵データをグループに移動します。
ごみ箱を開く ()	ごみ箱内の武蔵データを元に戻す、または完全に削除します。
グループ構成の編集	武蔵データグループの構成を変更します。
データの取込	「建設 CAD」ファイル(mss、ファイル指定)、「電子納品ツール」ファイル(enx/eno、ファイル指定)、「工程管理」(shm、ファイル指定)・「原価工程管理」(csm、ファイル指定)、「CO2 排出量計算」ファイル(eco、ファイル指定)を作業中の工事に取り込みます。
最新の情報に更新	最新の状態に更新します。

[日報]メニューのコマンド

「6 インデックス[スケジュール]のコマンド紹介」の「[日報]メニューのコマンド」と同じです。(P.10 参照)

[表示]メニューのコマンド

工事概要	工事概要の表示・非表示を切り替えます。
武蔵データ	武蔵データ画面の表示・非表示を切り替えます。
スケジュール	スケジュール画面の表示・非表示を切り替えます。
工事成果	工事成果画面の表示・非表示を切り替えます。
チェックリスト	チェックリストの表示・非表示を切り替えます。

[表示]メニューのコマンド	
成果フォルダ	成果フォルダの表示・非表示を切り替えます。
サブフォルダ以下のファイルを表示	成果フォルダ内のサブフォルダのファイルの表示・非表示を切り替えます。
次回起動時最後に編集した工事を開く	インデックス次回起動時に、最後に編集した工事を開いた状態で起動します。
[ヘルプ]メニューのコマンド	
「2 インデックス[工事一覧]のコマンド紹介」の「[ヘルプ]メニューのコマンド」と同じです。(P.5 参照)	

5 インデックス[スケジュール]の画面構成

インデックス[スケジュール]の画面まわりの機能を確認します。



インデックス[スケジュール]の画面構成

メニューバー	コマンドが関連性のあるコマンドごとにメニューで分類されています。
工事概要	工事アイコン、工事名称、工期、施工状況、発注者名、電子納品基準案を表示します。リンクをクリックするとダイアログ(編集不可)を表示して詳細を確認できます。
予定一覧	カレンダーで選択中の日(週)のイベント、書類の編集履歴、日報作成、工程管理、原価工程管理で作成された工程を表示します。
カレンダー	イベント、書類の編集履歴、日報作成などの情報をカレンダー表示します。
工種分類ツリー	工種分類をツリー表示します。また工程管理、原価工程管理で作成された工程を表示します。
アイコンバー	[新規イベント][書類作成][開く][最新に更新][工事選択へ]のアイコンを表示します。

6 インデックス[スケジュール]のコマンドの紹介

インデックス[スケジュール]のメニューバーのコマンドを紹介します。

[ファイル]メニューのコマンド

工事選択 ()	開いている工事・分担作業を閉じて、[工事一覧]画面に戻ります。
工事情報の参照	工事情報を参照します。編集はできません。
電子納品要領・基準案の参照	電子納品要領・基準(案)の選択を確認します。編集はできません。
ひな形ファイルの登録・編集	ひな形フォルダの管理、およびひな形ファイルの編集・属性の設定などをおこないます。
EX-TREND 武蔵を終了する	EX-TREND 武蔵を終了します。

[日報]メニューのコマンド

今日の日報を作成	今日の日付の日報を作成します。
選択した日の日報を作成	スケジュール画面のカレンダーで選択中の日付の日報を作成します。
削除	日報を削除します。
集計	日報に入力された施工数量、労務、機械などを集計し、集計表を作成します。
設定	日報に使用するファイルを、提出先ごとに設定します。

[表示]メニューのコマンド

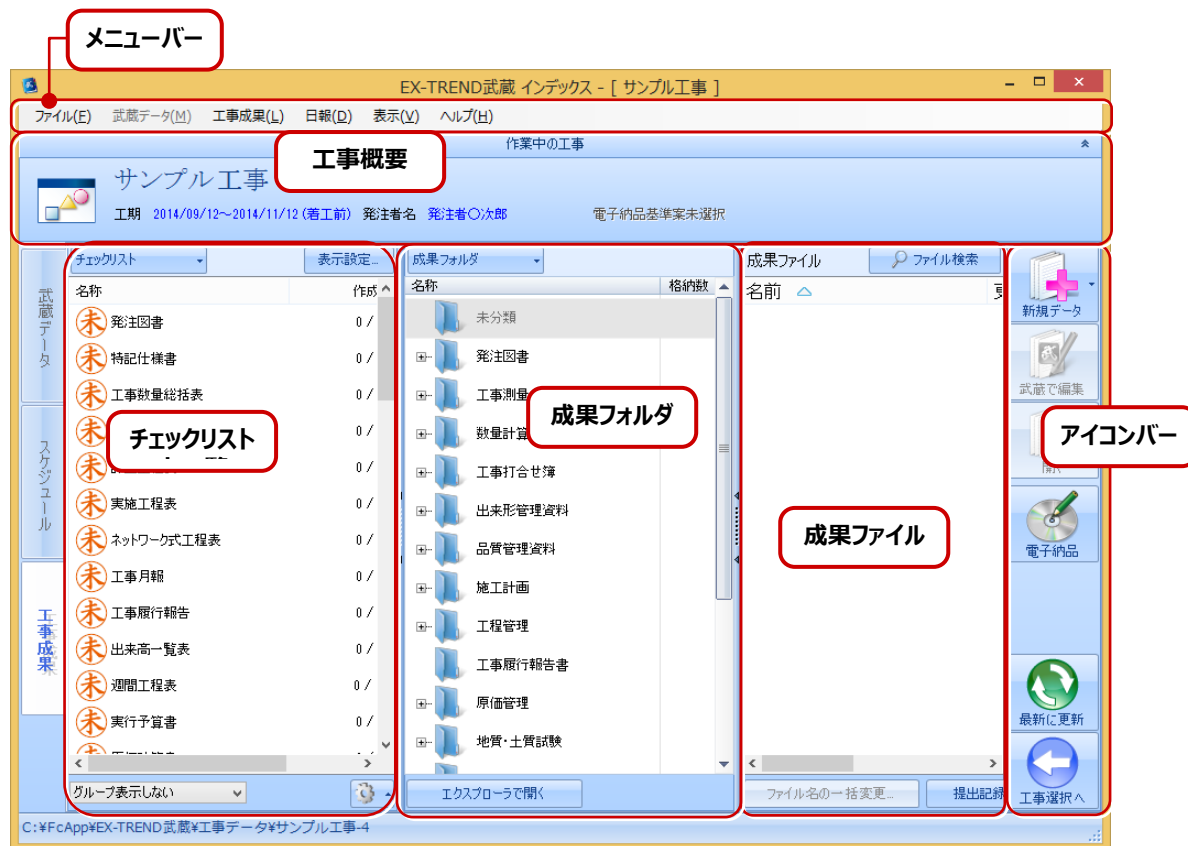
「4 インデックス[武蔵データ]のコマンド紹介」の「[表示]メニューのコマンド」と同じです。(P.7 参照)

[ヘルプ]メニューのコマンド

「2 インデックス[工事一覧]のコマンド紹介」の「[ヘルプ]メニューのコマンド」と同じです。(P.5 参照)

7 インデックス[工事成果]の画面構成

インデックス[工事成果]の画面まわりの機能を確認します。



インデックス[工事成果]の画面構成

メニューバー	コマンドが関連性のあるコマンドごとにメニューで分類されています。
工事概要	工事アイコン、工事名称、工期、施工状況、発注者名、電子納品基準案を表示します。リンクをクリックするとダイアログ(編集不可)を表示して詳細を確認できます。
チェックリスト	チェックリストを作成し、成果の未作業(未)、作業済(済)をファイル数によって管理します。[成果フォルダ]と関連付けられていて、フォルダを選択すると[成果ファイル]に作成したファイルが表示されます。
成果フォルダ	成果ファイルの保管先フォルダです。ハードディスク(HDD)に作られている実際のフォルダ構成のまま表示しています。 ファイルが登録されているフォルダは黄色(📁)、未登録のフォルダは青色(📁)で表示されます。電子納品基準案を選択している場合、電子納品に対応するフォルダにはアイコン付きで(📁)で表示されます。
成果ファイル	[成果フォルダ]に保存されたファイルを表示します。チェックリストを切り替えながら、成果作成の状況を確認します。
アイコンバー	[新規データ][武蔵で編集][開く][電子納品][最新に更新][工事選択へ]のアイコンを表示します。

8 インデックス[工事成果]のコマンドの紹介

インデックス[工事成果]のメニューバーのコマンドを紹介します。

[ファイル]メニューのコマンド

工事選択 ()	開いている工事・分担作業を閉じて、[工事一覧]画面に戻ります。
工事情報の参照	工事情報を参照します。編集はできません。
電子納品要領・基準案の参照	電子納品要領・基準(案)の選択を確認します。編集はできません。
ひな形ファイルの登録・編集	ひな形フォルダの管理、およびひな形ファイルの編集・属性の設定などをおこないます。
EX-TREND 武蔵を終了する	EX-TREND 武蔵を終了します。

[工事成果]メニューのコマンド

成果設定テンプレートとして保存	現状のチェックリスト、成果フォルダ、成果属性の状態をテンプレートとして保存します。保存したテンプレートは、他工事の新規作成時に利用できます。
成果フォルダからチェックリスト作成	成果ファイルのある成果フォルダを抜き出して、チェックリストを作成します。 フォルダで成果ファイルを管理していた場合、チェックリストを作成することで、成果設定テンプレートとして保存することができます。
EXCEL に出カ チェックリストから作成	チェックリストの成果種類とその属性をEXCELデータに変換出力します。 EXCELで編集して、紙上での「成果チェックリスト」としてプリントアウトできます。
EXCEL に出カ 成果フォルダから作成	成果フォルダ内に存在するファイルの名称とフォルダ名をEXCELデータに変換出力します。EXCELで編集して、紙上での「成果チェックリスト」としてプリントアウトできます。
工事情報の変更を反映	工事情報、自社情報を変更した場合、変更内容を成果ファイルに一括して反映させます。変更できるファイルは、EXCELファイルのみです。
プロパティのクリア	EXCELドキュメントのプロパティに設定できる「作成者」「会社名」などの情報を削除します。ドキュメントのプロパティを削除できるファイルは、EXCELファイルのみです。

[日報]メニューのコマンド

「6 インデックス[スケジュール]のコマンド紹介」の「[日報]メニューのコマンド」と同じです。(P.10 参照)

[表示]メニューのコマンド

「4 インデックス[武蔵データ]のコマンド紹介」の「[表示]メニューのコマンド」と同じです。(P.7 参照)

[ヘルプ]メニューのコマンド

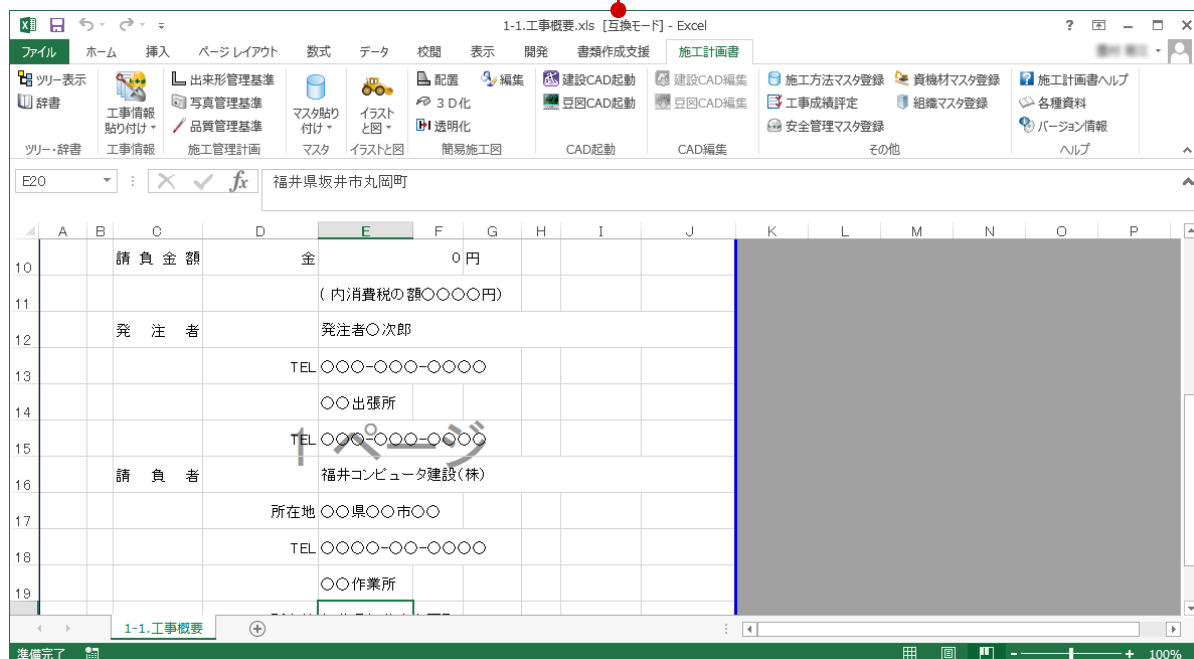
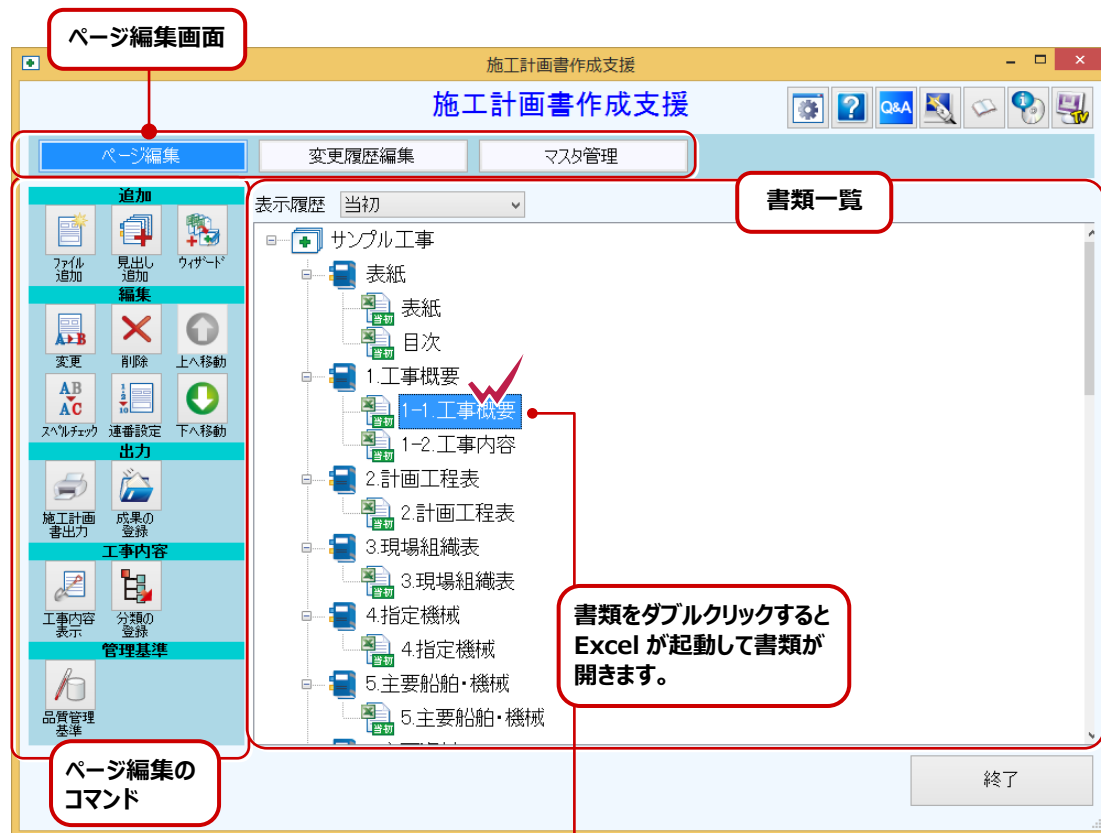
「2 インデックス[工事一覧]のコマンド紹介」の「[ヘルプ]メニューのコマンド」と同じです。(P.5 参照)

施工計画書作成支援

1

施工計画書作成支援の画面構成

施工計画書作成支援の画面まわりの機能を確認します。



2-1 [ページ編集]のコマンド

施工計画書作成支援[ページ編集]のコマンドを紹介します。

[ページ編集]のコマンド

	(ファイル追加)	ファイルを追加します。
	(見出し追加)	見出しを追加します。
	(ウィザード)	ウィザードを利用して追加します。
	(変更)	見出し、書類の名称を変更します。
	(削除)	見出し、書類を削除します。下層の見出し、書類も削除されます。
	(上へ移動)	見出し、書類を1つ上へ移動します。下層の見出しや書類も、同時に移動します。
	(下へ移動)	見出し、書類を1つ下へ移動します。下層の見出しや書類も、同時に移動します。
	(スペルチェック)	スペルチェックを実行して表現を統一します。
	(連番設定)	見出し、書類に連番を設定します。
	(施工計画書出力)	施工計画書を印刷します。PDF 形式、Excel 形式に出力することもできます。
	(成果の登録)	インデックスに成果を登録します。
	(工事内容表示)	工事内容を設定します。
	(分類の登録)	インデックスに分類を登録します。
	(品質管理基準)	品質管理基準を入力します。

2-2 書類内容編集(Excel)のコマンド

書類内容編集(Excel)の[施工計画書]タブのコマンドを紹介します。



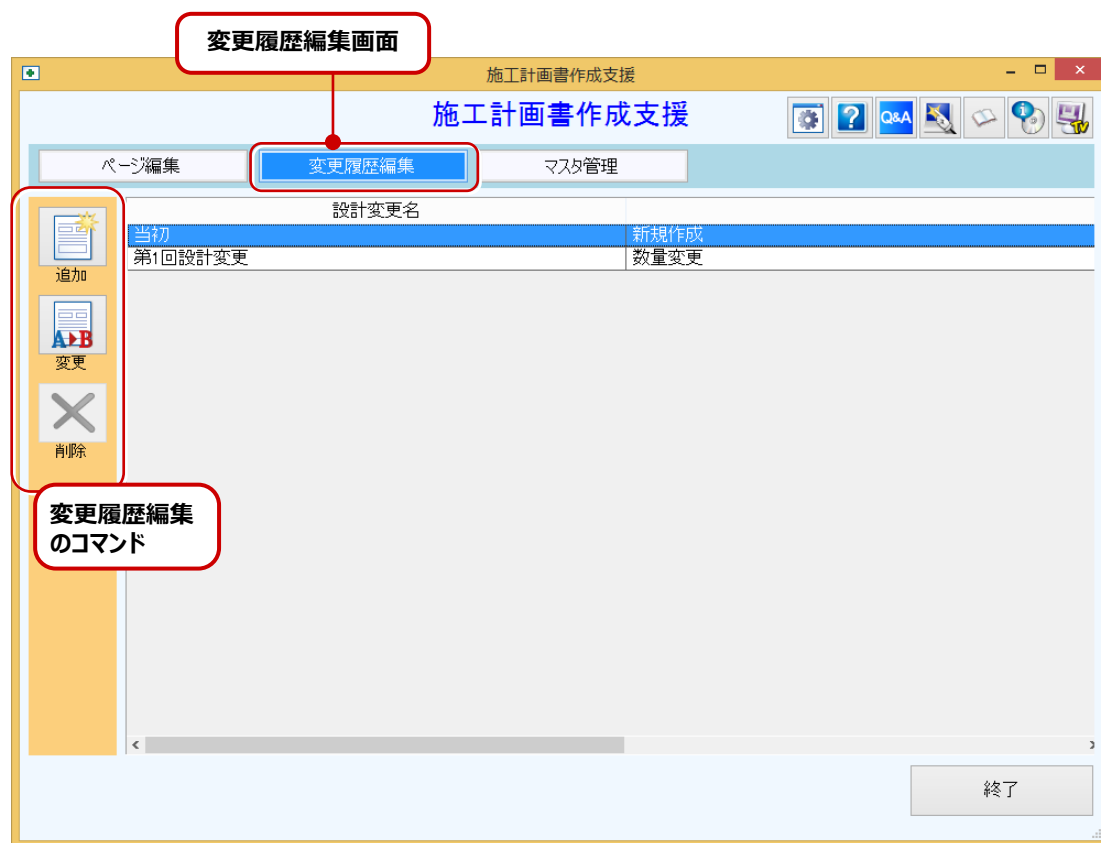
[施工計画書]タブのコマンド

ツリー表示	施工計画書をツリー表示します。
辞書	辞書を起動して、登録されている単語を貼り付けます。
工事情報貼り付け-工事情報	インデックスで入力した工事情報を貼り付けます。
工事情報貼り付け-工種情報	工種情報を貼り付けます。[工種情報]ダイアログの[データ編集]ボタンで、工種を編集することもできます。
工事情報貼り付け-自社情報	インデックスで設定した自社情報を貼り付けます。
工事情報貼り付け-機械名	機械名を貼り付けます。機械名は機械が含まれる積算データを読み込んだ場合に取込まれます。
工事情報貼り付け-資材名	資材名を貼り付けます。資材名は資材が含まれる積算データを読み込んだ場合に取込まれます。
工事情報貼り付け-連絡先一覧	連絡先一覧を貼り付けます。
工事情報貼り付け-現場組織一覧	現場組織一覧を貼り付けます。
出来形管理基準	出来形管理基準を貼り付けます。
写真管理基準	写真管理基準を貼り付けます。
品質管理基準	品質管理基準を貼り付けます。
マスタ貼り付け-施工方法	施工方法を貼り付けます。
マスタ貼り付け-交通管理	交通管理を貼り付けます。
マスタ貼り付け-環境対策	環境対策を貼り付けます。
マスタ貼り付け-現場作業環境	現場作業環境を貼り付けます。
マスタ貼り付け-安全管理	安全管理を貼り付けます。
マスタ貼り付け-安全対策	安全対策を貼り付けます。
マスタ貼り付け-施工方法例文	施工方法例文を貼り付けます。
イラストと図-豆図取り込み	豆図を取り込みます。
イラストと図-シンボル取り込み	工事看板や標識などのシンボルを取り込みます。
イラストと図-武蔵.TV	武蔵.TV からイラスト部品を取り込みます。

[施工計画書]タブのコマンド	
イラストと図-Web/PDF取り込み	Web/PDF から情報を取り込みます。
イラストと図-画像取り込み	画像を取り込みます。
配置	オブジェクトを配置します。出荷時にはオブジェクトグループとして「寸法線オブジェクト」「小構造物オブジェクト」「掘削面オブジェクト」「盛土面オブジェクト」「遠近オブジェクト」「ユーザオブジェクト」を用意しています。 「寸法線オブジェクト」「小構造物オブジェクト」「掘削面オブジェクト」「盛土面オブジェクト」「遠近オブジェクト」内のオブジェクトは変更・削除できません。 「ユーザオブジェクト」内にはオブジェクトを登録できます。また、登録したオブジェクトは変更・削除できます。
3D 化	オブジェクトを 3D 化します。
透明化	オブジェクトを透明化します。
編集	オブジェクトを編集します。
建設 CAD 起動	建設 CAD を起動して、CAD データを作成します。
豆図 CAD 起動	豆図 CAD を起動して、CAD データを作成します。
建設 CAD 編集	建設 CAD を起動して、CAD データを再編集します。再編集の対象となるのは、[建設 CAD 起動][豆図 CAD 起動][豆図取り込み][シンボル取り込み]で取り込んだ CAD データです。
豆図 CAD 編集	豆図 CAD を起動して、CAD データを再編集します。再編集の対象となるのは、[建設 CAD 起動][豆図 CAD 起動][豆図取り込み][シンボル取り込み]で取り込んだ CAD データです。
施工方法マスタ登録	シートを施工方法マスタに登録します。
工事成績評定	工事成績評定を確認します。
安全管理マスタ登録	シートを安全管理マスタに登録します。
資機材マスタ登録	資機材マスタに登録します。
組織マスタ登録	組織マスタに登録します。
施工計画書ヘルプ	ヘルプを表示します。
各種資料	各種資料を表示します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

2 - 3 [変更履歴編集]のコマンド

施工計画書作成支援[変更履歴編集]のコマンドを紹介します。

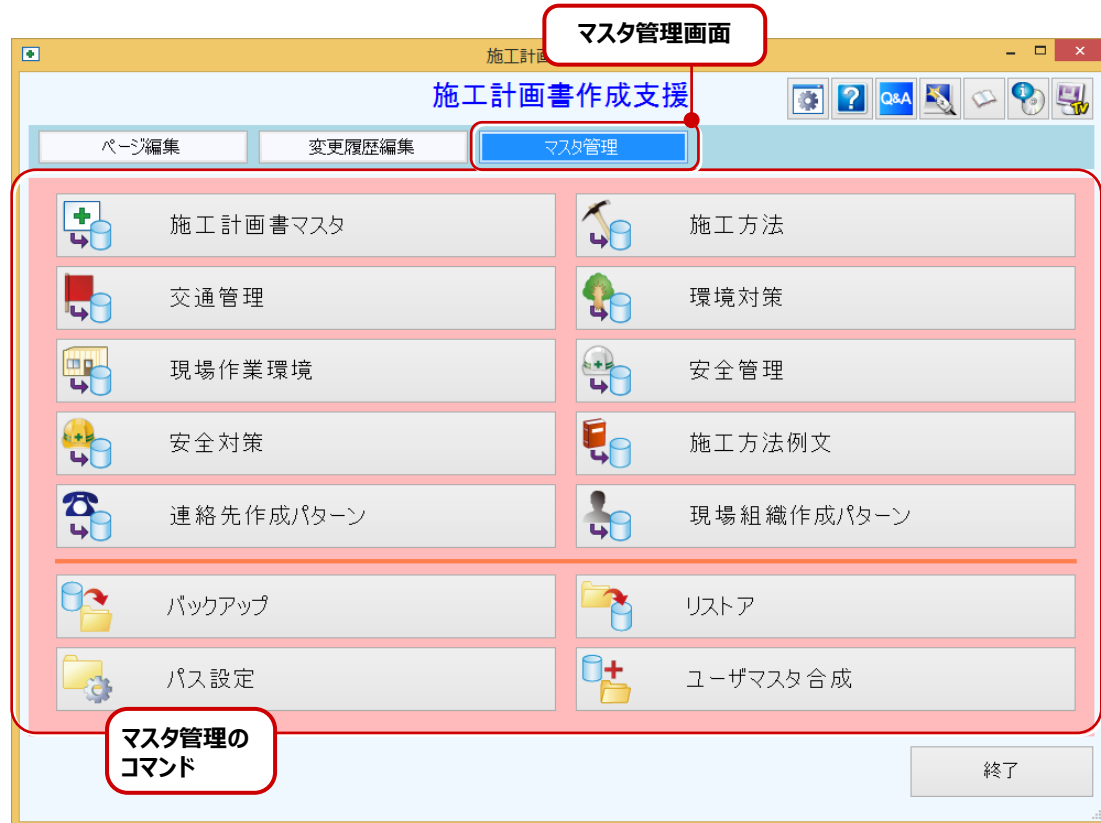


[変更履歴編集]のコマンド

 (追加)	設計変更施工計画書を作成します。
 (変更)	設計変更施工計画書の名称、コメント、設計変更日を変更します。
 (削除)	設計変更施工計画書を削除します。

2-4 [マスタ管理]のコマンド

施工計画書作成支援[マスタ管理]のコマンドを紹介します。



[マスタ管理]のコマンド

 施工計画書マスタ	施工計画書マスタを設定します。標準でインストールされた施工計画書マスタは、変更、削除することはできません。
 交通管理	交通管理マスタを設定します。標準でインストールされた交通管理マスタは、変更、削除することはできません。
 現場作業環境	現場作業環境マスタを設定します。標準でインストールされた現場作業環境マスタは、変更、削除することはできません。
 施工方法	施工方法マスタを設定します。標準でインストールされた施工方法マスタは、変更、編集、削除、移動できません。
 環境対策	環境対策マスタを設定します。標準でインストールされた環境対策マスタは、変更、編集、削除、移動できません。
 安全管理	安全管理マスタを設定します。標準でインストールされた安全管理マスタは、変更、編集、削除、移動できません。
 安全対策	安全対策マスタを設定します。標準でインストールされた安全対策マスタは、変更、編集、削除、移動できません。
 施工方法例文	施工方法例文マスタを設定します。標準でインストールされた施工方法例文マスタは、変更、編集、削除、移動できません。
 連絡先作成パターン	連絡先作成パターンマスタを設定します。標準でインストールされた連絡先作成パターンマスタは、変更、編集、削除、移動できません。
 現場組織作成パターン	現場組織作成パターンマスタを設定します。標準でインストールされた現場組織作成パターンマスタは、変更、編集、削除、移動できません。

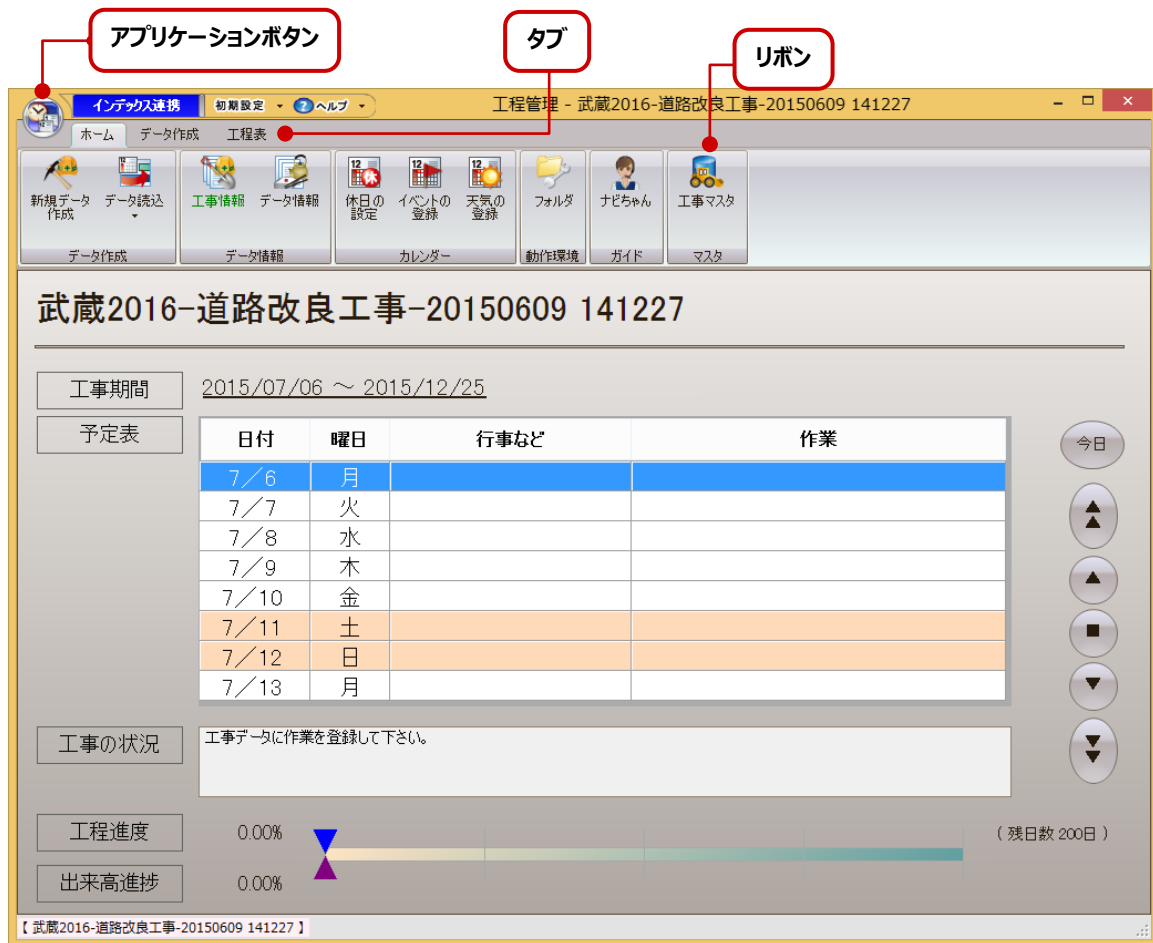
[マスタ管理]のコマンド	
 バックアップ	マスタの一括バックアップ(保存)をおこないます。 マスタのバックアップファイルは、「EXSEKOUMASTER.BLZ」というファイル名になります。バックアップの対象となるのは、お客様が作成したマスタです。
 リストア	バックアップしたマスタをリストアします。 リストア可能なユーザマスタは、[バックアップ]でバックアップされたバックアップファイル「EXSEKOUMASTER.BLZ」です。
 パス設定	マスタのパスを設定します。
 ユーザマスタ合成	現在のユーザマスタに別のユーザが作成したマスタを合成します。 合成可能なユーザマスタは、[バックアップ]でバックアップされたバックアップファイル「EXSEKOUMASTER.BLZ」です。ユーザマスタの合成をおこなう前に、合成元のマスタをバックアップしておいてください。

工程管理

1

工程管理の画面構成

工程管理の画面まわりの機能を確認します。



工程管理の画面構成

アプリケーションボタン

データを作成するにあたり、読み込み、保存、出力などの基本操作がまとめられています。

リボン・タブ

リボンはタブとグループで構成されています。作業内容に応じて必要なコマンドがグループ化されてリボンにまとめられ、リボンは設計プロセスに応じてタブでまとめられています。

2 工程管理のコマンドの紹介

2-1 アプリケーションボタンのコマンド

アプリケーションボタンのコマンドを紹介します。



アプリケーションボタンのコマンド

新規データ作成	新規データを作成します。
上書き保存	編集中的数据を、上書き保存します。
データ複製	データを複製します。
データ削除	工程データ一覧で選択したデータを削除します。(※単体起動時のみ削除可。インデックスでデータを管理している場合は、インデックスで削除してください。)
個別データデータ書込	現在開いているデータを、別ファイル(*.shm)で保存します。
個別データデータ読込	データ一覧に登録されていない工程データ(*.shm)を読み込みます。
個別データ テンプレートデータとして保存	開いているデータを、テンプレートデータ(*.tss)として保存します。 テンプレートデータとは、[データ作成]タブの「作業」と「資機材」のデータです。 (データから工程を省いたデータです。)
原価工程管理データ読込	「EX-TREND 武蔵 原価工程管理」のデータ(*.csm)を、工程管理データに変換して読み込みます。
エクセル出力	編集中的数据の予算帳票・原価帳票・工程帳票・工程図表を、エクセル形式で出力します。
CSV ファイル出力 「EX-TREND 武蔵」CSV ファイル	開いているデータの「すべての作業」を、1つのCSVファイルで出力します。 出力したCSVファイルは、弊社 EX-TREND 武蔵シリーズの「写真管理」プログラム等で取り込むことができます。
CSV ファイル出力 「どっと原価 NEO」連携ファイル	「どっと原価 NEO」用の連携ファイルを出力します。
工事マスタ編集	工事マスタを編集します。
起動パスワード設定	起動時のパスワードを設定します。パスワードが設定されていると、プログラムの起動時にパスワードの入力が求められます。
アプリケーションの終了	プログラムを終了します。

2-2 [ホーム]タブのコマンド

[ホーム]タブのコマンドを紹介します。

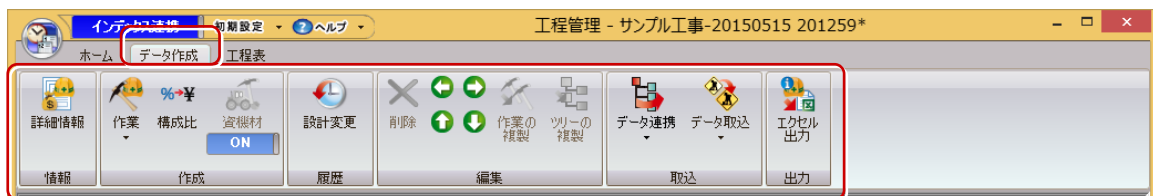


[ホーム]タブのコマンド

新規データ作成	工程データを新規作成します。
データ読込-工程管理データ読込	データ一覧に登録されていない工程データ(*.shm)を読み込みます。
データ読込- 原価工程管理データ読込	EX-TREND 武蔵 原価工程管理のデータ(*.csm)を、工程管理データに変換して読み込みます。
工事情報	インデックスで管理している工事情報の参照と編集をおこないます。 (※インデックス起動時のみ使用可)
データ情報	開いている工程データの工期などの情報を編集します。 新規データ作成時に入力する情報と同じです。
休日の設定	カレンダーで休日を設定します。設定した休日は、[工程表]タブのチャートパネルに反映されます。また一部の帳票で出力されます。
イベントの登録	イベント(打ち合わせ等)のスケジュールを設定します。 同日に複数登録できます。登録したイベントは、[ホーム]タブの「イベント予定」欄に表示されます。また[工程表]タブの「イベント画面」に表示されます。([表示・編集]-[イベントの表示切替]で表示)
天気の登録	天気を登録します。登録した天気は、一部の帳票で出力されます。
フォルダ	データと共通マスタ、作業リストファイルの保存先フォルダを設定します。
ナビちゃん	プログラムの使用手順が表示されます。
工事マスタ	工事マスタを編集します。

2-3 [データ作成]タブのコマンド

[データ作成]タブのコマンドを紹介します。



[データ作成]タブのコマンド

詳細情報	「工事」「作業」「資機材」の予算の入力・確認をおこないます。
作業-作業の登録	作業(工種、種別、細別)を登録します。作業は、選択した作業(または工事)の下層に登録されます。作業と資機材は同じ階層に登録することはできません。 資機材の下層に作業を登録することはできません。

[データ作成]タブのコマンド	
作業ー作業リスト編集	作業名と日当たり施工量等を持った作業リストを編集します。
構成比	構成比を入力して、工事金額を配分します。
資機材	※[データ情報]で[資機材を使う]のチェックがオンの場合のみ有効です。 選択した作業に資機材を登録します。資機材は最下層の作業にのみ登録可能です。親作業には登録できません。
資機材の表示切替	※[データ情報]で[資機材を使う]のチェックがオンの場合のみ有効です。 入力されている資機材の表示のオン/オフを切り替えます。
設計変更	現時点のデータを、設計変更データとして履歴保存します。 各帳票での設計変更データと現在の2段書きや、[工程表]タブで設計変更データと現在の工程の比較がおこなえます。
削除	選択した「作業」または「資機材」を削除します。 親作業を削除した場合は、子作業や資機材も同時に削除されます。
← →	選択した作業の階層を、1つ上または下に移動します。 下層の作業や資機材も、同時に移動します。
↑ ↓	選択した作業の行を、1つ上または下に移動します。 下層の作業や資機材も、同時に移動します。
作業の複製	選択した作業をコピーして、最終行に追加します。 下層の作業や資機材は、コピーされません。
ツリーの複製	選択した作業をコピーして、最終行に追加します。 子作業や資機材も、同時にコピーされます。
データ連携ー 【インデックス】から分類の取込	インデックスに登録されている分類を、作業に取り込みます。 選択している作業の下層に取り込まれます。
データ連携ー 【インデックス】に分類を登録	編集中のデータの作業を、インデックスの分類に登録します。
データ連携ー【インデックス】から イベントの取込	編集中のデータに、インデックスのイベントを取り込みます。
データ連携ー【インデックス】に イベント・工程を登録	編集中のデータのイベントと工程を、インデックスに登録します。
データ連携ー【インデックス】から 天気・施工数量の取込	インデックスの日報に登録されている天気と施工数量を取り込みます。
データ連携ー【インデックス】に 予定資機材・進捗を登録	最下位の「作業」の予定(日程・数量)および予定資機材と進捗を、インデックスに登録します。進捗とは「達成金額/予算金額」をパーセント表示したものです。
データ取込ーデータ取込	選択した作業の下層に、別工事データやテンプレートデータから「作業」「資機材」を取り込みます。
データ取込ー 武蔵 CSV 取込(工程を含む)	選択した作業の下層に、武蔵 CSV ファイルから作業を取り込みます。 (工程含む)
データ取込ー積算データ取込	選択した作業の下層に、他社プログラムの積算データを取り込みます。 (「作業」「単価」「数量」等)
エクセル出力	編集中のデータの予算帳票・原価帳票・工程帳票・工程図表を、エクセル形式で出力します。

2 - 4 [工程表]タブのコマンド

[工程表]のコマンドを紹介します。



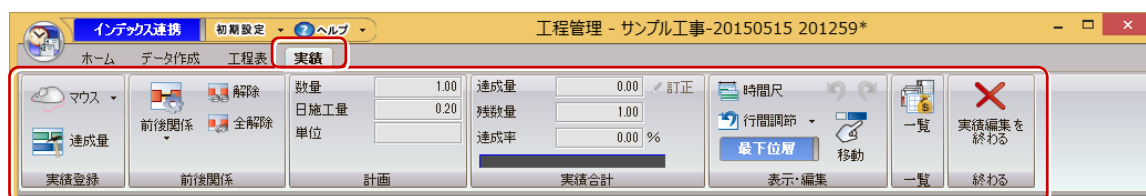
[工程表]タブのコマンド

工程情報	工事・作業の工程の確認をおこないます。 子作業の場合は、工程の変更もおこなえます。
作業	作業（工種、種別、細別）を登録します。作業は、選択した作業（または工事）の下層に登録されます。作業と資機材は同じ階層に登録することはできません。資機材の下層に作業を登録することはできません。
資機材	※[データ情報]で[資機材を使う]のチェックがオンの場合のみ有効です。 選択した作業に資機材を登録します。資機材は最下層の作業にのみ登録可能です。親作業には登録できません。
資機材の表示切替	※[データ情報]で[資機材を使う]のチェックがオンの場合のみ有効です。 入力されている資機材の表示のオン／オフを切り替えます。
工程編集－工程の作成	作業に工程を入力します。
工程編集－工程の削除	工程を削除します。
工程編集－工程の分割	工程を分割します。
工程編集－工程の結合	分割された工程を結合します。
工程編集－ 日施工量から工数を計算	数量と 1 日当たりの施工量（日施工量）から工数（日数）を計算します。
前後関係	先行工程と後続工程の設定をおこないます。
前後関係の表示切替	入力されている前後関係の表示のオン／オフを切り替えます。
実績登録－実績の登録	[実績]タブを表示して、実績工程・出来高を登録します。 前回の実績登録方法により実行後のコマンドが異なります。[実績]タブの[実績工程の作成]コマンド、または[達成量]コマンドが実行状態になります。
実績登録－実績工程編集	[実績]タブを表示して、実績工程の登録・編集をおこないます。
実績登録－実績の一覧表示	各作業の予定と実績（日数、達成数量、達成金額）を一覧表示します。
実績の表示切替	チャートパネルの実績（稼働日、達成率）の表示／非表示を切り替えます。
設計変更	現時点のデータを、設計変更データとして履歴保存します。 各帳票での設計変更データと現在の2段書きや、[工程表]タブで設計変更データと現在の工程の比較がおこなえます。
出来高グラフ	作業の EVM グラフを表示します。
山積みグラフ	※[データ情報]で[資機材を使う]のチェックがオンの場合のみ有効です。 入力されている資機材を山積みグラフで表示します。
計算	先頭の作業と末尾の作業を指定し、工程からクリティカルパスを計算します。 （工程の前後関係の設定がおこなわれていることが条件です。）

[工程表]タブのコマンド	
計算結果の表示切替	クリティカルパス計算結果の表示／非表示を切り替えます。
時間尺	[時間尺選択]ダイアログで、チャートパネルの日付の表示方法を設定します。
バー、アロー	バー表示とアロー表示を切り替えます。
行間調整－行間狭く	行間を狭くします。
行間調整－行間標準	行間を標準にします。
行間調整－行間広く	行間を広くします。
表示範囲－表示範囲	[表示範囲の選択]ダイアログで、表示する期間と作業を設定します。
表示範囲－主体	表示の主体を「作業ツリー」「資機材ツリー」「取引先ツリー」から選択します。
表示範囲－比較画面	画面を2分割して、比較しながら工程を編集します。工程の編集は上画面でおこないます。下画面はコマンド実行時の状態を表示します。
最下位層、全階層	最下位層のみ表示・全階層表示を切り替えます。
イベント	画面下部にイベントの表示／非表示を切り替えます。
アンドゥ	工程の編集を元に戻します。
リドゥ	元に戻した工程の編集をやり直します。
移動	選択されている作業の工程の先頭から表示します。
エクセル出力	編集中的数据の予算帳票・原価帳票・工程帳票・工程図表を、エクセル形式で出力します。

2-5 [実績]タブのコマンド

[実績]タブのコマンドを紹介します。



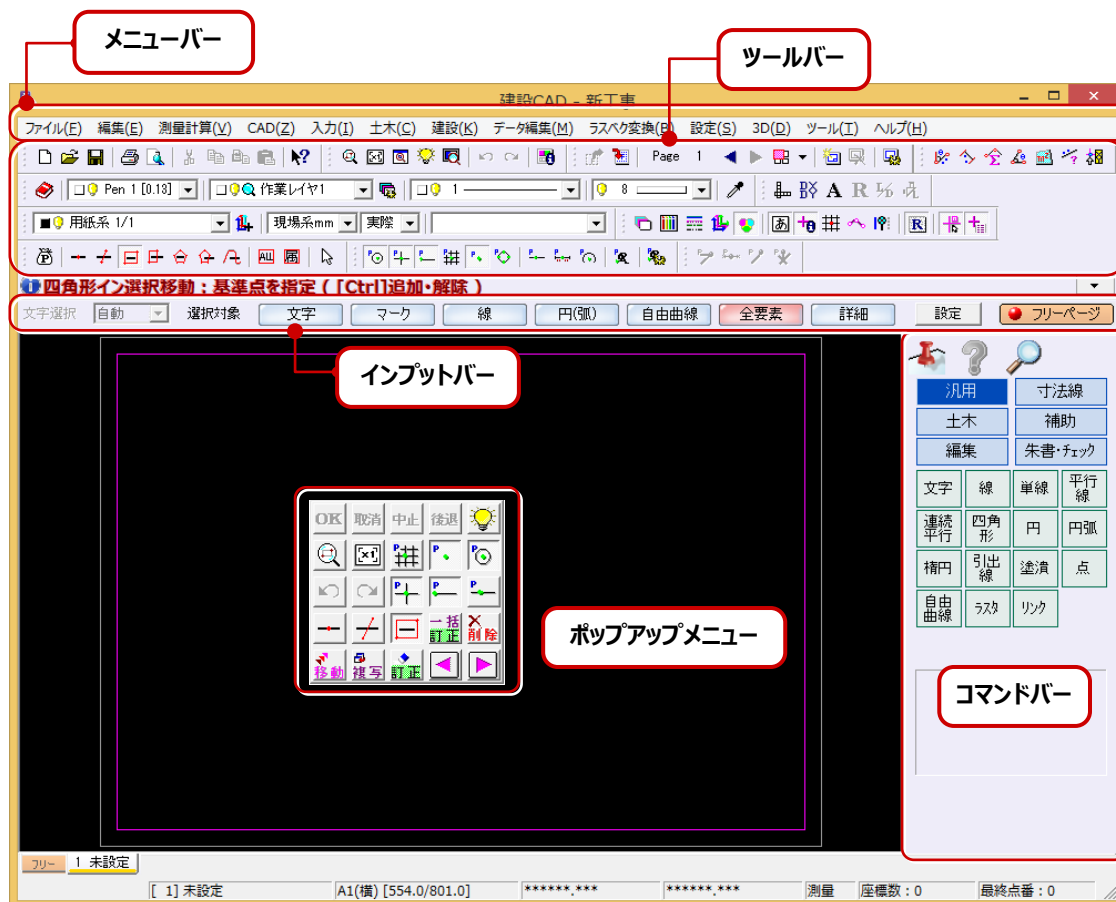
[実績]タブのコマンド	
マウス－実績工程の作成	[実績]タブで稼働日を登録します。達成量も同時に登録されます。
マウス－実績工程の削除	[実績]タブで稼働日を削除します。稼働日に含まれる実績も削除されます。
マウス－実績工程の分割	実績工程を分割します。
マウス－実績工程の結合	分割された実績工程を結合します。
達成量	作業と日付を指定し、出来高を達成量(数値)で入力します。達成量の削除や変更もダイアログでおこないます。
前後関係	実績の先行工程と後続工程の設定をおこないます。
解除	実績工程の前後関係を解除します。
全解除	実績工程の前後関係を全て解除します。

[実績]タブのコマンド	
数量	選択中の作業の実績登録した数量を表示します。
日施工量	選択中の作業の「日施工量-基準値」を表示します。ただし、値が未入力なら「日施工量-計算値」を表示します。
単位	選択中の作業の「単位」を表示します。
達成量	選択中の作業の実績登録した数量を表示します。
訂正	選択中の作業の達成量を訂正します。
残数量	「設計数量」から「達成量」を引いた数値を表示します。
達成率	「達成量」の「設計数量」に対する比率を表示します。
実績合計	達成率をバーで表示します。
時間尺	[時間尺選択]ダイアログで、チャートパネルの日付の表示方法を設定します。
行間調節－行間狭く	行間を狭くします。
行間調節－行間標準	行間を標準にします。
行間調節－行間広く	行間を広くします。
最下位層、全階層	最下位層のみ表示・全階層表示を切り替えます。
アンドゥ	工程の編集を元に戻します。
リドゥ	元に戻した工程の編集をやり直します。
移動	選択されている作業の工程の先頭から表示します。
一覧	各作業の予定と実績(日数、達成数量、達成金額)を一覧表示します。
実績編集を終わる	実績の編集を終了して、[工程表]タブに戻ります。

建設 CAD

1 建設 CAD の画面構成

建設CADの画面まわりの機能を確認します。



建設 CAD の画面構成

メニューバー	すべてのコマンドが関連するコマンドごとにメニューで分類されています。
ツールバー	メニューバーのコマンドの中で使用頻度の高いコマンドが用意されています。
インプットバー	データ入力・編集時に各項目を設定し、データを入力します。表示される設定項目や実行ボタンは、現在使用しているコマンドや状態に応じて切り替わります。
コマンドバー	分類別に機能を分けて配列されています。 [汎用][土木][編集][寸法線][補助][朱書・チェック]の6つのグループに分けて配列されています。各グループのボタンをクリックすると、下のコマンドが切り替わります。
ポップアップメニュー	CAD画面上で右クリックすると表示されます。 作業の確定・中止・再表示など、よく使用されるコマンドが用意されています。 コマンドの履歴は初期状態で5つまで表示されます。 表示する履歴数は、[設定]→[ポップアップカスタマイズ]で変更できます。

2 建設 CAD のコマンドの紹介

2-1 CAD のメニューバーのコマンド

CADのメニューバーのコマンドを紹介します。

[ファイル]メニューのコマンド	
新規作成 ()	工事を新規作成します。
開く ()	建設 CAD で作成した工事データ(MSS)を開きます。
上書き保存 ()	編集中的数据を上書き保存します。
名前を付けて保存	データを指定した名称および保存場所で保存します。
作業の選択	工事ファイルの処理、各種測量計算を起動するダイアログを表示して作業を選択します。
工事の情報	工事情報を設定します。
工事の合成	工事データを合成します。
発注図を開くガイド	発注図を開く場合の操作ガイドを表示します。
外部ファイル設定	外部ファイル読込時の設定をおこないます。
外部ファイルを開く	外部ファイルを開きます。
外部ファイルへ保存	外部ファイルを保存します。
SXF 一括保存	全ての図面を SXF/P21 データに一括変換して保存します。
DXF/DWG 一括保存	全ての図面を DXF/DWG データに一括変換して保存します。
画像出力	図面を画像データ(JPEG・TIFF)で出力します。
Google Earth 出力	図面の情報を Google Earth 上に表示できるファイル(*.kmz)を出力します。
拡張 DM ファイルを開く	拡張 DM ファイルを開きます。
PDF 取込アシスト	PDF ファイルをラスター・ベクタ変換して配置します。
福井コンピュータ連携ー BTV・BTXA データを開く	測量計算 CAD システム:BLUETREND XA、BLUETREND V、EX-TREND Win のデータを開いて、建設 CAD のデータにコンバートします。BM コンバータをインストールしている場合に有効です。
福井コンピュータ連携ーBX互換ファイルを開く	現場内に存在する座標データ・図面データを BX 互換ファイルに変換して書き込みます。
福井コンピュータ連携ー X-FIELD(.XFD)/XYCLONEデータ (.MCF)を開く	弊社の現場端末システムX-FIELD、XYCLONEで出力した連携ファイルを開いて、建設CADのデータにコンバートします。
福井コンピュータ連携ー TRENDffデータ(.MFF)を開く	TRENDff のデータを開いて建設 CAD のデータにコンバートします。
福井コンピュータ連携ー 施工CADデータ(.EXG)を開く	施工 CAD のデータを開いて建設 CAD のデータにコンバートします。BM コンバータをインストールしている場合に有効です。

[ファイル]メニューのコマンド	
福井コンピュータ連携-BX互換ファイルへ保存	現場内に存在する座標データ・図面データを BX 互換ファイルに変換して書き込みます。
福井コンピュータ連携-X-FIELD(.XFD)/XYCLONE データ(.MCF)へ保存	現場内に存在する座標データ・CADデータ・リンクデータ・基本設計データ・路線データを、X-FIELD/XYCLONE 連携ファイルに変換して書き込みます。
福井コンピュータ連携-X-FIELD 路線データへ保存	3次元設計データ作成、線形計算で作成した路線データを、X-FIELD・XYCLONEで読み込めるデータ(xrf)としてファイルに書き込みます。
福井コンピュータ連携「インデックス」に成果を登録	インデックスから建設 CAD を起動している場合に有効です。
CIMPHONY 連携-アクセス設定	CIMPHONYのID・パスワードを入力しておけば、CIMPHONYへのアクセス時に自動ログインします。
CIMPHONY 連携-ブラウザ確認	CIMPHONY サイトをブラウザで開きます。
CIMPHONY 連携-アップロード	CIMPHONY 上の工事にデータをアップロードします。
CIMPHONY 連携-ダウンロード	CIMPHONY 上の工事からデータをダウンロードします。
印刷範囲の設定	印刷範囲を設定します。
印刷	図面を印刷します。
印刷プレビュー	実際にどのように印刷されるかをプレビューします。
プリンタの設定	プリンタの機種の変更や詳細な設定をおこないます。
ページ指定印刷	ページを指定して印刷します。
アプリケーションの終了	アプリケーションを終了します。
[編集]メニューのコマンド	
元に戻す ()	直前に行った CAD 操作を元の状態に戻します。
やり直し ()	[編集]-[元に戻す]コマンドで実行した内容を取り消します。
切り取り ()	現在選択しているデータをクリップボードに移動します。データが選択されていないときや切り取ることのできないデータを選択しているときこのコマンドは使用できません。
コピー ()	現在選択しているデータをそのままの状態にしてクリップボードに保存(コピー)します。データが選択されていないときやコピーできないデータを選択しているとき、このコマンドは使用できません。
コピー[範囲指定] ()	四角形範囲を指定して、範囲内のデータをクリップボードに保存(コピー)します。
貼り付け ()	クリップボードの内容を貼り付けます。クリップボードに何も保存されていないときや貼り付け場所がふさわしくないとき、このコマンドは使用できません。
クリア	選択している[オブジェクトの作成と貼り付け]コマンドで挿入したOLEデータを削除します。
形式を選択して貼り付け	クリップボードの内容を指定した形式で貼り付けます。
EXCEL 貼り付け	クリップボードのExcelデータの内容を取り込みCADデータに変換して配置します。

[編集]メニューのコマンド	
オブジェクトの作成と貼り付け	ワープロやドロー作成などのオブジェクトを挿入します。
リンクの設定	オブジェクトに設定されているリンク情報を表示および変更します。
オブジェクト	選択したオブジェクトを開きます。
[測量計算]メニューのコマンド	
測量計算データ起動	配置したCADデータから測量計算データを開きます。
測量計算データ管理	測量計算データの複写・削除・名称変更などをおこないます。
座標入力	座標入力を開きます。
座標プロット	座標プロットを開きます。
トラバース計算	トラバース計算を開きます。
杭打ち計算	杭打ち計算を開きます。
線形計算	線形計算を開きます。
縦断線形	縦断線形を開きます。
横断丁張	横断丁張を開きます。
出来形展開図ー舗装展開図	舗装展開図を開きます。
出来形展開図ー擁壁展開図	擁壁展開図を開きます。
出来形展開図ー法面展開図	法面展開図を開きます。
切削オーバーレイ	切削オーバーレイを開きます。
3次元設計データ作成	3次元設計データ作成を開きます。
線形 XMLー基本設計データ読み込み	建設 CAD、または他アプリケーションより出力された基本設計データ (*.xml)を読み込みます。
線形 XMLー基本設計データ書き込み	線形計算、縦断線形、横断丁張のデータを元に、道路中心線形（平面線形、縦断線形）、横断面形状の情報を取得し、計測対象点の情報などを付加した基本設計データを出力します。
線形 XMLー道路中心線形データ読み込み	建設CAD、または他アプリケーションより出力された道路中心線形データ (*.xml)を読み込みます。
線形 XMLー道路中心線形データ書き込み	線形計算、縦断線形、横断丁張のデータを元に、道路中心線形（平面線形、縦断線形）の情報を取得し、プロジェクト情報などを付加した道路中心線形データを出力します。
線形XMLーLandXMLデータ書き込み	座標入力、線形計算、縦断線形、横断丁張のデータを、LandXMLデータに変換します。
[CAD]メニューのコマンド	
OK ()	連続してデータを入力する場合などで、最終的に確定する場合に使用するコマンドです。
後退 ()	データの入力処理の過程、または編集処理の過程で 1 つ前の入力状態に戻します。
取消 ()	確定前の入力データやデータの選択範囲などを取り消す場合などに使用するコマンドです。
中止 ()	実行中のコマンドを終了して、コマンド選択、またはオブジェクト選択状態にします。

[CAD]メニューのコマンド	
ページ追加 ()	ページを追加します。最大 100 ページ(フリーページ含まず)まで追加できます。
ページ挿入 ()	ページを挿入します。最大 100 ページ(フリーページ含まず)までページを挿入できます。
ページ複写	ページを複写します。最大 100 ページ(フリーページ含まず)までページを複写できます。
ページ削除 ()	ページを削除します。
ページ一括削除	複数のページを一括して削除します。
ページ移動前 ()	前のページへ移動します。
ページ移動後 ()	後ろのページへ移動します。
ページ一覧 ()	ページを一覧表示して、編集するページを選択します。
ページ合成 ()	編集しているページに他のページのデータを合成します。
ページフリーページ領域の設定 ()	フリーページに領域を設定します。設定した領域内を[フリーページ領域の配置]コマンドで通常ページに配置できます。 ※このコマンドはフリーページでのみ有効です。
ページフリーページ領域の配置 ()	[フリーページ領域の設定]コマンドで設定した領域を通常ページに配置します。※このコマンドは通常ページでのみ有効です。
表示拡大 ()	指定範囲を拡大します。
表示倍率拡大 ()	表示範囲を、一定倍率で拡大表示します。
表示倍率縮小 ()	表示範囲を、一定倍率で縮小表示します。
表示移動 ()	表示範囲を移動します。
表示原図 ()	原図領域が最大表示されるようにします。
表示原図領域 ()	表示範囲を、原図コマンドで表示する「原図領域」に設定します。
表示原図領域(2点指定) ()	四角形対角 2 点指定で、原図コマンドで表示する「原図領域」に設定します。
表示データ領域 ()	データ(ラスタデータも含む)が画面内に収まるように表示します。
表示前表示 ()	表示範囲、表示率を 1 つずつ戻します。 ただし、戻せる回数は 5 回までです。
表示再描画 ()	画面内容を表示し直します。
表示文字列検索 ()	指定した文字列を検索して、画面の中心に表示します。
表示図面モニタ ()	用紙の全体図でイメージ表示する図面モニタの表示、非表示を切り替えます。
表示ルーペ ()	CAD 画面内のマウスポインタの位置を中心とした拡大画面を表示するルーペの表示、非表示を切り替えます。
表示拡大鏡 ()	CAD 画面内のマウスポインタの位置を拡大表示する拡大鏡の表示、非表示を切り替えます。

[入力]メニューのコマンド	
文字－ 文字列 (文字 ☐ 文字列)	文字列を入力します。
文字－ 複数行 (文字 ☐ 複数行)	文章を入力します。また、テキストファイルから文章を読み込んで入力することも可能です。
文字－ 赤書き (文字 ☐ 赤書き)	赤書きを入力します。
文字－ 見消 (文字 ☐ 見消)	文字を見消します。
線－連続線 (線 ☐ 連続線)	図面上の任意位置を指定して、直線を連続入力します。
線－単線 (単線)	図面上の任意位置を指定して、単線を入力します。
線－垂線 (線 ☐ 垂線)	基準線(直線、円、円弧)から、垂線を入力します。
線－折線 (線 ☐ 折線)	折れ線(直角固定折線)を連続入力します。
線－接線 (線 ☐ 接線)	円、円弧に対して、他の円、円弧または指定した点に接線を入力します。
線－二等分線 (線 ☐ 二等分線)	基準となる線を指定し、その基準線に対して二等分線を入力します。
線－平行線 (平行線)	基準となる線を指定し、その基準線に対して平行線を入力します。
線－連続平行線 (連続平行線)	基準となる線に対する平行線を距離指定で入力します。
線－四角形 (四角形)	四角形を入力します。
線－正多角形	正多角形を入力します。
円・円弧－ 半径 (円 ☐ 半径)	中心、半径指定で円を入力します。
円・円弧－ 直径 (円 ☐ 直径)	中心、直径指定で円を入力します。
円・円弧－ 3点内接 (円 ☐ 3点内接)	3点を指定して、その3点内角に接する円弧を入力します。
円・円弧－ 3点外接 (円 ☐ 3点外接)	3点を指定して、その3点に外接する円弧を入力します。
円・円弧－中心・半径・角度 (円 ☐ 中心・半径・角度)	中心点、半径、円の開始角・終了角を指定して円弧を入力します。
円・円弧－ 2点半径 (円 ☐ 2点半径)	円弧の始点・終点、半径指定で円弧を入力します。
円・円弧－ 接円弧 (円 ☐ 接円弧)	基準線指定で接円弧を入力します。
楕円・楕円弧－ 楕円 (楕円 ☐ 楕円)	中心半径指定で楕円を入力します。
楕円・楕円弧－ 楕円弧 (楕円 ☐ 楕円弧)	中心半径指定で楕円弧を入力します。
寸法線－水平垂直(点間) (点間 ☐ 水平垂直)	任意にクリックした点間の水平・垂直距離の寸法を入力します。

[入力]メニューのコマンド	
寸法線-2点指示 (点間 -  2点指示)	任意の2点を指定して、2点間の距離・方向角・斜距離を寸法入力します。
寸法線- 連続線 (点間 -  連続線)	任意の各点を連続して指定し、各直線距離を寸法入力します。
寸法線-水平垂直(要素) (要素 -  水平垂直)	要素指定で図形の水平・垂直距離の寸法値を入力します。
寸法線- 直線 (要素 -  直線)	任意の各点を連続して指定し、各直線距離を寸法入力します。
寸法線-勾配 (勾配)	2点指定で勾配を寸法入力します。
寸法線- 半径 (半径 -  半径)	円または円弧を選択して、半径を寸法入力します。
寸法線-円弧半径 (半径 -  円弧半径)	円弧を指定して半径を寸法入力します。
寸法線-直径 (直径)	円または円弧を選択して、直径を寸法入力します。
寸法線-円周	円を選択して、円周を寸法入力します。
寸法線-3点内角 (角度 -  3点の内角)	3点を指定して、3点の内角寸法を入力します。
寸法線-2線の夾角 (角度 -  2線の夾角)	2線の夾角寸法を入力します。
寸法線- 弧長 (弧長 -  弧長)	円弧データを選択して、円弧の長さを寸法入力します。
寸法線-連続弧長 (角度 -  連続弧長)	円または円弧データを指定して区切った円弧の長さで、寸法を入力します。
寸法線-2点平行	直線、円、円弧に対して任意の点までの寸法補助線なしの寸法を入力します。
寸法線-要素と点の距離	直線、円、円弧に対して任意の点までの寸法補助線ありの寸法を入力します。
寸法線-寸法値再計算 (寸法再計)	寸法補助線の位置を移動して寸法値を再計算します。
寸法線-寸法合成 (合成)	寸法を合成します。
寸法線-寸法分割 (分割)	寸法を分割します。
寸法線-寸法高調整 (高さ調整)	寸法の高さを調整します。
引出線 (引出線)	要素を指定して、関連する文字列を引き出します。
塗潰し (塗潰し)	塗潰しを入力します。
点・マーク- 点 (点 -  点)	任意位置を指定して、点を点要素として入力します。
点・マーク- マーク (点 -  マーク)	マークを入力します。
自由曲線- 入力 (自由曲線 -  入力)	任意点を指定して自由曲線を入力します。
自由曲線- 平行線 (自由曲線 -  平行線)	自由曲線の平行線を入力します。

[入力]メニューのコマンド	
部品ー作成	部品を作成し部品管理に登録します。
部品ー配置	部品を配置します。
部品ー管理	部品の名称変更、削除、部品のファイル化などをおこないます。
補助ー任意点 ()	任意の位置に補助点を入力します。
補助ー任意線 ( - )	任意の位置に補助線を入力します。
補助ー平行線 ( - )	基準線(連続線、上下線、補助線)を指定し、平行補助線を入力します。
補助ー角度線 ( - )	基準線(連続線、上下線、補助線)を指定し、その基準線に対して、数値入力した角度だけ傾いた補助線を入力します。
補助ーオフセット(要素指定) ( - )	線、円、円弧、クロソイド要素を指定し、端点からオフセット距離を設定して補助点を入力します。
補助ーオフセット(2点指定) ( - )	2点指定でオフセット距離を設定して補助点を入力します。
補助ー垂直点 ()	線・円・円弧・クロソイド要素を指定して、指定した要素に対しておろした垂直線上に補助点を入力します。
補助ー垂線の足(要素指定) ( - )	線・円・円弧・クロソイド要素を指定して、任意点から指定した要素に対しておろした垂線の足に補助点を入力します。
補助ー垂線の足(2点指定) ( - )	2点指定で、任意の点から指定した2点間の延長線上に対しておろした垂線の足に補助点を入力します。
補助ー4点交点 ( - )	4点を指定して、1点目と2点目を通る直線と3点目と4点目を通る直線の交点に補助点を入力します。
補助ー2円の交点 ( - )	円の中心点位置と半径数値を入力した2つの円の交わる点に補助点を入力します。
補助ー等分割(要素指定) ( - )	線・円・円弧・クロソイド要素を指定して、分割した点に補助点を入力します。
補助ー等分割(2点指定) ( - )	2点を指定して、指定した2点間を等分割した点に、補助点を入力します。
補助ー重心(多角形入力) ( - )	多角形指定範囲の重心に補助点を入力します。
補助ー重心(閉合図形選択) ( - )	閉合図形の重心に補助点を入力します。
補助ー全削除 ()	補助線・補助点を全削除します。
ラスター配置 ( - )	ラスタデータ(画像・写真)を配置します。
ラスター書込み ( - )	ラスタデータをファイルに書込みます。
ラスタトリミング ( - )	ラスタデータの一部を削除します。
ラスター削除 ( - )	ラスタデータを削除します。

[入力]メニューのコマンド	
ラスタ移動回転 ( - )	ラスタデータを移動・回転します。
ラスタ四角形補正 ( - )	ラスタデータを四角形指定で移動・回転します。
ラスタ訂正 ( - )	ラスタデータを訂正します。
ラスタ前面へ	ラスタデータ内で描画順を前面へ変更します。
ラスタ背面へ	ラスタデータ内で描画順を背面へ変更します。
リンク編集 ()	要素へのリンクデータを編集(追加・変更・解除)します。
SXF 属性ー属性マスタ	SXF 属性のマスタを設定します。
SXF 属性ー属性入力確認	要素、パック(作図グループ)、ラスタデータ(画像)に SXF 属性を付加します。
SXF 属性ー属性一覧	要素、パック(作図グループ)、ラスタデータ(画像)に付加した SXF 属性、ターゲットの確認・編集をおこないます。
SXF 属性ー属性複写	要素、パック(作図グループ)、ラスタデータ(画像)に付加したSXF属性を他の要素、パック(作図グループ)、ラスタデータ(画像)に複写します。
SXF 属性ー属性一括	要素、パック(作図グループ)に SXF 属性を付加します。
[土木]メニューのコマンド	
座標ー登録 ( - )	座標を抽出し、座標入力に座標を登録します。
座標ーマークプロット ( - )	抽出座標の位置にマークをプロットします。
座標ー座標値プロット ( - )	座標値をプロットします。
平面線形ークロソイド ( - )	パラメータを指定してクロソイド曲線をクロソイド要素で入力します。
平面線形ー幅員線 ( - )	幅員線を入力します。
旗上げー平面図旗上げ ( - )	平面図旗上げを入力します。
旗上げー縦断図旗上げ ( - )	縦断図旗上げを入力します。
ヘロン・三斜ー範囲 ( - )	範囲指定でヘロン・三斜図と面積表を入力します。
ヘロン・三斜ー個別 ( - )	個別指定でヘロン・三斜図と面積表を入力します。
ヘロン・三斜ー辺長 ( - )	辺長指定でヘロン・三斜図と面積表を入力します。
ヘロン・三斜ー自動 ( - )	三角形領域指定でヘロン・三斜図と面積表を入力します。

[土木]メニューのコマンド	
法面	上下線(法肩線、法尻線)を入力して法面記号を配置します。
法枠	法枠を配置します。
土工管理	土工管理をおこないます。
断面－簡易断面 ( － )	簡易断面図を作成します。
断面－距離標高・座標 ( － )	基準点の距離・標高を指定して、任意点の距離・標高を算出し距離標高表を作成します。距離標高表は表要素で作成します。
断面－標高値配置 ( － )	標高値、レベル記号を配置します。
断面－横断面図 ( － )	平面図のセンター・左右端点を指定して横断面図を作成します。
土量－ 計算 ( － )	土量(数量)を計算し、土量計算表を作成します。
土量－ 集計 ( － )	土量計算表を集計し帳票を作成します。
土量－土工区分線 ( － )	指定した領域に土工区分線を入力します。
面積計算 ()	面積を算出し、求積表を作成します。
車両軌跡 ()	車両軌跡を入力します。
等高線－標高配置	標高値を入力します。
等高線－標高訂正	自由曲線の標高を訂正します。
等高線－制御点編集	自由曲線の制御点を編集します。
等高線－範囲移動	基準の通過点・移動先を指定し、編集範囲に含まれる全ての通過点を移動することで、コンタ線(等高線)を編集します。
等高線－標高点による補正	標高点 2 点を指定して、標高点とコンタ線(等高線)の標高から通過点を移動し、標高点間のコンタ線と標高点付近のコンタ線(基準線の端を 10mm 延長したものと交差するコンタ線)の形状を編集します。
等高線－連続線変換	任意の数の連続線を指定し自由曲線を作成します。
等高線－自動作成	Z 座標を持つ CAD データに対して自動的にコンタ線を配置します。
工区割り ()	工区割りをします。
拡大図	拡大図を配置します。
表－配置 ()	表を表要素で入力します。
表－訂正 ()	表要素を訂正します。
表－表属性付加	表属性を付加します。
図枠・表題 ()	図枠・表題欄を配置します。
表題欄一括配置	表題欄を一括配置します。

[土木]メニューのコマンド	
ハッチング入力 ()	ハッチングを入力します。
ハッチング中抜き	ハッチング要素の領域内を中抜きします。
シンボル配置 ( -  配置)	基工事看板や標識などのシンボルを指定して図面上に配置します。
シンボル登録 ( -  登録)	図形を選択してシンボルとして登録します。
方位マーク配置 ()	方位マークを指定して、図面上の任意の位置に配置します。
方位マーク登録	図形を選択して方位マークとして登録します。
特殊-特殊図形 ( -  特殊図形)	特殊図形を指定して、図面上の任意の位置に配置します。
特殊-特殊線入力 ( -  特殊線)	境界線、徒歩道、トンネル内の通路など特殊線を指定して、入力します。
特殊-特殊線編集 ( -  特殊線編集)	特殊線記号を訂正します。
パラメトリック配置 ()	パラメトリック図形を配置します。
パラメトリック登録	図形を選択して、パラメトリック登録します。
パラメトリック編集	図形を選択して、パラメトリック設定内容を変更します。
豆図登録 ( -  登録)	図形を選択し、豆図として登録します。
豆図編集 ( -  編集)	豆図を、図面上に配置します。
数量計算配置 ()	数量計算表を配置します。
数量計算編集	数量計算編集を起動して数量計算表のマスタを作成、編集します。
数量計算訂正 ()	数量計算表を訂正します。
ブロック積割付け	閉合図形にブロック積を割付け、数量表を配置します。
朱書き-雲形 ()	雲形(雲の形をした枠)を入力します。 固定レイヤ(朱書き)に入ります。
朱書き-吹出し ()	吹出しを入力します。
朱書き-フリーハンド ()	自由線を入力します。
朱書き-文字列 ( -  文字列)	文字を入力します。
朱書き-複数行 ( -  複数行)	文章を入力します。また、テキストファイルから文章を読み込んで入力することも可能です。
朱書き-図形引出し ( -  単一文字列)	指定した位置を枠で囲み、引出し文字を入力します。
朱書き-図形引出し(複数行) ( -  複数行)	指定した位置を枠で囲み、引出し文章を入力します。

[土木]メニューのコマンド	
朱書きー レ点 ( - )	レ点を入力します。
朱書きー ×点 ( - )	×点を入力します。
チェックー寸法値チェック ()	寸法線要素の寸法値と計測値をチェックします。
チェックー責任主体自動変更 ()	変更のあったレイヤの責任主体を自動で変更します。
チェックーCAD製図基準チェック ()	図面をCAD製図基準に従ってチェックします。
レイヤ振分けアシスト	図面の要素をCAD製図基準に沿ったレイヤに振り分けます。
横断設計照査ー 照査 ( - )	CAD上の要素から断面の情報を取得し、値の訂正やチェックシートを配置することができます。
横断設計照査ー照査(自動) ( - )	変更のあったレイヤの責任主体を自動で変更します。
[建設]メニューのコマンド	
下水道ー管記号配置	マンホール・枅などの管記号を図面上に配置します。
下水道ー管路配置	図面上に管路を配置します。
下水道ー管記号変換	配置済みのプロットマークを管記号に変換します。
下水道ー旗上げ	管記号・管路の管情報を旗上げします。
下水道ー数量集計	記号・管路の管情報を集計し、数量表を作成して配置します。
[データ編集]メニューのコマンド	
移動ー 移動 ( - )	データを移動します。
移動ー移動回転 ( - )	データを移動・回転します。
削除 ()	データを削除します。
複写ー 複写 ( - )	データを複写します。
複写ースタンプ ( - )	データをスタンプします。
複写ー配列複写 ( - )	データを配列複写します。
訂正 ()	データを訂正します。
一括訂正 ()	データを一括訂正します。
回転 ()	データを回転します。
鏡像 ()	データを鏡像移動(複写)します。
伸縮ー 伸縮 ( - )	データを伸縮します。

[データ編集]メニューのコマンド	
伸縮－線伸縮 ( 線伸縮)	線を伸縮します。
伸縮－円弧伸縮 ( 円弧伸縮)	円弧の線を延長、または短縮します。
分解	要素を線や円要素などに分解します。
属性複写 ()	データの属性を複写します。
属性移動 ()	データが持つ属性を移動します。
属性取得 ()	データの属性をサンプリングし、[入力属性]ツールバーをサンプリングした属性に変更します。
延長止線－延長止線 ( 延長止線)	指定した線を他方で指定したライン上まで延長、または切断します。
延長止線－ 整合 ( 整合)	要素の種類が同じデータを結合します。
面取り ()	2 直線を面取します。線分、連続線が対象です。
変化点編集－移動・挿入・削除 ( 移動・挿入・削除)	変化点を編集します。 線分、連続線、自由曲線、上下線が対象です。
変化点編集－分割 ( 分割)	データをハンドルで分割します。分割をおこなうと、分割点でそれぞれ独立した要素になります。連続線、自由曲線が対象です。
変化点編集－結合 ( 結合)	データをハンドルで分割します。分割をおこなうと、分割点でそれぞれ独立した要素になります。連続線、自由曲線が対象です。
カット－要素指定 ( 要素指定)	指定要素と他の要素の交点、あるいは、指定要素上の任意点でカットします。
カット－2点間削除 ( 2点間削除)	指定要素上の2点間をカットします。
カット－線間カット ( 線間カット)	分断する線間部分を指定して、他の要素データと交わる点で分断します。
カット－範囲指定 ( 範囲指定)	設定した対象の要素データの 1 部分を範囲指定し、その部分をカットします。
変形－ 変形 ( 変形)	指定要素と他の要素の交点、あるいは、指定要素上の任意点で変形します。
変形－変形(寸法訂正) ( 変形(寸法訂正))	寸法値を指定して変形します。
文字編集－分解	文字列を 1 文字単位に分解します。
文字編集－連結	ばらばらの文字列を 1 つの文字列として連結します。
文字編集－整列	文字列を整列させます。
縮尺編集－縮尺編集 ( 縮尺編集)	縮尺を編集します。
縮尺編集－形状移動 ( 形状移動)	形状を移動して縮尺の原点、回転角を訂正します。

[データ編集]メニューのコマンド	
縮尺編集-2点指定 ( - )	図面上2点に対する現場座標値を設定し、縮尺値・原点・回転角を計算、あるいは図面上2点に対する距離を設定して、縮尺値を計算します。
パッカー 作成 ( - )	要素を選択し、それぞれの属性を保持しながら1つのデータとしてパック(作図グループ)します。
パッカー 解除 ( - )	パック(作図グループ)したデータを解除します。
パッカー 編集 ( - )	パック(作図グループ)したデータを編集します。
サーチ-重複線 ( - )	重複線を検索し、発見した重複線を1本化します。
サーチ-文字列置換 ( - )	文字を置換します。
クリーンアップ	不要なデータを削除します。
前面へ	データ順を 1 つ前面へ変更します。
背面へ	データ順を 1 つ背面へ変更します。
一括並べ替え	一括でデータ順の並べ替え、縮尺の変更をおこないます。
[ラスベク変換]メニューのコマンド	
一括変換-全体	ラスタデータ全体を、ベクトルデータに一括変換します。
一括変換-四角形	変換する領域を四角形で指定しベクトルデータに一括変換します。
一括変換-多角形	変換する領域を多角形で指定しベクトルデータに一括変換します。
一括変換-設定	ラスタデータをベクトルデータに一括変換する設定をおこないます。
自動トレース-自動追従	指定点から連続するラスタデータを、連続線に変換します。
自動トレース-閉合図形ベクトル化	指定した閉合領域を変換します。
自動トレース-輪郭ベクトル化	変換する領域を多角形で指定しベクトルデータに一括変換します。
自動トレース-コンタレース	指定した 2 点と交差するラスタデータを、標高を持った自由曲線に変換します。
自動トレース-設定	自動トレースで変換する設定をおこないます。
ラスタスナップ-ラスタスナップ	ベクトルデータの編集をおこないます。入力点を結ぶ線とその誤差範囲に全体が含まれる線を連続線に変換します。
ラスタスナップ-設定	ラスタスナップの設定をおこないます。
[設定]メニューのコマンド	
基本設定 ()	基本項目(表示入力、描画順、ピック範囲、矢印の属性、やり直しの回数、新規ページ作成、データ入力時のフォーカス設定、要素指定時の縮尺取得など)を設定します。
システムカラー設定 ()	CAD 画面の配色を設定します。

[設定]メニューのコマンド	
丸め設定 ()	図面上において、座標値を入力、または距離、面積、勾配、寸法などの値を表示するときの丸め、小数点以下の桁数、角度の表示方法などの設定をおこないます。
入力属性設定 ()	データを入力するときの属性を設定します。
用紙設定 ()	用紙種類、内枠サイズ、用紙オフセットなどを設定します。
表示モード表示色:レイヤ ()	図面上のデータをレイヤ別に設定した色で表示します。
表示モード表示色:ペン ()	図面上のデータをペン No 別に設定した色で表示します。
表示モード表示色:線種 ()	図面上のデータを線種別に設定した色で表示します。
表示モード表示色:縮尺 ()	図面上のデータを縮尺別に設定した色で表示します。
表示モード表示色:カラー ()	図面上のデータを属性のカラーで設定した色で表示します。
表示モード文字表示 ()	図面上の文字列を内容表示するか、文字列枠のみで表示するかを切り替えます。
表示モードカーソル情報表示 ()	データを確定する前に表示されるカーソル内の詳細表示、非表示を切り替えます。
表示モードグリッド表示 ()	グリッドの表示、非表示を切り替えます。
表示モード線の変化点を表示 ()	線の変化点をハイライト表示するか、しないかを切り替えます。
表示モード 非検索データをバック表示 ()	レイヤ設定で「非検索:[検索]セルを空欄」に設定しているレイヤ内のデータを、システムカラー色:編集対象外の色で表示するかを切り替えます。
表示モード自動ハイライト表示 ()	自動ハイライト表示のオン・オフを切り替えます。
表示モード簡易プロパティ表示 ()	簡易プロパティの表示・非表示を切り替えます。
表示モード エリアコントロール表示 ()	SXF 既定義ハッチング:Area_Control が入力されている領域の網掛け表示、非表示を切り替えます。
表示モード モノクロラスタをグレースケール化 ()	モノクロ(白黒の2値)のラスタデータをグレースケールで表示する、しないを切り替えます。
表示モードカラーラスタを透過 ()	カラーラスタデータを透過表示するか、しないかを切り替えます。
入力モードドラフタ ()	ドラフタ機能を有効にするか、しないを切り替えます。
入力モード座標補正△xy ()	データの編集時の入力位置や基準位置を指定するとき、マウスでクリックした位置からの縦、横の移動量を入力して入力点、基準点の位置を設定する機能のオン、オフを切り替えます。
入力モード絶対座標入力 ()	データを入力する際に、用紙座標の原点(0,0)または[入力属性設定]コマンドで設定した縮尺(現場座標)の座標原点からの絶対座標値を指定して入力します。
入力モードXY入力 ()	図面上で2点目以降のデータを入力するとき、次点の入力位置を前回の入力点からのX方向の距離・Y方向の距離を指定して入力します。
入力モード距離・角度入力 ()	図面上で2点目以降のデータを入力するときなど、次点の入力位置を前回の入力点からの距離と方向角を入力して指定します。

[設定]メニューのコマンド	
入力モード距離・勾配入力 ()	図面上で2点目以降のデータを入力するときなどに次点の入力位置を前回の入力点からの距離と勾配を入力して指定します。
入力モード測量系 ()	データ入力時の座標を測量座標系に設定します。
入力モード数学系 ()	データ入力時の座標を数学座標系に設定します。
選択モードパック指定 ()	図面上のデータを選択する際、選択対象データをパック(作図グループ)単位にするか、しないかを切り替えます。
選択モードポイント ()	マウスでクリックした点のデータを選択します。
選択モードクロス ()	2点間上に交差するデータを選択します。
選択モード四角形イン ()	2点指定四角形内のデータを選択します。
選択モード四角形タッチ ()	2点指定四角形上に交差するデータ、または四角形内に囲まれているデータを選択します。
選択モード多角形イン ()	N点指定多角形内のデータを選択します。
選択モード多角形タッチ ()	N点指定多角形上に交差するデータ、または多角形内に囲まれているデータを選択します。
選択モードフリーハンド ()	マウスで描いた軌跡上に交差するデータを選択します。
選択モード全選択 ()	要素別に全てのデータを選択します。
選択モード属性選択 ()	属性別の階層毎にデータを選択します。
選択モード選択移動 ()	選択移動の場合、選択したデータにはハンドルが表示され、データの移動、複写ができます。
ピックモードマーク ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近いプロットマークの中心点にします。
ピックモード交点 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い交点にします。
ピックモード端点 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い端点にします。
ピックモードグリッド ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近いグリッドの交点にします。
ピックモードフリー ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置にします。
ピックモード4半円点 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした円・円弧の4半円点(0度・90度・180度・270度・360度)にします。
ピックモードラスタ ()	ラスタデータのピックモードを有効にします。ラスタデータは、モノクロ(白黒の2値)のラスタデータが対象です。 ピックモードの設定は[ラスタピック設定]で設定します。
ピックモード線上 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い線上にします。
ピックモード中点 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い線の中点にします。
ピックモード中心点 ()	入力位置または基準位置を、マウスでクリックした位置に1番近い円(円弧)、または楕円(楕円弧)の中心点にします。
ピックモードダイナミックピック ()	マウスポインタにピックすることができる点のイメージを表示するかしないかを切り替えます。

[設定]メニューのコマンド	
ピックモード-音声ガイド ()	入力位置や基準位置をマウスで指定したときに、ピックモード名を音声にしてくれるモードで、そのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-ラスタピック設定 ()	ラスタデータのピックモードを設定します。
グリッド設定 ()	図面全体に表示するグリッドの間隔や角度などを設定します。
ドラフタ設定 ()	ドラフタ角度を設定します。この設定は、ドラフタ機能がオンになっているときのみ有効です。ドラフタ角度は常に用紙座標系上のX軸を基準にして機能します。
カラーパレット設定 ()	カラーパレットを設定します。カラーパレットは、レイヤ・縮尺・ペン・線種のデータ表示色、要素のカラーとして使用します。
レイヤ設定 ()	レイヤを設定します。
縮尺追加 ()	縮尺を追加します。
縮尺設定 ()	縮尺を設定します。
ペン設定 ()	ペンを設定します。
線種設定 ()	線種を設定します。
形状表示 ()	属性別の各階層毎に形状表示します。
ポップアップカスタマイズ	右クリックで表示されるポップアップメニューをカスタマイズします。
キーカスタマイズ	キーボードによるショートカットキーをカスタマイズします。
コマンドバーカスタマイズ	コマンドバーをカスタマイズします。
[3D]メニューのコマンド	
データ管理	3D データの複写・削除・名称変更、あるいは既存データを開きます。
CAD	Z 座標をもつ CAD データから 3D データを作成します。
CAD[要素指定]	Z 座標をもつ CAD 要素を指定して、3D データを作成します。
LandXML	LandXML ファイルを読み込んで、TIN データから 3D データを作成します。
DXF/DWG	DXF/DWG ファイルを読み込んで、3D-Face の情報から 3D データを作成します。
Z 値編集-一点指定	選択した複数要素に対して、Z 座標値をまとめて設定します。
Z 値編集-要素指定	Z 座標をもつ CAD 要素を指定して、3D データを作成します。
[ツール]メニューのコマンド	
オプション	全体的な設定をおこないます。
計測-2 点間の距離方向 ()	指定した 2 点間の距離および方向角を表示します。
計測-一点と線の距離方向角 ()	任意の点と直線を指定して、その間におろせる垂線の距離および方向角を表示します。
計測-2 線間距離 ()	平行な 2 線間の距離を表示します。
計測-連続距離 ()	図面上で連続的に点を指定していき、その総距離を表示します。
計測-3 点内角 ()	点を指定して、内角 (1点目から2点目の進行方向に対して右廻りの角度) を表示します。
計測-3 点垂直 ()	指定した2点と任意の点との距離を表示します。

[ツール]メニューのコマンド	
計測-斜距離 ()	任意の2点を指定し、2点の標高を入力して斜距離を表示します。
計測-斜面積 ()	図面上の任意の3点を指定し、指定した3点の標高を入力して斜面積を表示します。
計測-面積 ()	面積を計測して表示します。
計測-要素長 ()	線、円弧、自由曲線、クロソイド要素の要素長を表示します。
計測-座標デジタイズ ()	任意の点を指定して、用紙座標上のX、Y座標値、現場座標上のX、Y、Z座標値を表示します。
ピック補助-延長交点 ()	2要素の延長交点上にピック補助点を作成します。
ピック補助-2点の midpoint ()	2点の midpoint にピック補助点を作成します。
ピック補助-端点距離 ()	要素端点の延長上にピック補助点を作成します。
ピック補助-任意点距離 ()	要素のオフセット点にピック補助点を作成します。
交点計算-4点交点 ()	4点指定で2直線の交点を算出します。
交点計算-直線と円 ()	直線(円)と円の交点を算出します。
交点計算-2円の交点 ()	2円の交点を算出します。
交点計算-線の延長点 ()	線の延長点を算出します。
交点計算-内分点外分点 ()	直線の内分点または外分点を算出します。
交点計算-平行移動点 ()	2点を平行移動した点を算出します。
交点計算-連続平行移動点 ()	連続線の通過点を平行移動した点を算出します。
交点計算-3点垂直 ()	直線(円)に、指定点より垂直に下ろした点を算出します。
交点計算-オフセット ()	直線からのオフセット点を算出します。
交点計算-1点1方向 ()	1点からの距離と方向点を指定して点を算出します。
交点計算-隅切計算 ()	3点指定した角の隅切点を算出します。
データ量の状態	各要素別に図面上に存在するデータ数、選択データ数、割合グラフを表示します。
表示-ツールバー	ツールバーの表示、非表示、各ツールバーのアイコンを設定します。
表示-メッセージバー	メッセージバーを変更します。
表示-ページタブバー	ページタブバーの表示、非表示を切り替えます。
表示-ステータスバー	アプリケーションウィンドウの下方に、各種情報を表示するステータスバーの表示、非表示を切り替えます。
表示-ガイドバー	CAD画面左側に表示するガイドバーの表示、非表示を切り替えます。
[ヘルプ]メニューのコマンド	
ヘルプ	ヘルプを表示します。
各種資料	「各種資料」の目次が表示されます。
クリック個所の機能解説表示	コマンドをクリックするとマウスポインタがヘルプポインタに変わります。このヘルプポインタでコマンド(メニュー、ツールバーのアイコン)をクリックすると、クリック個所のヘルプ解説を見ることができます。

[ヘルプ]メニューのコマンド	
iNetHELP 設定	常時インターネットに接続されているマシンから、最新のヘルプ解説を見ることができます。
武蔵.TV	「武蔵.TV」を利用します。 「武蔵.TV」は、成果品作成に使用できる様々なデータを無料ダウンロードできる総合コンテンツ提供サイトです。
よくある質問と回答	ユーザー様からのお問い合わせ頻度の高い質問と、それに対する回答をアップしているWebサービスを開きます。
FC コンシェルジュ	「FCコンシェルジュ」を利用します。「FCコンシェルジュ」は、製品情報や各地のイベント・セミナー情報、サポート情報やサポートコンテンツなどを、各ユーザー様専用の内容で提供する機能です。
リモートサポート	「リモートサポート」を利用します。「リモートサポート」は、電話だけでは解決が困難な場合、インターネットでお客様のパソコンと弊社サポートセンターを接続し、お客様の画面上で弊社のオペレーターが直接操作説明をおこないます。
バージョン情報	プログラムのバージョン情報、ユーザーID、システムの情報を確認します。

2-2 座標入力メニューバーのコマンド

座標入力メニューバーのコマンドを紹介します。

[座標入力]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
計算設定	丸めを設定します。
上位桁	座標を登録する場合の座標値の不変値を設定します。
電子野帳取込	電子野帳から座標データを取込みます。
電子野帳送出	編集集中の座標入力の座標データを電子野帳に送出します。
SIMA 取込	SIMA データから座標を取り込みます。
SIMA 書込	SIMA データに変換します。
SIMA (JPGIS) 取込	SIMA (JPGIS) データから座標を取り込みます。
SIMA (JPGIS) 書込	SIMA (JPGIS) データに変換します。
CSV 取込	CSV 形式のデータから座標を取り込みます。
CSV 書込	座標を CSV 形式のデータに書き出します。
検索	座標を点名で検索します。
座標変換	座標変換をおこないます。※「[座標変換]実行後の[座標変換]メニューのコマンド」(P.49) 参照
帳票作成	帳票を作成します。
座標元に戻す	座標に対しておこなった編集作業を元の状態に戻します。
座標やり直し	[座標元に戻す]で実行した内容を取り消します。
閉じる	座標入力を終了します。

[座標変換]実行後の[座標変換]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
CAD 四角形入力	プロット画面より四角形指定で座標を抽出します。
CAD 多角形入力	プロット画面より多角形指定で座標を抽出します。
抽出	開始点番などを指定して座標を抽出します。
帳票作成	帳票を作成します。
座標登録	座標変換による変換座標を、座標入力に登録します。
座標入力に戻る	座標入力に戻ります。

2-3 座標プロットのメニューバーのコマンド

座標プロットのメニューバーのコマンドを紹介します。

[座標プロット]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
計算設定	丸めを設定します。
CAD 四角形入力	プロット画面より四角形指定で座標を抽出します。
CAD 多角形入力	プロット画面より多角形指定で座標を抽出します。
抽出	開始点番などを指定して座標を抽出します。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を作成・配置します。
表配置	表を配置します。 配置後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
編集を取り消す	座標プロットの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	座標プロットのデータを更新して終了します。

2-4 トラバース計算のメニューバーのコマンド

トラバース計算のメニューバーのコマンドを紹介します。

[トラバース計算]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
野帳データ	野帳データを入力します。※「[野帳データ]実行後の[トラバース計算]メニューのコマンド」(P.50) 参照
初期設定	トラバース計算方法などの初期設定をおこないます。
表示項目	表示項目を切り替えます。
帳票作成	帳票を作成します。
座標登録	トラバース計算で算出した視準点を、座標入力に登録します。
形状図配置	形状図を作成・配置します。

[トラバース計算]メニューのコマンド	
編集を取り消す	トラバース計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	トラバース計算のデータを更新して終了します。
[野帳データ]実行後の[トラバース計算]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
表示項目	表示項目を切り替えます。
電子野帳取込	電子野帳データを取り込み手簿計算をおこなって、[野帳]ステージに適用します。
ポケット取込	TREND POCKET の電子野帳観測データ(*.pro)を取り込み、手簿計算をおこなって[野帳]ステージに適用します。
X-FIELD/XYCLONE 取込	弊社の現場端末システム X-FIELD、XYCLONE で出力した連携ファイル(.MCF)を開いて、X-FIELD、XYCLONE の現況(対回)観測データを取り込み、[野帳]ステージに適用します。
帳票作成	帳票を作成します。
観測データ	観測データを入力します。 ※「[トラバース計算]メニューのコマンド」(P.49) 参照
編集を取り消す	トラバース計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	トラバース計算のデータを更新して終了します。

2-5 杭打ち計算のメニューバーのコマンド

杭打ち計算のメニューバーのコマンドを紹介します。

[杭打ち計算]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
計算設定	丸めを設定します。
CAD 四角形入力	プロット画面より四角形指定で座標を抽出します。
CAD 多角形入力	プロット画面より多角形指定で座標を抽出します。
距離入力	器械点から指定距離内の座標を抽出します。
並び替え	視準点を並び替えます。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を作成・配置します。
表配置	表を配置します。 配置後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
編集を取り消す	杭打ち計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	杭打ち計算のデータを更新して終了します。

2 - 6 線形計算のメニューバーのコマンド

線形計算のメニューバーのコマンドを紹介します。

[線形計算]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
計算条件-測点スタイル	測点スタイルを設定します。
計算条件-路線計算条件	路線計算条件を設定します。
計算条件-巾杭計算条件	巾杭計算条件を設定します。
線形入力	線形を入力します。※「[線形入力]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.51)参照
センター表示	センター点を確認・訂正します。※「[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.51)参照
巾杭計算	巾杭を入力します。※「[巾杭計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.52)参照
幅員計算	幅員データを入力します。※「[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.52)参照
編集を取り消す	線形計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	線形計算のデータを更新して終了します。
[線形入力]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
IP 点番点名付け直し	[IP 点番][IP 点名]を自動で一括入力します。
SIMA 読み込み	路線 SIMA 形式のアスキーファイルを、線形計算のデータとして読み込みます。
SIMA 書き込み	線形計算で作成した路線データを、SIMA データに変換して書き込みます。
計算条件	計算条件を設定します。
センター表示	センター点を確認・訂正します。※「[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.51)参照
巾杭計算	巾杭を入力します。※「[巾杭計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.52)参照
幅員計算	幅員データを入力します。※「[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.52)参照
編集を取り消す	線形計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	線形計算のデータを更新して終了します。
[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
データ入力-プラス杭	プラス杭を入力します。
データ入力-ブレーキ点	ブレーキ点を入力します。
データ入力-垂線の足	垂線の足を入力します。
データ入力-センター標高	センター点を対象に縦断計画を入力してセンター標高を算出します。
再計算	再計算をおこないます。

[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
座標登録	センター点・巾杭点を座標入力に登録します。
帳票作成	帳票を作成します。
図面作成－形状図配置	形状図を配置します。
図面作成－表配置	表を配置します。 作成後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
計算条件	計算条件を設定します。
線形入力	線形を入力します。※「[線形入力]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.51) 参照
巾杭計算	巾杭を入力します。※「[巾杭計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.52) 参照
幅員計算	幅員データを入力します。※「[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.52) 参照
編集を取り消す	線形計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	線形計算のデータを更新して終了します。
[巾杭計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
入力方法－測点指定	測点指定で巾杭を入力します。
入力方法－センター取込	センター点の[点名][杭 No][+距離][追加距離]を[巾杭計算]ステージに取り込みます。取込は常に追加取込になります。
座標登録	センター点・巾杭点を座標入力に登録します。
帳票作成	帳票を作成します。
図面作成－形状図配置	形状図を配置します。
図面作成－表配置	表を配置します。 作成後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
計算条件	計算条件を設定します。
線形入力	線形を入力します。※「[線形入力]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.51) 参照
センター表示	センター点を確認・訂正します。※「[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.51) 参照
幅員計算	幅員データを入力します。※「[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.52) 参照
編集を取り消す	線形計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	線形計算のデータを更新して終了します。
[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
データ入力－片勾配入力	片勾配を入力します。
データ入力－拡幅入力	拡幅を入力します。
帳票作成	帳票を作成します。
計算条件	計算条件を設定します。

[幅員計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド	
線形入力	線形を入力します。※「[線形入力]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.51) 参照
センター表示	センター点を確認・訂正します。※「[センター表示]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.51) 参照
巾杭計算	巾杭を入力します。※「[巾杭計算]実行後の[線形計算]メニューのコマンド」(P.52) 参照
編集を取り消す	線形計算の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	線形計算のデータを更新して終了します。

2-7 縦断線形のメニューバーのコマンド

縦断線形のメニューバーのコマンドを紹介します。

[縦断線形]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
データ入力-測点自動	測点を自動作成します。
データ入力-水準入力	水準データを入力します。
取り込み-線形データ	線形計算で作成した線形計算データから[測点名][追加距離]を取り込みます。
取り込み-SIMA	路線計算条件を設定します。
取り込み-CAD 数値化	CADデータを数値化し[単距離][追加距離][地盤高]を算出します。
書き出し-SIMA	SIMA データに変換します。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を配置します。
計算設定	丸めを設定します。
計画	計画データを入力します。 ※「[計画]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド」(P.53) 参照
曲線	曲線データを入力します。 ※「[曲線]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド」(P.54) 参照
編集を取り消す	縦断線形の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	縦断線形のデータを更新して終了します。
[計画]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド	
取り込み-線形データ	線形計算で作成した線形計算データから[測点名][追加距離]を取り込みます。
一括計画-シフト	入力済みの計画からシフト量分だけ計画高を平行移動して、別の計画にセットします。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を配置します。
計算設定	丸めを設定します。

[計画]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド	
現地盤	現地盤データを入力します。 ※「[縦断線形]メニューのコマンド」(P.53) 参照
曲線	曲線データを入力します。 ※「[曲線]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド」(P.54) 参照
編集を取り消す	縦断線形の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	縦断線形のデータを更新して終了します。
[曲線]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド	
データ入力-曲線要素	曲線要素を入力します。
データ入力-片勾配	片勾配を入力します。
データ入力-拡幅	拡幅を入力します。
帳票作成	帳票を作成します。
計算設定	丸めを設定します。
現地盤	現地盤データを入力します。 ※「[縦断線形]メニューのコマンド」(P.53) 参照
計画	計画データを入力します。 ※「[計画]実行後の[縦断線形]メニューのコマンド」(P.53) 参照
編集を取り消す	縦断線形の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	縦断線形のデータを更新して終了します。

2-8 横断丁張のメニューバーのコマンド

横断丁張のメニューバーのコマンドを紹介します。

[横断丁張]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
線形データ読み込み	線形計算で作成した線形計算データを取り込みます。
縦断データ読み込み	縦断線形で作成した縦断線形データを取り込みます。
CAD 数値化	CAD データを数値化し現地盤の[距離][地盤高]、計画の断面形状のデータを算出します。
現地盤	現地盤データを入力します。 ※「[現地盤]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.55) 参照
計画	計画データを入力します。 ※「[計画]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.55) 参照
丁張計算	丁張計算データを入力します。※「[丁張計算]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.56) 参照
編集を取り消す	横断丁張の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	横断丁張のデータを更新して終了します。

[現地盤]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
SIMA 読み込み	SIMA データを取り込みます。
SIMA 書き込み	SIMA データを書き込みます。
X-FIELD 読み込み	X-FIELD データを書き込みます。
CIMPHONY 読み込み	CIMPHONY からデータを書き込みます。
センター地層線	センター地層線の深さを設定します。
並べ替え	断面の左右に関して測点を距離の短い方から順番に並べ替えをおこないます。
副断面設定	副断面を設定します。
水準入力	水準データを入力します。
座標から作成	線形計算のデータから現地盤データを作成します。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を配置します。
計算設定	丸めを設定します。
断面設定	断面条件を入力します。
計画	計画データを入力します。 ※「[計画]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.55) 参照
丁張計算	丁張計算データを入力します。※「[丁張計算]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.56) 参照
編集を取り消す	横断丁張の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	横断丁張のデータを更新して終了します。
[計画]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド	
法面部設定	法面部を設定します。各断面ごとに設定が可能です。
計画一括訂正	計画データを一括訂正します。
変化点情報	変化点を確認します。
舗装一点指定	1 点指定で計画線を指定して舗装データを入力します。
舗装範囲指定	四角形指定で計画線を指定して舗装データを入力します。
舗装一括指定	断面を指定して舗装データを一括入力します。
構造物配置	構造物を入力します。
構造物訂正(点)	1 点指定で構造物を訂正します。
構造物訂正(範囲)	四角形指定で構造物を訂正します。
構造物削除(点)	1 点指定で構造物を削除します。
構造物削除(範囲)	四角形指定で構造物を削除します。
寸法入力(点)	1 点指定で横断寸法線を入力します。

[計画]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド	
寸法－入力(範囲)	四角形指定で横断寸法線を入力します。
勾配	計画点間の勾配値と法長を表示します。
寸法－削除(点)	1 点指定で法線を削除します。
寸法－削除(範囲)	四角形指定で法線を削除します。
標準断面－読み込み	標準断面を取り込みます。
標準断面－書き込み	編集集中の計画断面を標準断面として登録します。
座標登録	計画点・丁張算出点を座標入力に登録します。
帳票作成	帳票を作成します。
形状図配置	形状図を作成・配置します。
TS 出来形断面設定	管理断面の出来形管理箇所の設定、横断構成点の構成要素の設定などをおこないます。
計算設定	丸めを設定します。
断面設定	断面条件を入力します。
現地盤	現地盤データを入力します。 ※「[現地盤]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.55) 参照
丁張計算	丁張計算データを入力します。※「[丁張計算]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.56) 参照
編集を取り消す	横断丁張の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	横断丁張のデータを更新して終了します。
[丁張計算]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド	
算出点指定	丁張算出点を設定します。
算出点削除	丁張算出点を削除します。
座標登録	計画点・丁張算出点を、座標入力に登録します。
帳票作成	帳票を作成します。
計算設定	丸めを設定します。
断面設定	断面条件を入力します。
現地盤	現地盤データを入力します。 ※「[現地盤]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.55) 参照
計画	計画データを入力します。 ※「[計画]実行後の[横断丁張]メニューのコマンド」(P.55) 参照
編集を取り消す	横断丁張の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	横断丁張のデータを更新して終了します。

2-9 舗装展開図のメニューバーのコマンド

舗装展開図のメニューバーのコマンドを紹介します。

[舗装展開図]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
設定－表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
設定－入力条件	入力条件を設定します。
データ入力－測点自動作成	測点を自動作成します。
データ入力－切削オーバーレイ読込	切削オーバーレイで作成した切削オーバーレイデータから[測点][距離][車道][構造物][控除物]を取り込みます。
データ入力－舗装出来形管理データ読込	舗装出来形管理で出力した CSV ファイルから、舗装出来形管理データの[層の名前][測点名][左右片幅][全幅][延長]の実測値・設計値を取り込みます。
帳票作成	帳票を作成します。
図面作成－形状図配置	図面を作成します。 作成後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
図面作成－表配置	表を配置します。
混合	混合データを入力します。
控除	控除データを入力します。入力した構造物の面積が控除されます。 控除する構造物がない場合には入力する必要はありません。
編集を取り消す	舗装展開図の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	舗装展開図のデータを更新して終了します。

2-10 擁壁展開図のメニューバーのコマンド

擁壁展開図のメニューバーのコマンドを紹介します。

[擁壁展開図]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
入力条件	入力条件を設定します。
データ入力－測点自動作成	測点を自動作成します。
帳票作成	帳票を作成します。
図面作成－形状図配置	図面を作成します。 作成後は、測量計算を終了し CAD 画面での編集状態になります。
図面作成－表配置	表を配置します。
控除	控除データを入力します。入力した構造物の面積が控除されます。 控除する構造物がない場合には入力する必要はありません。
編集を取り消す	擁壁展開図の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	擁壁展開図のデータを更新して終了します。

2-11 法面展開図のメニューバーのコマンド

法面展開図のメニューバーのコマンドを紹介します。

[法面展開図]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
作成方法	展開図の作成方法を指定します。
データ入力-座標抽出	座標入力より座標を抽出します。
三斜-自動三斜	三斜を自動で作成します。
三斜-範囲三斜	範囲を指定して、三斜を入力します。
三斜-三斜線変更	三斜線を変更します。 三斜線を変更は、2つの隣接している三斜の区切り線を、残りの2つの構成点同士が結ばれるような区切り線にします。
三辺	三辺データを入力します。 構成点については、プロット画面で測点をクリックして抽出することも可能です。
配置	分割位置を指定してデータを分割します。
控除	控除データを入力します。入力した構造物の面積が控除されます。 控除する構造物がない場合には入力する必要はありません。
編集を取り消す	法面展開図の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	法面展開図のデータを更新して終了します。

2-12 切削オーバーレイのメニューバーのコマンド

切削オーバーレイのメニューバーのコマンドを紹介します。

[切削オーバーレイ]メニューのコマンド	
計算設定	丸めを設定します。
画面設定	プロット画面に表示する内容を設定します。
アラート設定	縦断設計、横断設計時の警告条件を設定します。
帳票作成	帳票を作成します。
現地盤	現地盤データを入力します。※「[現地盤]実行後の[切削オーバーレイ]メニューのコマンド」(P.59) 参照
計画	計画データを入力します。※「[計画]実行後の[切削オーバーレイ]メニューのコマンド」(P.59) 参照
縦断図配置	縦断図を作成・配置します。
横断図配置	横断図を作成・配置します。
編集を取り消す	切削オーバーレイの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	切削オーバーレイのデータを更新して終了します。

[現地盤]実行後の[切削オーバーレイ]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
計算設定	丸めを設定します。
画面設定	プロット画面に表示する内容を設定します。
入力条件	入力条件を設定します。
測点自動	測点を自動作成します。
座標から作成	線形計算のデータから現地盤データを作成します。
SIMA 読み込み	SIMA データを取り込みます。既存データは破棄されます。
TREND-POINT 読み込み	TREND-POINT データを取り込みます。
水準入力	水準データを入力します。
断面情報	測点の断面情報を確認します。
帳票作成	帳票を作成します。
作業設定	作業条件を設定します。 ※「[切削オーバーレイ]メニューのコマンド」(P.58) 参照
計画	計画データを入力します。※「[計画]実行後の[切削オーバーレイ]メニューのコマンド」(P.59) 参照
縦断図配置	縦断図を作成・配置します。
横断図配置	横断図を作成・配置します。
元に戻す	[現地盤ステージ][計画ステージ]でおこなった、編集作業を元の状態に戻します。5 回まで可能です。
やり直し	[切削オーバーレイ]－[元に戻す]コマンドで実行した内容を取り消します。
編集を取り消す	切削オーバーレイの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	切削オーバーレイのデータを更新して終了します。
[計画]実行後の[切削オーバーレイ]メニューのコマンド	
表示項目	ステージ画面の表示項目を切り替えます。
計算設定	丸めを設定します。
画面設定	プロット画面に表示する内容を設定します。
アラート設定	縦断設計、横断設計時の警告条件を設定します。
簡単計画	計画データを自動入力します。
横断一括シフト	シフト量を設定して、横断計画データを一括訂正します。 ただし、対象層の一括訂正に伴う他の設計層の連動はしません。
横断一括勾配	勾配を設定して、横断計画データを一括訂正します。 ただし、対象層の一括訂正に伴う他の設計層の連動はしません。
現地盤交点	現地盤と設計層の交点を確認します。
面積算出範囲	面積算出範囲を設定します。

[計画]実行後の[切削オーバーレイ]メニューのコマンド	
作業設定	作業条件を設定します。 ※「[切削オーバーレイ]メニューのコマンド」(P.58) 参照
現地盤	現地盤データを入力します。※「[現地盤]実行後の[切削オーバーレイ]メニューのコマンド」(P.59) 参照
縦断面配置	縦断面図を作成・配置します。
横断面配置	横断面図を作成・配置します。
元に戻す	[現地盤ステージ][計画ステージ]でおこなった、編集作業を元の状態に戻します。5 回まで可能です。
やり直し	[切削オーバーレイ]－[元に戻す]コマンドで実行した内容を取り消します。
編集を取り消す	切削オーバーレイの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	切削オーバーレイのデータを更新して終了します。

2-13 3次元設計データ作成のメニューバーのコマンド

3次元設計データ作成のメニューバーのコマンドを紹介します。

[3次元設計データ作成]メニューのコマンド	
基本設定	基本条件を設定します。
計算設定	丸めを設定します。
線形切替	作業する線形データを切り替えます。
計画層変更	建設 CAD 以外で作成した XML を読み込んだ場合など、複数の構築形状(計画)がある場合に作業する計画層を切り替えます。
自動作成	CAD データ、または既存の作業データから、平面・縦断・横断データを自動作成します。
平面	平面のデータを入力します。
縦断	縦断のデータを入力します。
横断	横断のデータを入力します。
構成要素	横断の構成点の属性を設定します。
工種設定	工種を設定します。
出来形設定	出来形管理箇所を設定します。
接続設定	接続を設定します。
読み込み－線形 XML	基本設計データ(*.XML)、または道路中心線形データ(*.XML)を読み込みます。
読み込み－LandXML	LandXML データ(*.XML)を読み込みます。
読み込み－切削データ	切削オーバーレイの作業データ(武蔵 2012 以降)を読み込みます。
書き込み－基本設計	平面、縦断、横断のデータを元に、道路中心線形(平面線形、縦断線形)、横断面形状の情報を取得し、計測対象点の情報などを付加した基本設計データを出力します。

[3次元設計データ作成]メニューのコマンド	
書込みー道路中心線形	平面、縦断、横断のデータを元に、道路中心線形(平面線形、縦断線形)の情報を取得し、プロジェクト情報などを付加した道路中心線形データを出力します。
書込みーLandXML	平面、縦断、横断のデータを、LandXML データに変換します。
書込みーGoogle Earth	3D モニタの形状を Google Earth 上に表示できるファイル (*.kmz)に出力します。
書込みーその他形式	3D モニタの形状を、その他の形式データ (*.DXF)に変換します。
線形変換	3次元設計データ作成のデータを線形計算、縦断線形、横断丁張、舗装展開図の各測量計算データに変換します。
計測点を座標登録	本設計データ (*.XML)を読み込んだ時など、現在の線形に計測した点が存在する場合は、計測点の座標を座標入力に登録します。
編集を取り消す	3次元設計データ作成の編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	3次元設計データ作成のデータを更新して終了します。
[平面]メニューのコマンド	
計算条件ー測点スタイル	測点スタイルを設定します。
計算条件ー路線計算条件	路線計算条件を設定します。
線形入力	線形を入力します。
センター表示	センター点を確認・訂正します。
編集を取り消す	平面データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	平面データを更新して終了します。
[縦断]メニューのコマンド	
数値チェックー表配置	CAD 縦断図に、発注図面上の数値と受注者による入力、計算値を比較するチェックリスト(求積表)を配置します。
片勾配・拡幅	片勾配・拡幅データを入力します。
編集を取り消す	縦断データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	縦断データを更新して終了します。
[横断]メニューのコマンド	
CAD 数値化	CAD データを数値化し現地盤の[距離][地盤高]、計画の断面形状のデータを算出します。
現地盤	現地盤データを入力します。
計画	計画データを入力します。
編集を取り消す	横断データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	横断データを更新して終了します。
[構成要素]メニューのコマンド	
一括設定ー全項目	基準となる断面と条件を指定して、構成要素を一括設定します。
一括設定ー構成要素	条件を指定して、構成要素を一括設定します。
道路面	横断の構成点の道路面を設定します。

[構成要素]メニューのコマンド	
法面	横断の構成点の法面を設定します。
小段	横断の構成点の小段を設定します。
その他	横断の構成点のその他を設定します。
編集を取り消す	構成要素データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	構成要素データを更新して終了します。
[工種設定]メニューのコマンド	
一括設定－全項目	基準となる断面と条件を指定して、工種を一括設定します。
工種一覧	工種を一覧から設定します。
工種指定	範囲指定して工種を設定します。
地下構造物－配置	地下構造物を配置します。
地下構造物－連続配置	地下構造物を連続配置します。
地下構造物－編集	地下構造物を編集します。
地下構造物－削除	地下構造物を削除します。
地下構造物－全削除	全ての地下構造物を削除します。
編集を取り消す	工種設定データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	工種設定データを更新して終了します。
[出来形設定]メニューのコマンド	
一括設定－全項目	基準となる断面と条件を指定して、工種を一括設定します。
一括設定－出来形項目	出来形管理箇所を一括設定します。
横断指定－基準高	横断 CAD で基準高を設定します。
横断指定－幅	横断 CAD で幅を設定します。
横断指定－法長	横断 CAD で法長を設定します。
横断指定－深さ	横断 CAD で深さを設定します。
横断指定－厚さ	横断 CAD で厚さを設定します。
横断指定－断面積	横断 CAD で断面積を設定します。
横断指定－削除	横断 CAD で選択中の断面の出来形管理箇所を一括削除します。
平面指定－延長	平面 CAD で延長を設定します。
平面指定－面積	平面 CAD で面積を設定します。
全削除	すべての断面の出来形管理箇所を一括削除します。
編集を取り消す	出来形設定データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	出来形設定データを更新して終了します。

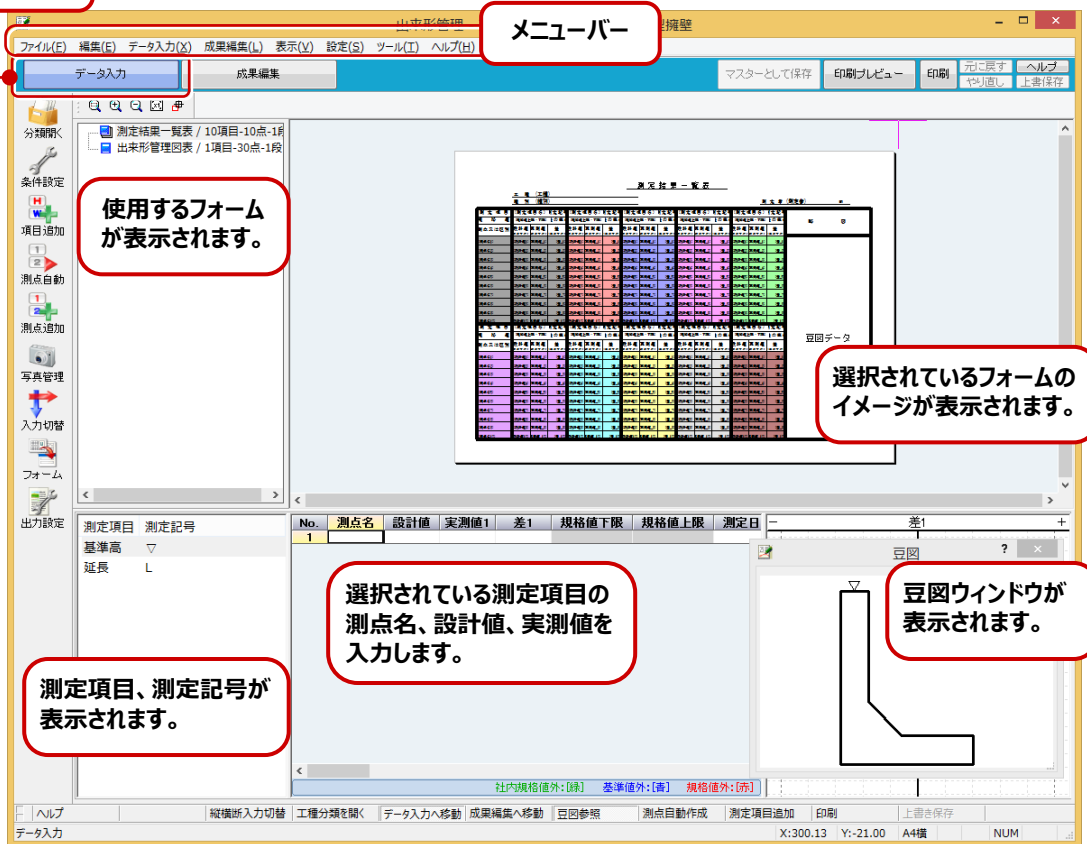
[接続設定]メニューのコマンド	
一括設定－全項目	基準となる断面と条件を指定して、接続線を一括設定します。
一括設定－接続線	接続線を一括設定します。
接続線－移動	平面 CAD で接続線を移動します。
接続線－追加	平面 CAD で接続線を追加します。
接続線－削除	平面 CAD で接続線を削除します。
接続線－観測点関連付け	平面 CAD で接続線に観測点を関連付けします。
3D 形状線	3D 形状線を設定します。
構成点除外	3D 形状を表現するための点として使わないように除外します。
交点設定	横断CADで現況と計画の交点を変更します。
全削除	接続線の設定状態をすべて削除し、構成点除外の設定をすべて削除します。
編集を取り消す	接続設定データの編集を取り消して終了します。
更新して閉じる	接続設定データを更新して終了します。

出来形管理

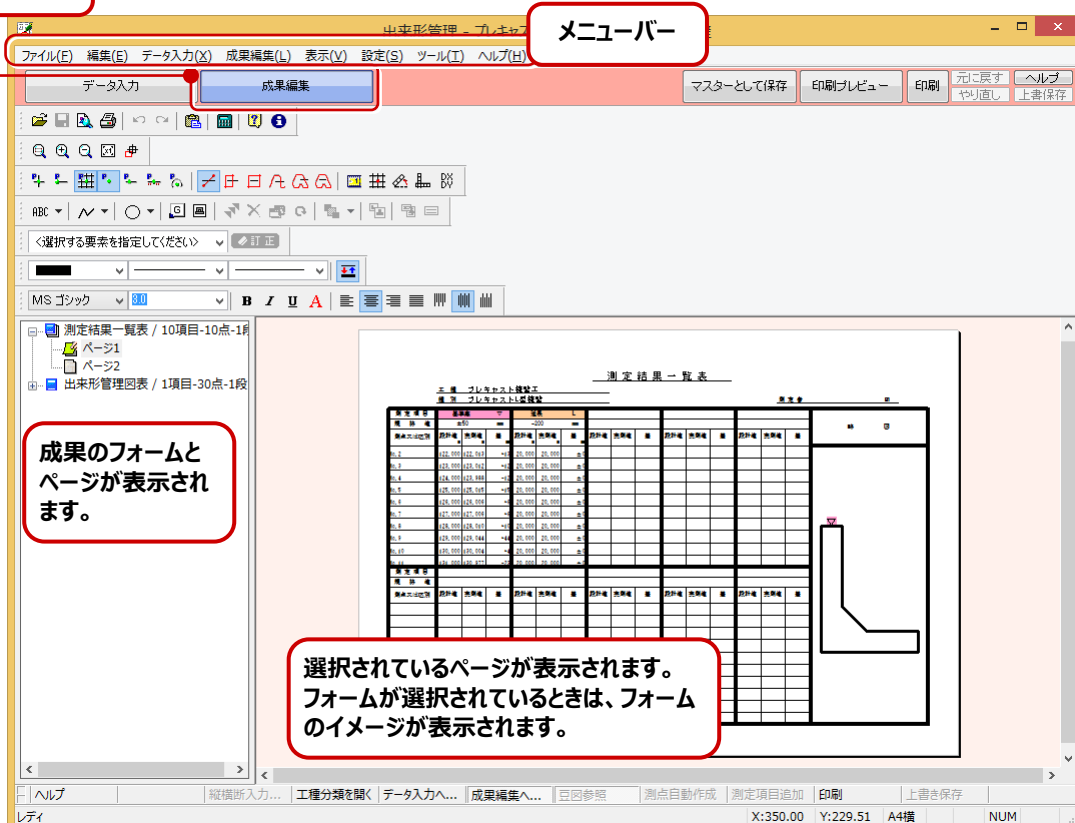
1 出来形管理の画面構成

出来形管理の画面まわりの機能を確認します。

データ入力画面



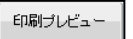
成果編集画面



2 出来形管理のコマンドの紹介

出来形管理のメニューバーのコマンドを紹介します。

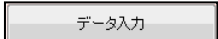
[ファイル]メニューのコマンド

工種分類を開く ()	作業中の分類を閉じ、他の分類を開きます。
上書き保存	編集中の工事データを上書きで保存します。
工事情報	編集中の工事データの工事情報を入力します。
規格値名設定	「基準値」「社内規格値」を成果に出力する際の名称を設定します。
印刷プレビュー ()	編集中の出来形成果の印刷イメージを表示します。
印刷 ()	編集中の出来形成果を印刷します。
「インデックス」に成果を登録ー XLS ファイルを出力	編集中の測定データを Excel 形式 (*.xls) のフォーム(様式)で出力し、弊社「EX-TREND 武蔵 インデックス」に登録します。
「インデックス」に成果を登録ー PDF ファイルを出力	編集中の出来形管理の成果を PDF 形式 (*.pdf) で出力し、弊社「EX-TREND 武蔵 インデックス」に登録します。
Excel 出力	編集中の測定データを、Excel 形式 (*.xls) のフォーム(様式)で出力します。
PDF 出力	編集中の出来形管理のフォームを、PDF で出力します。
出来形管理の終了	出来形管理を終了します。

[編集]メニューのコマンド

元に戻す ()	直前におこなった操作を元の状態に戻します。
やり直し ()	[元に戻す]コマンドで元に戻した操作をやり直します。
クリップボードから貼り付け	クリップボードに保存されているデータを貼り付けます。

[データ入力]メニューのコマンド

データ入力をする ()	出来形管理のデータを入力します。
縦横断入力切替 ()	出来形管理のステージを切り替えます。
測定項目ー条件設定 ()	測定項目の設計値・実測値、差、規格値・基準値・社内規格値などの条件を設定します。
測定項目ー追加 ()	測定項目を追加します。
測定項目ー変更	既存の測定項目の名称と記号を変更します。
測定項目ー複写	測定項目を複写します。
測定項目ー削除	測定項目を削除します。
測定項目ー並べ替え	測定項目の表示順を並べ替えます。 ※フォームは測定項目の表示順と同じ順番で出力されます。
測点ー測点自動作成 ()	測点名の条件を指定して、測点を一括作成します。
測点ー追加	測点を追加挿入します。

[データ入力]メニューのコマンド	
測点－変更	既存の測点名を変更します。
測点－削除	測点を削除します。
測点－並べ替え	測点の順番を並べ替えます。
セルー一括訂正	選択したセルの内容を一括して訂正します。
セルー位置－先頭	一番上のセルに移動します。
セルー位置－末尾	一番下のセルに移動します。
セルー位置－ジャンプ	指定した行のセルに移動します。
セルー位置－検索	指定した文字を検索します。検索は1つの項目単位でおこないます。複数の項目にまたがって検索をおこなうことはできません。
セルー行－行挿入	指定行の前に行を挿入します。また複数の行を選択した場合は、その行数分をまとめて挿入します。
セルー行－行削除	指定した行を削除します。削除した行は間詰めされます。
セルー行－行移動	指定した行を上書きで移動します。
セルー行－行複写	指定した行を上書きで複写します。
セルー行－行入れ替え	指定した行を、指定先の行と入れ替えます。
セルーセルの固定	セルを固定します。セル測定データ入力時には、Enter キーを押して次のセルへカーソルを移動することができますが、セルを固定するとカーソルが移動しなくなります。
セルーセルの固定解除	セルの固定を解除します。
セルーオートワイド	表示中のすべての項目を表示できるように、項目の幅を自動調整します。
セルーウィンドウ枠の固定	選択されているセルの左側の枠を固定します。 枠を固定すると、特定の列を表示したままセルをスクロールできます。たとえば[測点名]を表示したままスクロールすることができます。
セルー項目変更－セル項目変更	測定データを入力する項目の表示/非表示を設定します。
セルー項目変更－テンプレート管理	測定データを入力する項目の状態を、テンプレートとして管理します。
写真管理 ()	写真管理の写真を参照します。 写真の黒板部分や写真情報を参考にしながら、測定データを入力するときなどに使用します。
豆図参照	編集集中の分類の分類情報に設定されている豆図を参照します。 ※[豆図]ダイアログは、起動時に表示されています。
フォーム選択 ()	作成する出来形成果のフォーム(様式)を追加・変更します。
フォーム並べ替え	成果のフォーム(様式)の順番を変更します。
出力設定 ()	成果の出力条件(出力対象とする測定項目、測点、表示色など)について設定します。

[成果編集]メニューのコマンド	
成果編集をする ()	出来形管理の成果編集をおこないます。
文字-テキスト ()	四角形のテキスト枠を入力して、内部に文字列を入力します。
文字-引き出し文字 ()	引き出し文字を入力します。
線-連続線 ()	直線の連続線を入力します。
線-平行線 ()	基準となる線を指定し、その基準線に対して平行線を入力します。
線-直折れ線 ()	折れ線(直角固定折線)を連続入力します。
線-垂線 ()	垂線をおろす基準となる線(直線、円、円弧など)から、垂線の位置・長さを指定して入力します。
線-四角形 ()	四角形を入力します。
線-多角形 ()	直線で囲まれた閉合図形を入力します。
線-自由線 ()	自由曲線を入力します。
円-中心半径 ()	円の中心点と半径位置を指定して、円を作成します。
円-円弧 ()	3 点指定で円弧を作成します。
画像配置 ()	画像ファイルを2点指定で作成した四角形枠内の中央に配置します。
豆図配置 ()	豆図を2点指定で作成した四角形枠内の中央に配置します。
豆図変更 ()	配置されている豆図を他の豆図に変更します。
豆図編集	配置された豆図を、豆図 CAD で編集します。
訂正 ()	選択されているデータの書式を変更します。変更可能な書式は、選択されているデータにより異なります。
移動 ()	選択されているデータを移動します。
削除 ()	選択されているデータを削除します。
複写 ()	選択されているデータを複写します。
回転 ()	選択されているデータを回転します。
描画順序-最前面へ移動 ()	現在選択されているデータをすべてのデータの1番手前に移動します。
描画順序-最背面へ移動 ()	現在選択されているデータをすべてのデータの1番後方に移動します。
描画順序-前面へ移動 ()	現在選択されているデータを 1 つ手前に移動します。
描画順序-背面へ移動 ()	現在選択されているデータを 1 つ後方に移動します。
測点数設定	出来形成果の 1 ページ当たりの「測定項目数」・「測点数」・「段数」を変更します。
ページ編集初期化	成果編集ステージで「ページ」に対して編集した内容をすべて初期状態に戻します。鉛筆マークのアイコンが表示されているページで使用可能です。
マスターとして保存 ()	編集中の成果をマスターとして保存します。

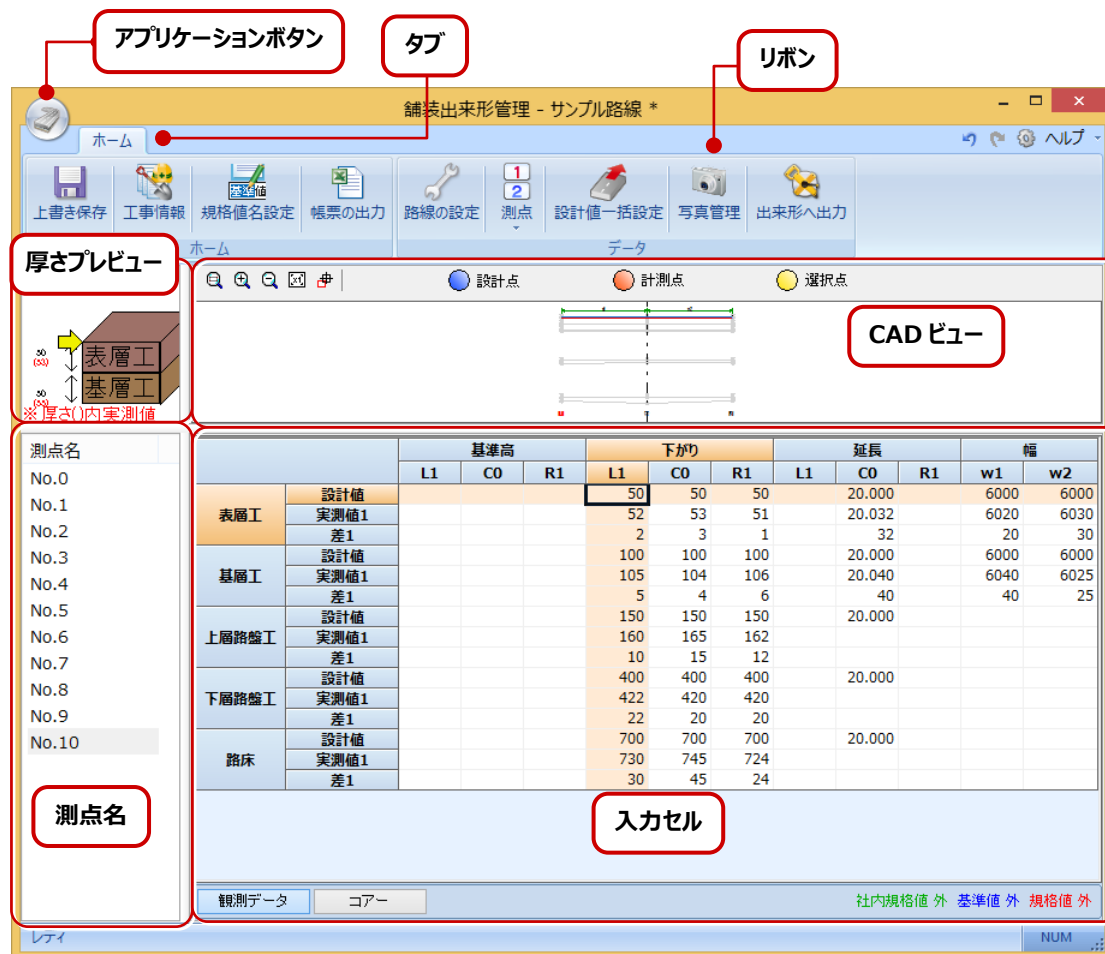
[表示]メニューのコマンド	
拡大 ()	表示範囲を拡大(対角指定)します。
倍率拡大 ()	表示範囲を一定倍率で拡大します。
倍率縮小 ()	表示範囲を一定倍率で縮小します。
原図 ()	用紙全体を最大表示します。
移動 ()	表示範囲を動かします。表示倍率は変わりません。
ルーラーを表示する ()	ルーラー(目盛)の表示/非表示を切り替えます。
ガイド文字を表示する	マウスポインタの位置(座標値、距離)を表わすガイド文字の表示/非表示を切り替えます。
ツールバー	ツールバーに表示するコマンド(アイコン)を設定します。
ファンクションバー	ファンクションキーで実行される操作について設定します。
ステータスバー	ウィンドウ下方のステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
[設定]メニューのコマンド	
セル設定	測定データを入力するときのカーソルの移動方向、セルのフォントと色、縦断入力の補助機能について設定します。
グラフ設定	縦断入力時に表示されるグラフについて設定します。
線幅表示	成果の表示で線幅表示の有効/無効を切り替えます。
ピックモード-交点 ()	線の交点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-端点 ()	線の端点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-グリッド ()	グリッドの交点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-フリー ()	自由な位置をクリックして指定できるモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-線上 ()	線上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-中点 ()	線の中点をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-中心点 ()	円、または円弧の中心点をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-ピック設定	ピックモードに関する設定をおこないます。設定する内容は、ピックモード時のピック検索範囲、ポイント選択時の選択感度などです。
選択モード-線分 ()	指定した2点間を結ぶ直線上に交差するデータが選択されます。
選択モード-四角形 ()	指定した2点を対角とする四角形上に交差したデータと四角形内のデータが選択されます。
選択モード-四角形内 ()	指定した2点を対角とする四角形内のデータが選択されます。
選択モード-フリーハンド ()	マウスポインタで描いた軌跡上に交差するデータが選択されます。
選択モード-フリーハンド領域 ()	マウスポインタで描いた軌跡に交差したデータと、軌跡で作成された領域内のデータが選択されます。
選択モード-フリーハンド領域内 ()	マウスポインタで描いた軌跡で作成された領域内のデータが選択されます。
グリッド ()	用紙全体に表示するグリッドの間隔を変更します。

[設定]メニューのコマンド	
ガイド文字	マウスポインタの位置(座標値、距離)を表わすガイド文字のサイズとフォントを設定します。
ドラフタードラフタ ()	ドラフタ機能のオン/オフを切り替えます。
ドラフタードラフタ設定 ()	ドラフタ機能をオンにしたときのマウスポインタをロックする方向を設定します。
オフセット入力 ()	オフセット入力モードのオン/オフを切り替えます。
[ツール]メニューのコマンド	
工事テンプレート登録	現在の工事データを工事テンプレートに登録します。 登録されるのは分類情報(工種、種別、豆図)、測定項目、測定項目の条件設定です。
工事テンプレート削除	登録済みの工事テンプレートをテンプレートファイルから削除します。
ポケット出力	弊社アプリケーション「TREND POCKET」用の出来形観測システム用のデータを作成します。
オプション	プログラムの動作環境に関する設定をおこないます。
電卓 ()	Windows システムの電卓アプリケーションを起動します。
[ヘルプ]メニューのコマンド	
ヘルプ ()	ヘルプを表示します。
各種資料	「各種資料」の目次を表示します。
iNetHELP 設定	常時インターネットに接続されているマシンから最新のヘルプ解説を見ることができます。この機能を使用するには、このコマンドで iNetHELP の設定を有効にしておく必要があります。
よくある質問と回答	ユーザー様からのお問い合わせ頻度の高い質問と、それに対する回答をアップしている Web サービスを開きます。
リモートサポート	「リモートサポート」は、電話だけでは解決が困難な場合に、インターネットでお客様のパソコンと弊社サポートセンターを接続して、お客様の画面上で弊社のオペレーターが直接操作説明をおこないます。
バージョン情報	バージョン情報、著作権、ユーザーID、現在作業中のドキュメント情報などを表示します。

鋪裝出來形管理

1 舗装出来形管理の画面構成

舗装出来形管理の画面まわりの機能を確認します。



舗装出来形管理の画面構成

アプリケーションボタン	データを作成するにあたり、読み込み、保存、出力などの基本操作がまとめられています。
リボン・タブ	リボンはタブとグループで構成されています。作業内容に応じて必要なコマンドがグループ化されてリボンにまとめられ、リボンは設計プロセスに応じてタブでまとめられています。
厚さプレビュー	層の模式図を表示し、現在の入力している層を示します。 入力した高さの値から厚さを計算して表示します。
CADビュー	入力された値をリアルタイムに反映した横断面の形状を表示します。 データが入力されていない場合は図示しません。
測点名	路線の測点名を一覧表示します。 データを表示または入力する測点を選択してください。
入力セル	[観測データ]: 観測した基準高や下がりを入力する場合に選択します。 横断面に対して、各層・各項目の設計値・実測値・差を入力してください。 [コアー]: コアー厚など直接厚さを計った場合は、こちらを使用してください。

2 舗装出来形管理のコマンドの紹介

舗装出来形管理のアプリケーションボタン、[ホーム]タブのコマンドを紹介します。

アプリケーションボタンのコマンド		
舗装出来形管理の終了		舗装出来形管理を終了します。
[ホーム]タブのコマンド		
	(上書き保存)	編集中の舗装出来形管理データを、保存します。
	(工事情報)	工事情報の確認/編集をおこないます。
	(規格値名設定)	「基準値」「社内規格値」を任意の名称に変更します。
	(帳票の出力)	帳票を出力します。
	(路線の設定)	路線の層、測定位置、幅を再設定します。
	(測点-自動作成)	測点名の条件を指定して、測点を一括作成します。
	(測点-追加)	測点を追加挿入します。
	(測点-変更)	測点名を変更します。
	(測点-削除)	測点を削除します。
	(測点-並べ替え)	測点を並べ替えます。
	(設計値一括設定)	測点を指定して、設計値を一括設定します。
	(写真管理)	写真管理の写真を参照します。
	(出来形へ出力)	舗装出来形データを、出来形管理に出力します。

写真管理

1 写真管理の画面構成

写真管理の画面まわりの機能を確認します。

写真管理



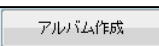
写真管理の画面構成

メニューバー	コマンドが関連性のあるコマンドごとにメニューで分類されています。
画面切り替え	写真管理の画面を切り替えます。 [入力・編集]: 写真の取り込み、写真の仕分け、写真情報の入力、写真の編集をおこないます。 [アルバム作成]: アルバムのプレビュー、アルバム作成をおこないます。 [電子納品出力]: 電子納品チェック、電子納品データ作成をおこないます。
分類ツリー	写真を登録する工種分類(フォルダ)がツリー形式で表示されます。
写真ビュー	分類ツリーで選択した写真が一覧表示されます。

2 写真管理のコマンドの紹介

写真管理のメニューバーのコマンドを紹介します。

[ファイル]メニューのコマンド	
上書き保存 ()	編集中の工事データを上書きで保存します。
工事情報	工事情報を入力します。
電子納品基準の選択 ()	使用する電子納品基準案を選択します。
Excel 出力 ()	Excel 形式の写真一覧を自動作成します。
HTML ()	HTML の写真一覧を自動作成します。
印刷 ()	表示されている写真を一覧で印刷します。
分類出力ーリコーカメラメモリスト出力	写真管理で作成した分類ツリーの分類名称を、「リコーカメラメモリスト」として出力します。
分類出力ーCSV	分類名と写真枚数を、外部ファイル(カンマ区切りの CSV ファイル)に出力します。
分類出力ー「インデックス」へ	写真管理で使用している分類を、「インデックス」へ登録します。
「どこでも写真管理」連携ー 「どこでも写真管理」分類出力	スマートフォン用アプリ「どこでも写真管理」に、写真管理の分類情報を出力します。
「どこでも写真管理」連携ー 「どこでも写真管理」ダウンロード	スマートフォン用アプリ「どこでも写真管理」から、写真をダウンロードします。
「どこでも写真管理」連携ー 「どこでも写真管理」取込	スマートフォン用アプリ「どこでも写真管理」からダウンロードした写真を、「写真管理」に取り込みます。
「写真管理」の終了	写真管理を終了します。
[編集]メニューのコマンド	
元に戻す ()	操作をひとつ前の状態に戻します。
やり直し ()	[元に戻す]コマンドで元に戻した操作をやり直します。
文字列置換	写真情報に入力されている文字列を別の文字列に一括置換します。
[入力・編集]メニューのコマンド	
入力・編集 ()	写真情報の入力・編集をおこないます。
取り込み ()	写真を「分類ツリー」または「取り込み分類」に取り込みます。
仕分け ()	写真を分類(フォルダ)に仕分けします。
写真情報 ()	選択した写真の写真情報を入力します。
分類読み込みーテンプレート ()	工事テンプレートを使用して、工種分類を追加します。

[入力・編集]メニューのコマンド	
分類読み込みー積算データ	他社の積算データファイルを読み込んで、工種分類を追加します。
分類読み込みー外部ファイル	CSV ファイルを読み込んで、工種分類を追加します。
分類読み込みー「インデックス」から	「インデックス」で管理している他のプログラムで作成した工種分類を読み込みます。
並べ替え ()	写真を写真情報の記入内容で並べ替えます。
スライド	右側の画面で表示中の写真を、1 枚ずつ全画面で表示します。
画像編集	写真の一部を切り落としたり、明るさ・コントラストなどの補正、回転、大きさを変更します。 ※メタファイル (*.wmf、*.emf) の写真は編集できません。
画像回転	写真を回転します。 ※メタファイル (*.wmf、*.emf) の写真は編集できません。
情報置換 ()	入力されている写真情報を、同写真の他の項目の入力値として適用します。
パノラマ	2 枚の写真を合成して 1 枚の写真 (パノラマ写真) にします。 ※メタファイル (*.wmf、*.emf) の写真は編集できません。
設定 ()	写真管理の初期値、写真情報、表示、入力、メモ、画像、データなどを設定します。
ごみ箱 ()	削除した写真は、すべて一旦ごみ箱に移動されます。 ごみ箱内の写真は復活できます。
番号の整列 ()	写真の [シリアル番号] [写真ファイル名] を、「写真のデータ順 (表示順)」または「写真情報の撮影年月日順」で振り直します。
[アルバム]メニューのコマンド	
アルバム ()	アルバムを作成します。
条件設定 ()	アルバムを作成する前にアルバムの名称やフォームなどを設定します。
プレビュー ()	条件設定により作成されるアルバムのイメージを、プレビューで確認することができます。
作成 ()	[条件設定] で設定した内容にしたがって、アルバムを自動作成します。
手差し ()	アルバム編集を起動します。
写真情報 ()	選択した写真の写真情報を入力します。
成果編集 ()	すでに作成されているアルバムを、アルバム編集で編集します。
空白写真 ()	空白写真を入力します。
アルバムデータ取得 ()	アルバムから写真および写真情報を取得します。

[電子納品]メニューのコマンド	
電子納品 ()	電子納品出力をおこないます。
条件設定 ()	出力する電子納品データの作成条件を設定します。
チェック ()	入力されている写真情報を、「[基準の選択]コマンド」で選択されている基準案を基にチェックします。
作成 ()	写真(PHOTO)フォルダのみの電子納品データを作成します。
電子納品ツール起動 ()	写真管理データを電子納品ツールで開きます。
電子納品ツール「開く」データの変更	「電子納品ツール起動」で電子納品ツールを起動すると、次回からは最後に保存された電子納品データが自動的に開かれます。 このコマンドを実行すると、次回「電子納品ツール起動」時に「新規作成」または「既存データを開く」を選択できるようになります。
編集前画像の出力	写真管理で編集された画像の、元画像を出力します。
写真情報 ()	選択した写真の写真情報を入力します。
番号の整列 ()	写真の[シリアル番号][写真ファイル名]を、「写真のデータ順(表示順)」または「写真情報の撮影年月日順」で振り直します。
情報置換 ()	入力されている写真情報を、同写真の他の項目の入力値として適用します。
[表示]メニューのコマンド	
工種ツリー(3 階層) ()	分類ツリーを「工種以下の 3 階層」で表示します。
区分ツリー(5 階層) ()	分類ツリーを「写真-大分類以下の 5 階層」で表示します。
一覧表示 ()	写真の表示を一覧表示(リスト表示)に切り替えます。
簡易表示 ()	写真の表示を簡易表示(サムネイル表示)に切り替えます。
詳細表示 ()	写真の表示を詳細表示(サムネイル+写真情報表示)に切り替えます。
台帳表示 ()	写真を台帳イメージで表示します。
ステータスバー	ウインドウ下部のステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
ファンクションバー	ファンクションキーで実行される操作について設定します。
[ツール]メニューのコマンド	
分類-登録	現在の工事データを工事テンプレートに登録します。登録されるのは分類ツリーの形状です。
分類-削除	登録済みの工事テンプレートを、テンプレートファイルから削除します。
オプション	プログラムの動作環境に関する設定をおこないます。

[ヘルプ]メニューのコマンド	
ヘルプ (ヘルプ)	ヘルプを表示します。
各種資料	「各種資料」の目次を表示します。
iNetHELP 設定	常時インターネットに接続されているマシンから、最新のヘルプ解説を見ることができます。この機能を使用するには、このコマンドで iNetHELP の設定を有効にしておく必要があります。
よくある質問と回答	ユーザー様からのお問い合わせ頻度の高い質問と、それに対する回答をアップしている Web サービスを開きます。
操作ナビゲーションを利用する	写真管理や電子納品ツールの操作手順書 (PDF) をアップしている Web サイトを開きます。
リモートサポート	「リモートサポート」は、電話だけでは解決が困難な場合、インターネットでお客様のパソコンと弊社サポートセンターを接続し、お客様の画面上で弊社のオペレーターが直接操作説明をおこないます。
バージョン情報	バージョン情報、著作権、ユーザーID、現在作業中のドキュメント情報などを表示します。

アルバム編集

1 アルバム編集の画面構成

アルバム編集の画面まわりの機能を確認します。



アルバム編集の画面構成	
メニューバー	各種コマンドが機能別にメニューグループ化され用意されています。ガイドバーやコマンドバーなど、他のグループに配置されているコマンドの大部分が格納されています。
コマンドバー	元に戻す・やり直し、ページの操作、写真枠(エリア)の操作などをおこないます。[より高度な編集]のときは、コマンドバー(より高度な編集)に切り替わります。
ガイドバー	よく使用するコマンドが抜粋されています。ガイドバーの[高度編集]をクリックすると、ガイドバー(より高度な編集)に切り替わります。 [設定]—[編集モード]—[アルバム作成][より高度な編集]で表示されるコマンドを切り替えることもできます。
ページツリー	アルバムのページがツリー表示されます。
アルバムイメージビュー	実際のアルバムデータを編集するビューです。

2 アルバム編集のコマンドの紹介

アルバム編集のメニューバーのコマンドを紹介します。

[ファイル]メニューのコマンド	
新規作成	新規にアルバムを作成します。
開く	保存されているアルバムを開きます。
上書き保存	編集中のアルバムを上書きで保存します。
名前をつけて保存	編集中のアルバムを、指定した名称で別ファイルに保存します。
「アルバム」データ保守	作成済みの「アルバム」データを保守(名称変更／複製／削除)します。
印刷プレビュー	編集中のアルバムの印刷イメージを表示します。
印刷	編集中のアルバムを印刷します。
プリンタの設定	プリンタの機種の変更や詳細な設定をおこないます。
[[「インデックス」]に成果を登録	編集中のアルバムをPDF形式(*.pdf)で出力し、弊社「EX-TREND 武蔵 インデックス」の工事成果の「工事写真帳」に登録します。
「アルバム編集」の終了	アルバム編集を終了します。
[編集]メニューのコマンド	
元に戻す	直前におこなった操作を元の状態に戻します。
やり直し	[元に戻す]コマンドで元に戻した操作をやり直します。
クリップボードから貼り付け	クリップボードに保存されているデータを貼り付けます。
[専用]メニューのコマンド	
ページグループ挿入	ページツリーで選択中のグループ内に、グループを追加します。
ページ表紙挿入	アルバムに表紙を挿入します。
ページページ挿入	ページツリーで選択したグループの最後、または選択したページの直後に、ページを挿入します。
ページページ挿入(別フォーム)	ページツリーで選択したグループの最後、または選択したページの直後に、フォームを選択してページを挿入します。
ページ白紙ページ挿入	ページツリーで選択したグループの最後、または選択したページの直後に、白紙ページを挿入します。
ページ白紙に戻す	ページツリーで選択しているページ内の、全ての要素を削除します。
ページコピー	ページツリーで選択しているページを、クリップボードにコピーします。
ページ貼り付け	ページツリーで選択したグループの最後、または選択したページの直後に、コピーされたページを挿入します。
ページ削除	ページツリーで選択したグループまたはページを、削除します。
ページ一括削除	グループまたはページを指定して、一括削除します。
ページ名称変更	ページツリーで選択したグループまたはページの名称を、変更します。

[専用]メニューのコマンド	
ページー一つ上へ移動	ページツリーで選択したグループまたはページを1つ上へ移動します。
ページー一つ下へ移動	ページツリーで選択したグループまたはページを1つ下へ移動します。
ページー用紙設定	ページツリーで選択したページの用紙を、設定します。
ページーレイアウト一括適用	表示中のページのレイアウトを、他のページに適用します。
画像ー枠配置	写真または画像を配置する枠を配置します。
画像ー編集	選択している写真(画像)を編集します。
表・セルー表の入力	表を入力します。写真管理データの工事情報や、写真情報と連動した表も作成可能です。
表・セルー表の訂正	選択した表を訂正します。
表・セルーセルの訂正	表内の各セルの内容を訂正します。
表・セルーコピー	表またはセルの値と属性をコピーします。
表・セルー貼り付け	コピーした表またはセルの値と属性を他の表またはセルに貼り付けます。
エリアー作成	エリアを作成します。 エリアとは写真枠・情報枠等をグループ化したもので、同じエリアに属するものは、同じ写真管理データに関連付けられます。
エリアー分解	エリアを解除して、元の要素に分解します。
エリアー挿入	選択エリアの前に、エリアを挿入します。
エリアー挿入(別フォーム)	選択エリアの前に、フォームを選択して、エリアを挿入します。
エリアークリア(余白にする)	選択エリアの、画像や表の内容をクリアして、余白にします。 ただし表内の設定(項目名など)はクリアされません。
エリアーコピー	選択エリアをクリップボードにコピーします。 エリアが複数選択されている場合は、全てのエリアがデータ順にクリップボードにコピーされます。
エリアー貼り付け	選択エリアの前に、クリップボード内のエリアデータを貼り付けます。
エリアー切り取り	選択エリアをクリップボードにコピーし、削除します。 切り取りが行われても、ページ内のエリア数は減りません。 切り取られたエリアより後のエリアが繰り上がります。
エリアー削除(写真を削除して詰める)	選択エリア内の写真を削除して、以降の写真を詰めます。
エリアー最新の情報に更新	選択エリアの情報を「写真管理データ」から取得し、最新の情報に更新します。
エリアー整列	指定したページ上のエリアを整列します。
エリアーエリアの変更	写真や表のエリアを変更します。
豆図ー配置	豆図を配置します。
豆図ー登録	選択した要素を豆図に登録します。
豆図ー分解	配置されている豆図を、線分や四角形、文字列などに分解します。 また枠も削除されます。
フォームーページの変更	ページのフォームを、別のフォームに変更します。

[専用]メニューのコマンド	
フォーム-エリアの変更	エリアのフォームを、別のフォームに変更します。
フォーム-ページの一括変更	複数のページのフォームを、別のフォームに一括変更します。
フォーム-ページの書込	選択したページのフォーム(様式)を、「ユーザー定義フォーム」に書き込みます。
フォーム-エリアの書込	選択したエリアのフォーム(様式)を、「ユーザー定義フォーム」に書き込みます。
フォーム-ページのメンテナンス	ページのフォーム(様式)のグループ名やフォーム名の変更をおこないます。また、フォームデータのインポート/エクスポートも可能です。
フォーム-エリアのメンテナンス	エリアのフォーム(様式)の、グループ名やフォーム名の変更をおこないます。また、フォームデータのインポート/エクスポートも可能です。
写真取込-写真管理を起動して取込	コマンドを実行すると、写真管理が起動します。起動した写真管理からアルバム編集に、ドラッグ&ドロップで、写真や参考図を配置することができます。
写真取込-エクスプローラーを起動して取込	コマンドを実行すると、エクスプローラーが起動します。起動したエクスプローラーから、ファイルまたはフォルダーをアルバム編集にドラッグ&ドロップして、写真や参考図を配置することができます。
関連付け-画像枠関連付け	選択した写真と要素(文字や矢印、引き出し、吹き出しなど)を関連付けます。写真と関連付けられた要素は、反転印刷時に写真と一緒に反転するため、位置のずれが起きません。
関連付け-画像枠関連付け解除	写真と関連付けられた要素(文字や矢印、引き出し、吹き出しなど)の関連付けを解除します。
最新の情報に更新	写真管理データと連動しているデータに関して、写真管理から最新のデータを取得し、アルバムの情報を更新します。 対象は「参考図(画像)」と「表」です。
[入力]メニューのコマンド	
文字-文字入力	文字列を入力します。
文字-テキストボックス	テキストボックス(枠付の文字列)を入力します。
文字-吹き出し	吹き出しを入力します。
文字-引き出し文字	引き出し文字を入力します。
点・マーク	点またはマークを入力します。
線-線分	線分を入力します。
線-垂線	垂線を入力します。
線-平行線	平行線を入力します。
多角形-線	多角形(連続線)を入力します。
多角形-閉合	多角形(閉合)を入力します。
四角形	四角形を入力します。
円	円を入力します。
円弧	円弧を入力します。
楕円	楕円を入力します。

[入力]メニューのコマンド	
楕円弧	楕円弧を入力します。
自由曲線	自由曲線を入力します。
矢印	矢印を入力します。
[修正]メニューのコマンド	
複写	データを複写します。
移動	データを移動します。
削除	データを削除します。
回転	データを回転します。
鏡像	データを鏡像します。
線伸縮	線分または円弧を伸縮します。
延長止線	線分または円弧を、指定した線分・円・円弧・楕円まで伸縮します。
配置揃えー上	選択したデータを上揃えします。
配置揃えー下	選択したデータを下揃えします。
配置揃えー左	選択したデータを左揃えします。
配置揃えー右	選択したデータを右揃えします。
配置揃えー上下中央	選択したデータを、ページの上下中央に揃えます。
配置揃えー左右中央	選択したデータを、ページの左右中央に揃えます。
順序ー最前面へ移動	選択したデータを、最前面に移動します。
順序ー最背面へ移動	選択したデータを、最背面に移動します。
順序ー前面へ移動	選択したデータを、1つ前面に移動します。
順序ー背面へ移動	選択したデータを、1つ背面に移動します。
[設定]メニューのコマンド	
設定ー設定	アルバム編集の、プログラム固有の設定をおこないます。
編集モードーアルバム作成	編集モードを、「アルバム作成モード」(基本モード)にします。 写真の並べ替え、表の入力内容の訂正などが行えます。
編集モードーより高度な編集	編集モードを、「より高度な編集モード」(高度編集モード)にします。 画像枠や表のサイズ変更、画像枠や表の移動などがおこなえます。
配置モードー挿入	アルバム編集の配置モードを、「挿入モード」にします。 写真やエリアの配置時に、有効です。
配置モードー入替	アルバム編集の配置モードを、「入替モード」にします。 写真やエリアの配置時に、有効です。
番号表示	オンにすると、画像枠と表に、エリアを表すラベルが表示されます。 同じエリアに属するものには、同じラベルが表示されます。
「画像枠」「表」:選択対象外	オンにすると、「画像枠」と「表」が選択対象外になります。 写真や表上に配置されている汎用図形(文字や引き出し文字、線など)が、選択しやすくなります。
ピックモードー交点	線の交点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。

[設定]メニューのコマンド	
ピックモード-端点	線の端点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-グリッド	グリッドの交点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-フリー	自由な位置をクリックして指定できるモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-線上	線上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-中点	線の中点をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-中心点	円、または円弧の中心をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-ダイナミックピック	ピックを有効にしたい場合は、オンにします。 ピックを無効にしたい場合は、オフにします。
ピックモード-ダイナミックピックのヒント表示	マウスポインタに、現在のピックの状況を表すイメージを表示するかしないかを切り替えます。
選択モード-クロス	指定した 2 点間を結び直線上に交差するデータが選択されます。
選択モード-四角形イン	指定した 2 点を対角とする四角形内のデータが選択されます。
選択モード-四角形タッチ	指定した 2 点を対角とする四角形上に交差したデータと、四角形内のデータが選択されます。
選択モード-多角形イン	N 点指定多角形内のデータを選択します。
選択モード-多角形タッチ	N 点指定多角形上に交差するデータ、または多角形内に囲まれているデータを選択します。
選択モード-フリーハンド	マウスポインタで描いた軌跡上に交差するデータが選択されます。
入力モード-ドラフタ	ドラフタ機能のオン、オフを切り替えます。
入力モード- Δxy 座標補正	データの編集時の入力位置や基準位置を、マウスでクリックした位置からの縦、横の移動量で補正する機能のオン、オフを切り替えます。
入力モード-距離・角度補正	データの編集時の入力位置や基準位置を、マウスでクリックした位置からの距離と方向(水平右方向 0 度、反時計回り)で補正する機能のオン、オフを切り替えます。
[表示]メニューのコマンド	
ステータスバー	ウィンドウ下部のステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
ファンクションバー	ファンクションキーで実行される操作について設定します。
[ツール]メニューのコマンド	
オプション	施工管理プログラム全般の、動作環境に関する設定をおこないます。

[ヘルプ]メニューのコマンド	
ヘルプ	ヘルプを表示します。
各種資料	「各種資料」の目次を表示します。
iNetHELP 設定	常時インターネットに接続されているマシンから、最新のヘルプ解説を見ることができます。この機能を使用するには、このコマンドで iNetHELP の設定を有効にしておく必要があります。
よくある質問と回答	ユーザー様からのお問い合わせ頻度の高い質問と、それに対する回答をアップしている Web サービスを開きます。
リモートサポート	「リモートサポート」は、電話だけでは解決が困難な場合、インターネットでお客様のパソコンと弊社サポートセンターを接続し、お客様の画面上で弊社のオペレーターが直接操作説明をおこないます。
バージョン情報	バージョン情報、著作権、ユーザーID、現在作業中のドキュメント情報などを表示します。

アスファルト温度管理

1 アスファルト温度管理の画面構成

アスファルト温度管理の画面まわりの機能を確認します。

データ入力画面

使用するフォームが表示されます。

選択されているフォームのイメージが表示されます。

台数、測定項目などを入力します。

成果編集画面

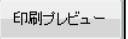
成果のフォームとページが表示されます。

選択されているページが表示されます。フォームが選択されているときは、フォームのイメージが表示されます。

2 アスファルト温度管理のコマンドの紹介

アスファルト温度管理のメニューバーのコマンドを紹介します。

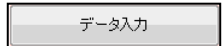
[ファイル]メニューのコマンド

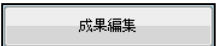
工種分類を開く ()	作業中の分類を閉じ、他の分類を開きます。
上書き保存	編集中の工事データを上書きで保存します。
工事情報	編集中の工事データの工事情報を入力します。
印刷プレビュー ()	編集中の成果の印刷イメージを表示します。
印刷 ()	編集中の成果を印刷します。
「インデックス」に成果を登録－ XLS ファイルを出力	編集中のアスファルト温度管理の成果を Excel 形式 (*.xls) のフォーム(様式)で出力し、弊社「EX-TREND 武蔵 インデックス」に登録します。
「インデックス」に成果を登録－ PDF ファイルを出力	編集中のアスファルト温度管理の成果を PDF 形式 (*.pdf) で出力し、弊社「EX-TREND 武蔵 インデックス」に登録します。
Excel 出力	編集中の測定データを、Excel 形式 (*.xls) のフォーム(様式)で出力します。
温度管理の終了	アスファルト温度管理を終了します。

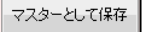
[編集]メニューのコマンド

元に戻す ()	直前におこなった操作を元の状態に戻します。
やり直し ()	[元に戻す]コマンドで元に戻した操作をやり直します。
クリップボードから貼り付け	クリップボードに保存されているデータを貼り付けます。

[データ入力]メニューのコマンド

データ入力をする ()	アスファルト温度管理のデータを入力します。
分類情報 ()	工種分類の分類情報(工種、混合物の種類、測定者、メモ)の確認と編集をおこないます。
測定項目－条件設定 ()	アスファルトの各温度の上限値/下限値、温度の単位などの条件を設定します。
台数－自動作成 ()	条件を指定して、台数を一括作成します。
台数－追加 ()	台数を追加挿入します。
台数－変更	既存の台数を変更します。
台数－削除	台数を削除します。
台数－並べ替え	既存の台数を並べ替えます。
シミュレート	温度データをシミュレートして入力します。
セル－一括訂正	選択したセルの内容を一括して訂正します。
セル－位置－先頭	1 番上のセルに移動します。
セル－位置－末尾	1 番下のセルに移動します。
セル－位置－ジャンプ	指定した行のセルに移動します。

[データ入力]メニューのコマンド	
セルー位置ー検索	指定した文字を検索します。検索は1つの項目単位でおこないます。複数の項目にまたがって検索をおこなうことはできません。
セルー行ー行挿入	指定行の前に行を挿入します。また複数の行を選択した場合は、その行数分をまとめて挿入します。
セルー行ー行削除	指定した行を削除します。削除した行は間詰めされます。
セルー行ー行移動	指定した行を上書きで移動します。
セルー行ー行複写	指定した行を上書きで複写します。
セルー行ー行入れ替え	指定した行を、指定先の行と入れ替えます。
セルーセルの固定	セルを固定します。セル測定データ入力時には、Enter キーを押して次のセルへカーソルを移動することができますが、セルを固定するとカーソルが移動なくなります。
セルーセルの固定解除	セルの固定を解除します。
セルーオートワイド	表示中のすべての項目を表示できるように、項目の幅を自動調整します。
セルーウィンドウ枠の固定	選択されているセルの左側の枠を固定します。枠を固定すると、特定の列を表示したままセルをスクロールできます。たとえば[測点名]を表示したままスクロールすることができます。
セルー項目変更ーセル項目変更	測定データを入力する項目の表示/非表示を設定します。
セルー項目変更ーテンプレート管理	測定データを入力する項目の状態を、テンプレートとして管理します。
写真管理 ()	写真管理の写真を参照します。 写真の黒板部分や写真情報を参考にしながら、測定データを入力するときなどに使用します。
フォーム選択 ()	作成する成果のフォーム(様式)を追加・変更します。
フォーム並べ替え	成果のフォーム(様式)の順番を変更します。
出力設定 ()	成果の出力条件(出力対象とする測定項目、測点、表示色など)について設定します。
[成果編集]メニューのコマンド	
成果編集をする ()	アスファルト温度管理の成果編集をおこないます。
文字ーテキスト ()	四角形のテキスト枠を入力して、内部に文字列を入力します。
文字ー引き出し文字 ()	引き出し文字を入力します。
線ー連続線 ()	直線の連続線を入力します。
線ー平行線 ()	基準となる線を指定し、その基準線に対して平行線を入力します。
線ー直折れ線 ()	折れ線(直角固定折線)を連続入力します。
線ー垂線 ()	垂線をおろす基準となる線(直線、円、円弧など)から、垂線の位置・長さを指定して入力します。
線ー四角形 ()	四角形を入力します。
線ー多角形 ()	直線で囲まれた閉合図形を入力します。
線ー自由線 ()	自由曲線を入力します。
円ー中心半径 ()	円の中心点と半径位置を指定して、円を作成します。

[成果編集]メニューのコマンド	
円-円弧 ()	3 点指定で円弧を作成します。
画像配置 ()	画像ファイルを2点指定で作成した四角形枠内の中央に配置します。
訂正 ()	選択されているデータの書式を変更します。変更可能な書式は、選択されているデータにより異なります。
移動 ()	選択されているデータを移動します。
削除 ()	選択されているデータを削除します。
複写 ()	選択されているデータを複写します。
回転 ()	選択されているデータを回転します。
描画順序-最前面へ移動 ()	現在選択されているデータをすべてのデータの1番前に移動します。
描画順序-最背面へ移動 ()	現在選択されているデータをすべてのデータの1番後ろに移動します。
描画順序-前面へ移動 ()	現在選択されているデータを 1 つ前に移動します。
描画順序-背面へ移動 ()	現在選択されているデータを 1 つ後ろに移動します。
台数設定	バリエーションのあるフォーム(様式)を選択した場合に、成果の1ページ当たりの「台数」を設定します。
ページ編集初期化	成果編集ステージで「ページ」に対して編集した内容をすべて初期状態に戻します。鉛筆マークのアイコンが表示されているページで使用可能です。
マスターとして保存 ()	編集中の成果をマスターとして保存します。
[表示]メニューのコマンド	
拡大 ()	表示範囲を拡大(対角指定)します。
倍率拡大 ()	表示範囲を一定倍率で拡大します。
倍率縮小 ()	表示範囲を一定倍率で縮小します。
原図 ()	用紙全体を最大表示します。
移動 ()	表示範囲を動かします。表示倍率は変わりません。
ルーラーを表示する ()	ルーラー(目盛)の表示/非表示を切り替えます。
ガイド文字を表示する	マウスポインタの位置(座標値、距離)を表わすガイド文字の表示/非表示を切り替えます。
ツールバー	ツールバーに表示するコマンド(アイコン)を設定します。
ファンクションバー	ファンクションキーで実行される操作について設定します。
ステータスバー	ウィンドウ下方のステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
[設定]メニューのコマンド	
セル設定	測定データを入力するときのカーソルの移動方向、セルのフォントと色、縦断入力の補助機能について設定します。
グラフ設定	縦断入力時に表示されるグラフについて設定します。
線幅表示	成果の表示で線幅表示の有効/無効を切り替えます。
ピックモード-交点 ()	線の交点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-端点 ()	線の端点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。

[設定]メニューのコマンド	
ピックモードグリッド ()	グリッドの交点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモードフリー ()	自由な位置をクリックして指定できるモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード線上 ()	線上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード中点 ()	線の中点をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード中心点 ()	円、または円弧の中心点をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモードピック設定	ピックモードに関する設定をおこないます。設定する内容は、ピックモード時のピック検索範囲、ポイント選択時の選択感度などです。
選択モード線分 ()	指定した2点間を結ぶ直線上に交差するデータが選択されます。
選択モード四角形 ()	指定した2点を対角とする四角形上に交差したデータと四角形内のデータが選択されます。
選択モード四角形内 ()	指定した2点を対角とする四角形内のデータが選択されます。
選択モードフリーハンド ()	マウスポインタで描いた軌跡上に交差するデータが選択されます。
選択モードフリーハンド領域 ()	マウスポインタで描いた軌跡に交差したデータと、軌跡で作成された領域内のデータが選択されます。
選択モードフリーハンド領域内 ()	マウスポインタで描いた軌跡で作成された領域内のデータが選択されます。
グリッド ()	用紙全体に表示するグリッドの間隔を変更します。
ガイド文字	マウスポインタの位置(座標値、距離)を表わすガイド文字のサイズとフォントを設定します。
ドラフタードラフト設定 ()	ドラフト機能をオンにしたときのマウスポインタをロックする方向を設定します。
ドラフタードラフト ()	ドラフト機能のオン/オフを切り替えます。
オフセット入力 ()	オフセット入力モードのオン/オフを切り替えます。
[ツール]メニューのコマンド	
オプション	プログラムの動作環境に関する設定をおこないます。
電卓 ()	Windows システムの電卓アプリケーションを起動します。
[ヘルプ]メニューのコマンド	
ヘルプ ()	ヘルプを表示します。
各種資料	「各種資料」の目次を表示します。
iNetHELP 設定	常時インターネットに接続されているマシンから、最新のヘルプ解説を見ることができます。この機能を使用するには、このコマンドで iNetHELP の設定を有効にしておく必要があります。
よくある質問と回答	ユーザー様からのお問い合わせ頻度の高い質問と、それに対する回答をアップしている Web サービスを開きます。
リモートサポート	「リモートサポート」は、電話だけでは解決が困難な場合、インターネットでお客様のパソコンと弊社サポートセンターを接続し、お客様の画面上で弊社のオペレーターが直接操作説明をおこないます。
バージョン情報	バージョン情報、著作権、ユーザーID、現在作業中のドキュメント情報などを表示します。

コンクリート品質管理

1 コンクリート品質管理の画面構成

コンクリート品質管理の画面まわりの機能を確認します。

データ入力画面

メニューバー

データ入力

成果編集

マスターとして保存 印刷プレビュー 印刷 元に戻す ヘルプ やり直し 上書き保存

使用するフォームが表示されます。

選択されているフォームのイメージが表示されます。

測定項目を選択して、データを入力します。

測定項目 測定記号 No. 打設日 打設箇所 打設量 測定値1 測定値2 測定値3 測定値4

温度
スタンプ
空気量
圧縮強度 7日標準
圧縮強度 7日現場
圧縮強度 28日標準(推定)
圧縮強度 28日現場(推定)
圧縮強度 28日標準
圧縮強度 28日現場
単位水量
塩分

社内規格値外:[緑] 上下限値外:[赤]

ヘルプ 測定項目条... 工種分類を... データ入力... 成果編集へ... 打設日毎入力 打設日追加 テストハンマー 印刷 上書き保存

データ入力 X:487.00 Y:230.00 A4横 NUM

コンクリート品質管理

成果編集画面

メニューバー

データ入力

成果編集

マスターとして保存 印刷プレビュー 印刷 元に戻す ヘルプ やり直し 上書き保存

成果のフォームとページが表示されます。

選択されているページが表示されます。フォームが選択されているときは、フォームのイメージが表示されます。

コンクリート試験一覧表

No. 打設日 打設箇所 打設量 測定値1 測定値2 測定値3 測定値4

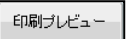
ヘルプ 測定項目条... 工種分類を... データ入力へ... 成果編集へ... 打設日毎入力 打設日追加 テストハンマー 印刷 上書き保存

レディ X:381.60 Y:230.37 A4横 NUM

2 コンクリート品質管理のコマンドの紹介

コンクリート品質管理のメニューバーのコマンドを紹介します。

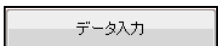
[ファイル]メニューのコマンド

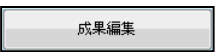
工種分類を開く ()	作業中の分類を閉じ、他の分類を開きます。
上書き保存	編集中の工事データを上書きで保存します。
工事情報	編集中の工事データの工事情報を入力します。
規格値名設定	「基準値」「社内規格値」を成果に出力する際の名称を設定します。
印刷プレビュー ()	編集中の成果の印刷イメージを表示します。
印刷 ()	編集中の成果を印刷します。
「インデックス」に成果を登録ー XLS ファイルを出力	編集中のコンクリート品質管理の成果を Excel 形式 (*.xls) のフォーム(様式)で出力し、弊社「EX-TREND 武蔵 インデックス」に登録します。
「インデックス」に成果を登録ー PDF ファイルを出力	編集中のコンクリート品質管理の成果を PDF 形式 (*.pdf) で出力し、弊社「EX-TREND 武蔵 インデックス」に登録します。
Excel 出力	編集中の測定データを、Excel 形式 (*.xls) のフォーム(様式)で出力します。
品質管理の終了	コンクリート品質管理を終了します。

[編集]メニューのコマンド

元に戻す ()	直前におこなった操作を元の状態に戻します。
やり直し ()	[元に戻す]コマンドで元に戻した操作をやり直します。
クリップボードから貼り付け	クリップボードに保存されているデータを貼り付けます。

[データ入力]メニューのコマンド

データ入力をする ()	コンクリート品質管理のデータを入力します。
打設日毎入力 ()	測定データ(温度、スランプ、空気量、圧縮強度、単位水量、塩分)を打設日毎に入力します。
分類情報 ()	分類情報の確認と編集をおこないます。
測定項目ー条件設定 ()	コンクリート配合や測定データ(温度、スランプ、空気量、圧縮強度、単位水量、塩分、テストハンマーなど)の条件を設定します。
測定項目ー変更	既存の測定項目の名称と記号を変更します。
打設日ー追加 ()	打設日を追加挿入します。
打設日ー変更	既存の打設日の日付を変更します。
打設日ー削除	既存の打設日を削除します。
打設日ー並べ替え	既存の打設日を並べ替えます。
テストハンマー ()	テストハンマーの測定データを測点毎に入力します。

[データ入力]メニューのコマンド	
単位水量(塩分)一括訂正	複数の打設日の、塩分の単位水量を一括して訂正します。
セル一括訂正	選択したセルの内容を一括して訂正します。
セル位置-先頭	一番上のセルに移動します。
セル位置-末尾	一番下のセルに移動します。
セル位置-ジャンプ	指定した行のセルに移動します。
セル位置-検索	指定した文字を検索します。検索は1つの項目単位でおこないます。複数の項目にまたがって検索をおこなうことはできません。
セル行-行挿入	指定行の前に行を挿入します。また複数の行を選択した場合は、その行数分をまとめて挿入します。
セル行-行削除	指定した行を削除します。削除した行は間詰めされます。
セル行-行移動	指定した行を上書きで移動します。
セル行-行複写	指定した行を上書きで複写します。
セル行-行入れ替え	指定した行を、指定先の行と入れ替えます。
セルセルの固定	セルを固定します。セル測定データ入力時には、Enter キーを押して次のセルへカーソルを移動することができますが、セルを固定するとカーソルが移動しなくなります。
セルセルの固定解除	セルの固定を解除します。
セルオートワイド	表示中のすべての項目を表示できるように、項目の幅を自動調整します。
セルウィンドウ枠の固定	選択されているセルの左側の枠を固定します。枠を固定すると、特定の列を表示したままセルをスクロールできます。たとえば[測点名]を表示したままスクロールすることができます。
セル項目変更-セル項目変更	測定データを入力する項目の表示/非表示を設定します。
セル項目変更-テンプレート管理	測定データを入力する項目の状態を、テンプレートとして管理します。
写真管理 ()	写真管理の写真を参照します。 写真の黒板部分や写真情報を参考にしながら、測定データを入力するときなどに使用します。
フォーム選択 ()	作成する成果のフォーム(様式)を追加・変更します。
フォーム並べ替え	成果のフォーム(様式)の順番を変更します。
出力設定 ()	成果の出力条件(出力対象とする測定項目、測点、表示色など)について設定します。
[成果編集]メニューのコマンド	
成果編集をする ()	コンクリート品質管理の成果編集をおこないます。
文字-テキスト ()	四角形のテキスト枠を入力して、内部に文字列を入力します。
文字-引き出し文字 ()	引き出し文字を入力します。
線-連続線 ()	直線の連続線を入力します。
線-平行線 ()	基準となる線を指定し、その基準線に対して平行線を入力します。

[成果編集]メニューのコマンド	
線-直折れ線 ()	折れ線(直角固定折線)を連続入力します。
線-垂線 ()	垂線をおろす基準となる線(直線、円、円弧など)から、垂線の位置・長さを指定して入力します。
線-四角形 ()	四角形を入力します。
線-多角形 ()	直線で囲まれた閉合図形を入力します。
線-自由線 ()	自由曲線を入力します。
円-中心半径 ()	円の中心点と半径位置を指定して、円を作成します。
円-円弧 ()	3 点指定で円弧を作成します。
画像配置 ()	画像ファイルを2点指定で作成した四角形枠内の中央に配置します。
訂正 ()	選択されているデータの書式を変更します。変更可能な書式は、選択されているデータにより異なります。
移動 ()	選択されているデータを移動します。
削除 ()	選択されているデータを削除します。
複写 ()	選択されているデータを複写します。
回転 ()	選択されているデータを回転します。
描画順序-最前面へ移動 ()	現在選択されているデータをすべてのデータの1番前に移動します。
描画順序-最背面へ移動 ()	現在選択されているデータをすべてのデータの1番後ろに移動します。
描画順序-前面へ移動 ()	現在選択されているデータを 1 つ前に移動します。
描画順序-背面へ移動 ()	現在選択されているデータを 1 つ後ろに移動します。
日数(測点数)設定	バリエーションのあるフォーム(様式)を選択した場合に、成果の1 ページ当たりの「日数(測点数)」を設定します。
ページ編集初期化	成果編集ステージで「ページ」に対して編集した内容をすべて初期状態に戻します。鉛筆マークのアイコンが表示されているページで使用可能です。
マスターとして保存 ()	編集中の成果をマスターとして保存します。
[表示]メニューのコマンド	
拡大 ()	表示範囲を拡大(対角指定)します。
倍率拡大 ()	表示範囲を一定倍率で拡大します。
倍率縮小 ()	表示範囲を一定倍率で縮小します。
原図 ()	用紙全体を最大表示します。
移動 ()	表示範囲を動かします。表示倍率は変わりません。
ルーラーを表示する ()	ルーラー(目盛)の表示/非表示を切り替えます。
ガイド文字を表示する	マウスポインタの位置(座標値、距離)を表わすガイド文字の表示/非表示を切り替えます。
ツールバー	ツールバーに表示するコマンド(アイコン)を設定します。

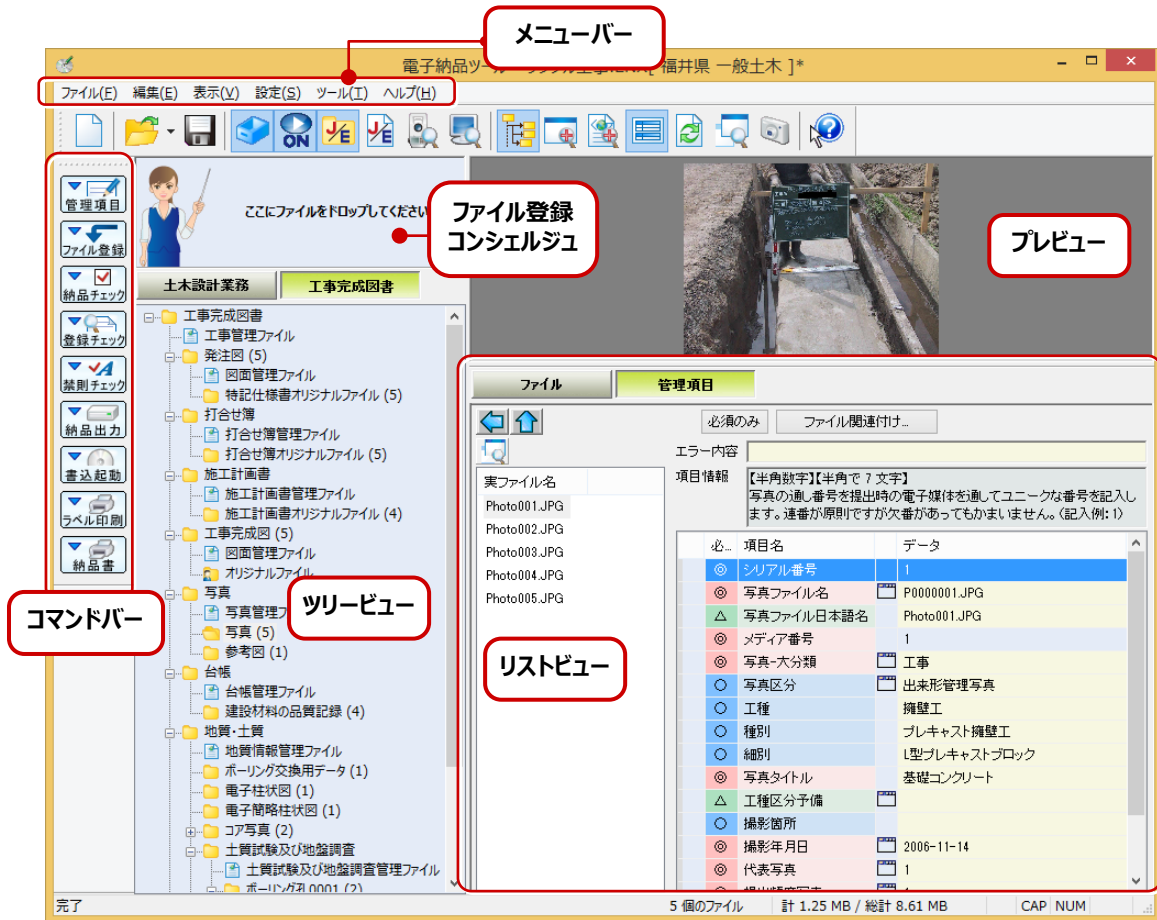
[表示]メニューのコマンド	
ファンクションバー	ファンクションキーで実行される操作について設定します。
ステータスバー	ウインドウ下方のステータスバーの表示/非表示を切り替えます。
[設定]メニューのコマンド	
セル設定	測定データを入力するときのカーソルの移動方向、セルのフォントと色、縦断入力の補助機能について設定します。
グラフ設定	縦断入力時に表示されるグラフについて設定します。
線幅表示	成果の表示で線幅表示の有効/無効を切り替えます。
ピックモード-交点 ()	線の交点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-端点 ()	線の端点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-グリッド ()	グリッドの交点上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-フリー ()	自由な位置をクリックして指定できるモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-線上 ()	線上をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-中点 ()	線の中点をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-中心点 ()	円、または円弧の中心点をピックするモードのオン、オフを切り替えます。
ピックモード-ピック設定	ピックモードに関する設定をおこないます。設定する内容は、ピックモード時のピック検索範囲、ポイント選択時の選択感度などです。
選択モード-線分 ()	指定した2点間を結ぶ直線上に交差するデータが選択されます。
選択モード-四角形 ()	指定した2点を対角とする四角形上に交差したデータと四角形内のデータが選択されます。
選択モード-四角形内 ()	指定した2点を対角とする四角形内のデータが選択されます。
選択モード-フリーハンド ()	マウスポインタで描いた軌跡上に交差するデータが選択されます。
選択モード-フリーハンド領域 ()	マウスポインタで描いた軌跡に交差したデータと、軌跡で作成された領域内のデータが選択されます。
選択モード-フリーハンド領域内 ()	マウスポインタで描いた軌跡で作成された領域内のデータが選択されます。
グリッド ()	用紙全体に表示するグリッドの間隔を変更します。
ガイド文字	マウスポインタの位置(座標値、距離)を表わすガイド文字のサイズとフォントを設定します。
ドラフタードラフタ ()	ドラフタ機能のオン/オフを切り替えます。
ドラフタードラフタ設定 ()	ドラフタ機能をオンにしたときのマウスポインタをロックする方向を設定します。
オフセット入力 ()	オフセット入力モードのオン/オフを切り替えます。
[ツール]メニューのコマンド	
オプション	プログラムの動作環境に関する設定をおこないます。
電卓 ()	Windows システムの電卓アプリケーションを起動します。

[ヘルプ]メニューのコマンド	
ヘルプ	ヘルプを表示します。
各種資料	「各種資料」の目次を表示します。
iNetHELP 設定	常時インターネットに接続されているマシンから、最新のヘルプ解説を見ることができます。この機能を使用するには、このコマンドで iNetHELP の設定を有効にしておく必要があります。
よくある質問と回答	ユーザー様からのお問い合わせ頻度の高い質問と、それに対する回答をアップしている Web サービスを開きます。
リモートサポート	「リモートサポート」は、電話だけでは解決が困難な場合、インターネットでお客様のパソコンと弊社サポートセンターを接続し、お客様の画面上で弊社のオペレーターが直接操作説明をおこないます。
バージョン情報	バージョン情報、著作権、ユーザーID、現在作業中のドキュメント情報などを表示します。

電子納品ツール

1 電子品ツールの画面構成

電子納品ツールの画面まわりの機能を確認します。



電子納品ツールの画面構成

メニューバー	コマンドが関連性のあるコマンドごとにメニューで分類されています。
コマンドバー	電子納品媒体の作成および電子納品の検査に必要な作業を手順化したバーです。各ボタンをクリックすると、操作に必要なコマンドが実行、または操作方法を示したメッセージが表示されます。
ファイル登録コンシェルジュ	電子納品データにファイルを登録するときは、このファイル登録コンシェルジュにファイルをドラッグします。
ツリービュー	電子納品の規定フォルダが表示されます。 (青色)は空のフォルダです。 (黄色)はファイルが登録されているフォルダです。 右側の()は登録ファイル数を示します。
リストビュー	電子納品に登録されているファイル、登録するファイルの管理項目を表示します。[ファイル]ボタンをクリックすると、[ツリービュー]で選択したフォルダに登録されているファイルの一覧が表示されます。
プレビュー	[リストビュー]で選択したファイルのイメージが表示されます。

2 電子納品ツールのコマンドの紹介

電子納品ツールのメニューバーのコマンドを紹介します。

[ファイル]メニューのコマンド	
新規作成 ()	新規に電子納品データを作成します。
開く ()	本プログラムのオリジナルデータ(*.ENX、*.ENO)を開きます。
上書き保存 ()	編集中のデータを保存します。
名前を付けて保存	編集中のデータを指定した名称および保存場所で保存します。
電子納品取込	電子納品されたデータを取り込みます。
電子納品出力	電子納品データを出力します。
電子納品メディア書込	DiscWriter を起動して、納品データを CD や DVD に書き込みます。
測量計算・図面データビューアー起動	測量計算・図面データビューアを利用して、弊社アプリケーション (BLUETREND XA、BLUETREND V) から成果データを転送して登録します。
測量計算・図面データビューアー確認	測量計算・図面データビューアで転送された、弊社アプリケーション (BLUETREND XA、BLUETREND V、BLUETREND Win、EX-TREND) の成果データの転送先を確認します。
TeamGEO2 データビューア	弊社プログラム「TeamGEO2」で作成した電子納品成果ファイルを取り込みます。
写真管理データ取込	弊社アプリケーション (EX-TREND 武蔵 写真管理、TREND 写真管理) の「写真管理データ」を指定して取り込みます。
ファイル一覧出力ー写真情報管理ファイル	電子納品データとして出力されるフォルダとファイルを、Microsoft Excel ブック(*.xls) 形式の「納品ファイル一覧」として出力します。
ファイル一覧出力ー納品ファイル一覧	電子納品データとして出力される写真情報管理ファイル一覧を、Microsoft Excel ブック(*.xls) 形式で出力します。
ファイル一覧出力ー図面管理ファイル	電子納品データとして出力される図面管理ファイル一覧を、Microsoft Excel ブック(*.xls) 形式で出力します。
ファイル一覧出力ー打合せ簿管理ファイル	電子納品データとして出力される打合せ簿管理ファイル一覧を、Microsoft Excel ブック(*.xls) 形式で出力します。
ファイルのバックアップ	電子納品ツールのファイルを、登録された成果ファイルも含めてバックアップします。成果ファイルは、出力先フォルダの Files フォルダにコピーされます。また成果ファイルのリンク先が、出力先フォルダの Files フォルダに変更されます。
要領案の変換	編集中の電子納品データの要領・基準(案)を変更します。変更時には、現在の電子納品データは保存されます。
工事情報	編集中のデータの「工事情報」を入力します。
印刷プレビュー	登録ファイルの情報をプレビューします。
印刷	ツリービューの各フォルダに登録しているファイルの情報を印刷します。
プリンタの設定	プリンタを設定します。
アプリケーションの終了	アプリケーションを終了します。

[編集]メニューのコマンド	
フォルダー新規作成－ユーザー	規定外のフォルダ(ユーザーフォルダ)を新規作成します。 要領案の規定外のフォルダを作成する場合や、作業用にフォルダを使用する場合に作成します。
フォルダーフォルダ情報	フォルダの属性を設定します。規定フォルダに格納できるファイルを制限したり、登録するファイルの資料管理項目の初期値を設定したりすることができます。また、ユーザーが作成したフォルダの名称を変更することもできます。
フォルダー削除	作成したフォルダを削除します。
フォルダーファイル関連付け	電子納品の成果ファイル(PDF 等)とオリジナルファイルを、関連付けます。または、写真と参考図を関連付けます。
ファイルーファイル登録	ファイルを直接フォルダに登録します。
ファイルー削除	登録ファイルを削除します。
ファイルー更新日訂正	登録ファイルの実ファイルそのものの更新日を変更します。
ファイルーリンク先変更	登録ファイルとその実ファイルはリンク情報で関連付けされています。リンク情報とは実ファイルが保存されているフォルダとファイル名のことです。リンク先を変更することで、現在の管理項目の入力データを保持しつつ、実ファイルを別のファイルに変更することができます。
ファイルーPDF 変換	登録ファイルから PDF ファイルを作成します。変換可能な登録ファイルは、Microsoft Word(DOC 形式のファイル)、Microsoft Excel(XLS 形式のファイル)です。
ファイルーPDF 結合	登録されている複数の PDF ファイルを一つの PDF ファイルにします。
ファイルーPDF 分割	一つの PDF ファイルを複数の PDF ファイルに分割します。分割は、しおり単位またはページ単位で指定します。
ファイルー撮影年月日取得	写真ファイルの Exif 情報の撮影年月日を、写真管理項目の撮影年月日にセットします。
ファイルーすべて選択	フォルダー内のファイルをすべて選択状態にします。
ファイルー並べ替え	登録ファイルの順番を任意に並べ替えます。同時にファイル名の一括訂正がおこなえます。
ファイルー一括訂正	登録ファイルの管理項目を一括訂正します。
ファイループロパティ	登録ファイルの実ファイルのプロパティを変更します。 実ファイルのファイル名などを変更することができます。
ファイルー別ウィンドウでプレビュー	リストビューで選択したファイルを、別ウィンドウ(プレビューウィンドウ)を開いてプレビュー表示します。
ファイルーアプリケーションから起動	リストビューで選択したファイルをプログラムで開きます。
ファイルーアプリケーションを指定して起動	開くアプリケーションを指定して、登録ファイルを開きます。 ダブルクリックして起動するプログラム以外のアプリケーションで開きたい場合に、このコマンドを使用します。
検索－ファイルやフォルダ	Windows システムの検索ツールを使用して、マイコンピュータ内のファイルやフォルダを検索します。
検索－登録ファイル	登録ファイルを出力ファイル名で検索します。
検索－管理項目全文	管理項目内の入力文字列を検索します。
検索－全文検索	登録ファイルを実ファイル内の入力文字列で検索します。

[表示]メニューのコマンド	
ツールバー	ツールバーの表示オン/オフの切り替えやツールバーの表示について設定します。
コマンドバー ()	コマンドバー(電子納品作成に必要な作業を手順化したバー)の表示/非表示を切り替えます。
ステータスバー	ステータスバー(アプリケーションウィンドウの下方にファイル数などを表示するバー)の表示/非表示を切り替えます。
ツリービューの表示 ()	ツリービューの表示/非表示を切り替えます。
管理項目の表示領域拡大 ()	リストビューの表示領域を拡大します。
プレビュー画面の表示領域拡大 ()	プレビュー画面の表示領域を拡大します。
プレビュー表示 ()	各フォルダの管理ファイル(*.XML)や、登録ファイルのプレビューを表示します。
スタイルシート使用	管理ファイル(INDEX_D.XML、INDEX_C.XML、規定フォルダごとにあるXMLファイル)をプレビュー表示する際、スタイルシートを使用すると表形式で見やすく表示することができます。 スタイルシートを使用していないときは管理ファイルの内容はテキストのみで表示されます。
プレビュー表示の更新 ()	プレビュー表示しているファイルを再読み込みして、内容を最新の状態にして表示します。
リストビュー—チェックボックス表示	リストビューで表示される[格納場所][実ファイル名]を切り替えます。
リストビュー—格納場所のファイル名のみ表示	表示範囲を一定倍率で拡大します。
リストビュー—ファイル名の日本語表示 ()	リストビューに表示されるファイルの名称を日本語ファイルと登録ファイルに切り替えます。
ツリービュー—規定フォルダの日本語表示 ()	ツリービューのフォルダと管理ファイル(*.XML)の名称を日本語と英語で切り替えます。
ツリービュー— ツリーイメージに大きいアイコンを使用	ツリービューに表示されるアイコンの大きさを切り替えます。
ツリービュー—DTD ファイルを表示	ツリービューに DTD ファイルを表示するかしないかを切り替えます。
ファイル登録コンシェルジュ	ファイル登録コンシェルジュを利用してファイルを登録します。
写真・参考図参照	写真・参考図参照ウィンドウを起動します。
写真工種ツリー表示 ()	フォトビューアを起動します。 [PHOTO]—[PIC]フォルダに登録した写真ファイルと[PHOTO]—[DRA]フォルダに登録した参考図ファイルを表示するのに有効です。
フォルダウィンドウ ()	フォルダウィンドウを表示します。フォルダウィンドウにはエクスプローラと同じように、コンピュータ内のフォルダやファイルが表示されます。
エクスプローラ	エクスプローラを表示します。

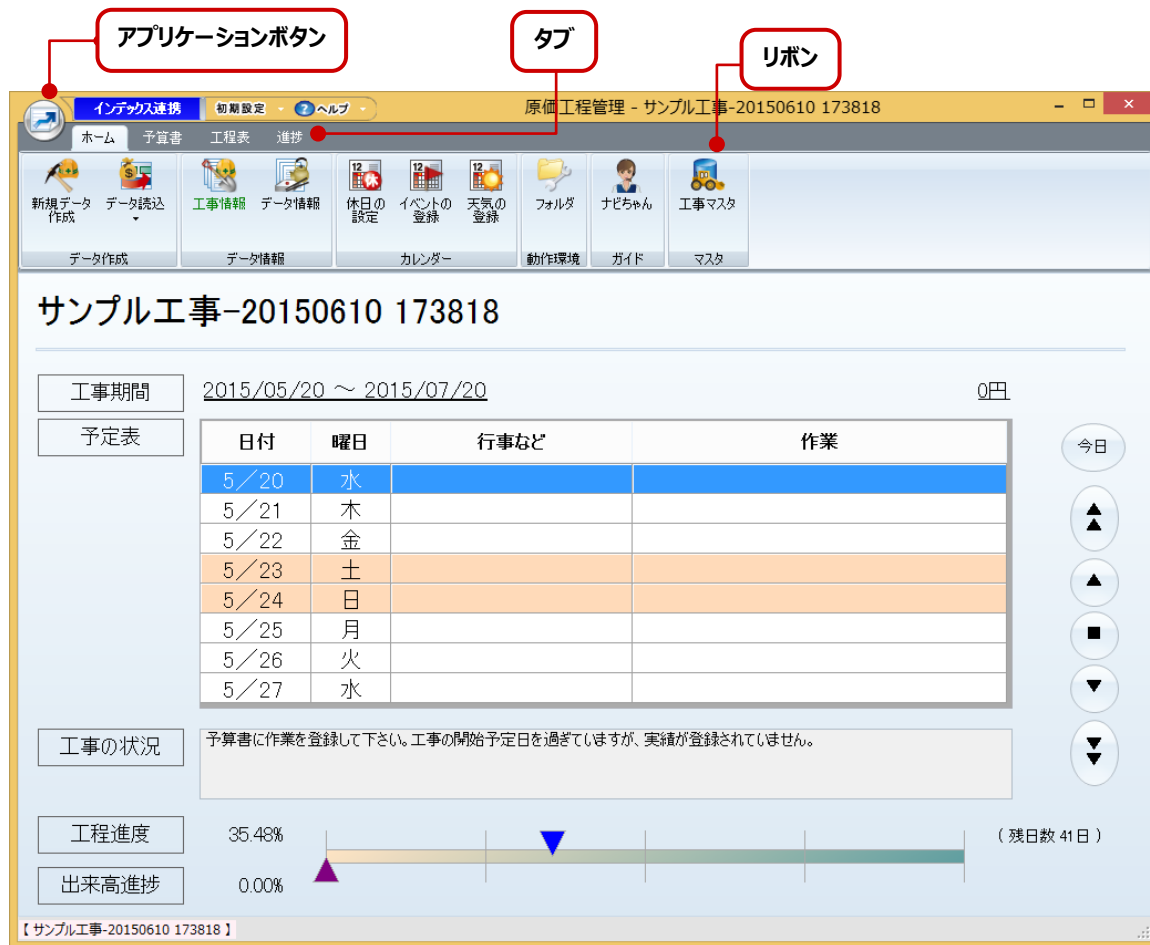
[設定]メニューのコマンド	
ファイル情報設定	登録ファイルの拡張子に対するソフトウェア名を設定します。
インフォメーションサムネイル設定	インフォメーションサムネイル表示で表示する管理項目を設定します。
リスト表示	リストビューをリスト表示にします。
サムネイル表示	リストビューをサムネイル表示にします。
インフォメーションサムネイル表示	リストビューをインフォメーションサムネイル表示にします。 インフォメーションサムネイル表示は、登録ファイルを縮小画像と管理項目の内容で表示します。
[ツール]メニューのコマンド	
納品チェック	現在開いている電子納品データが、要領案に基づいて作成されているかチェックします。
納品チェック(外部)	CD 1枚で納品された電子納品データのチェックをおこなう場合に、本コマンドを使用します。
CAD チェック設定-項目選択	[納品チェック]コマンドと[納品チェック(外部)]コマンドでチェックする図面のチェック項目の初期値を設定します。
CAD チェック設定-工種選択	[納品チェック]コマンドと[納品チェック(外部)]コマンドでチェックする図面の工種の初期値を設定します。
CAD チェック設定-対象ファイル	[納品チェック]コマンドと[納品チェック(外部)]コマンドでチェック対象とする図面のファイル形式の初期値を設定します。
禁則文字チェック	登録ファイル内で、要領案で禁止されている文字を使用していないかチェックします。
禁則文字一括変換	管理ファイル(INDEX_C.XML、DRAWINGS.XML など全ての「*.XML」ファイル)内の禁則文字を一括変換します。 ※登録ファイル内の禁則文字は変換されません。
D&D Keeper for imagio-準備(共有フォルダ作成)	「imagio カンタン文書登録」で使用する、電子納品の文書保存用のフォルダを自動作成します。
D&D Keeper for imagio-登録(共有フォルダからのデータ取込)	「imagio カンタン文書登録」で登録された各フォルダのスキャンングデータを、電子納品ツールに取り込みます。
D&D Keeper for imagio-解説資料(オンラインマニュアル)	インターネットに接続して「EX-TREND 武蔵 Document & Delivery Keeper for imagio」の解説資料(オンラインマニュアル)を開きます。
ファイル管理ナビ for Document Navigator-準備(共有フォルダ作成)	キヤノン複合機で使用する、電子納品の文書保存用のフォルダを自動作成します。
ファイル管理ナビ for Document Navigator-登録(共有フォルダからのデータ取込)	キヤノン複合機で登録された各フォルダのスキャンングデータを、電子納品ツールに取り込みます。
ファイル管理ナビ for Document Navigator-解説資料(オンラインマニュアル)	インターネットに接続して「ファイル管理ナビ for Document Navigator」の解説資料(オンラインマニュアル)を開きます。
登録ファイル確認	登録ファイルと実ファイルのリンクが切れていないかチェックします。 ファイルを登録後に実ファイルを削除・移動・リネーム(ファイル名の変更)すると、リンクが切れます。
リンクフォルダと同期	[フォルダ情報]ダイアログで設定したリンクフォルダと同期をとり、リンクフォルダに新たに追加されたファイルを登録します。

[ツール]メニューのコマンド	
外部アプリケーション－ ウイルスチェックソフトの起動	現在お使いのウイルスチェックソフトを起動します。 電子納品要領(案)においては、納品前にウイルス対策をおこなうように規定されています。請負者は、納品すべき電子納品データが完成したら、ウイルスチェックをおこないます。
外部アプリケーション－CD-Rライタソフトの起動	現在お使いの CD-R ライティングソフトを起動します。 完成した電子納品データを CD-R に書き込みする場合、このコマンドで使用する CD-R ライティングソフトを起動します。
ラベル印刷	電子成果物(DVD、CD など)に貼り付けるラベルを Excel 形式で出力します。
電子媒体納品書印刷	電子成果物(CD-R など)に添付する電子媒体納品書を Excel 形式で出力します。
要領案資料	弊社の「全国の電子納品要領(案)リンク集」のページを開きます。
オプション	システムの設定をおこないます。
[ヘルプ]メニューのコマンド	
ヘルプ	ヘルプを表示します。
各種資料	「各種資料」の目次を表示します。
クリック個所の機能解説表示 ()	コマンドをクリックすると、マウスポインタがヘルプポインタ(?マークつきのポインタ)に変わります。このヘルプポインタでコマンド(メニュー、アイコン、ファンクションバー)をクリックすると、クリック個所のヘルプ解説を見ることができます。
武蔵.TV	「武蔵.TV」は、成果品作成に使用できるデータをダウンロードできる総合コンテンツ提供サイトです。
よくある質問と回答	ユーザー様からのお問い合わせ頻度の高い質問と、それに対する回答をアップしている Web サービスを開きます。
操作ナビゲーション	写真管理や電子納品ツールの操作手順書(PDF)をアップしている Web サイトを開きます。
FC コンシェルジュ	「FC コンシェルジュ」は、製品情報や各地のイベント・セミナー情報、サポート情報やサポートコンテンツなどを、各ユーザー様専用の内容で提供する機能です。
リモートサポート	「リモートサポート」は、電話だけでは解決が困難な場合、インターネットでお客様のパソコンと弊社サポートセンターを接続し、お客様の画面上で弊社のオペレーターが直接操作説明をおこないます。
バージョン情報	バージョン情報、著作権、ユーザーID、現在作業中のドキュメント情報などを表示します。

原価工程管理

1 原価工程管理の画面構成

原価工程管理の画面まわりの機能を確認します。



原価工程管理の画面構成

アプリケーションボタン	データを作成するにあたり、読み込み、保存、出力などの基本操作がまとめられています。
リボン・タブ	リボンはタブとグループで構成されています。作業内容に応じて必要なコマンドがグループ化されてリボンにまとめられ、リボンは設計プロセスに応じてタブでまとめられています。

2 原価工程管理のコマンドの紹介

2-1 アプリケーションボタンのコマンド

アプリケーションボタンのコマンドを紹介します。

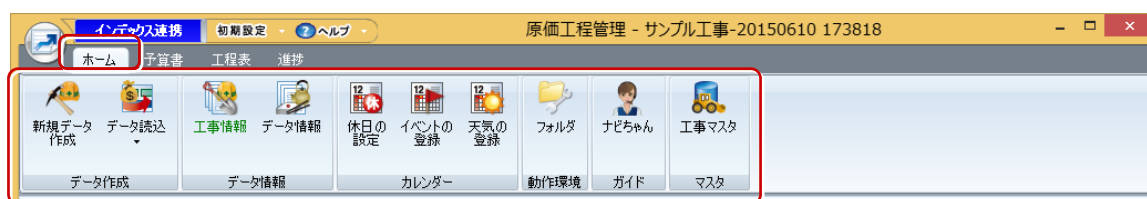


アプリケーションボタンのコマンド

新規データ作成	新規データを作成します。
上書き保存	編集中のデータを、上書き保存します。
データ複製	データを複製します。
データ削除	原価工程データ一覧で選択したデータを削除します。 (※単体起動時のみ削除可。インデックスでデータを管理している場合は、インデックスで削除してください。)
個別データ-データ書込	現在開いているデータを、別ファイル(*.csm)で保存します。
個別データ-データ読込	原価工程管理データ(*.csm)を読み込みます。
個別データ- テンプレートデータとして保存	開いているデータを、テンプレートデータ(*.tsm)として保存します。 テンプレートデータとは、[予算書]タブの「作業」と「資機材」のデータです。
工程管理データ読込	「EX-TREND 武蔵 工程管理」のデータ(*.shm)を、原価工程管理データに変換して読み込みます。
エクセル出力	編集中のデータの予算帳票・原価帳票・工程帳票・工程図表を、エクセル形式で出力します。
CSV ファイル出力	開いているデータの「すべての作業」を、1つのCSVファイルで出力します。
工事マスタ編集	工事マスタを編集します。
起動パスワード設定	起動時のパスワードを設定します。パスワードが設定されていると、プログラムの起動時にパスワードの入力が求められます。
アプリケーションの終了	プログラムを終了します。

2-2 [ホーム]タブのコマンド

[ホーム]タブのコマンドを紹介します。

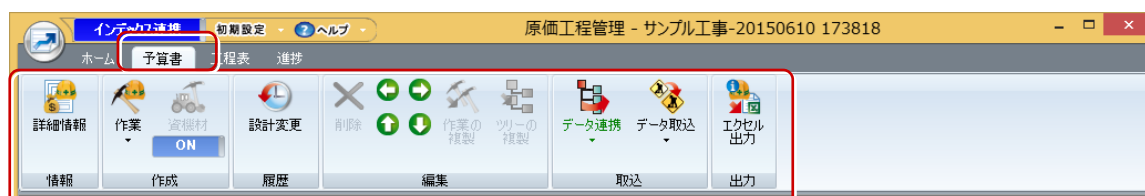


[ホーム]タブのコマンド

新規データ作成	原価工程管理データを新規作成します。
データ読込－ 原価工程管理データ読込	原価工程管理データ(*.csm)を読み込みます。
データ読込－ 工程管理データ読込	EX-TREND 武蔵 工程管理のデータ(*.shm)を、原価工程管理データに変換して読み込みます。
工事情報	インデックスで管理している工事情報の参照と編集をおこないます。 (※インデックス起動時のみ使用可)
データ情報	開いている原価工程データの工期などの情報を編集します。 新規データ作成時に入力する情報と同じです。
休日の設定	カレンダーで休日を設定します。設定した休日は、[工程表]タブのチャートパネルに反映されます。また一部の帳票で出力されます。
イベントの登録	イベント(打ち合わせ等)のスケジュールを設定します。 同日に複数登録できます。登録したイベントは、[ホーム]タブの「イベント予定」欄に表示されます。また[工程表]タブの「イベント画面」に表示されます。([表示・編集]－[イベントの表示切替]で表示)
天気登録	天気を登録します。登録した天気は、一部の帳票で出力されます。
フォルダ	データと共通マスタ、作業リストファイルの保存先フォルダを設定します。
ナビちゃん	プログラムの使用手順が表示されます。
工事マスタ	工事マスタを編集します。

2-3 [予算書]タブのコマンド

[予算書]タブのコマンドを紹介します。



[予算書]タブのコマンド

詳細情報	「工事」「作業」「資機材」の予算の入力・確認をおこないます。
作業－作業の登録	作業(工種、種別、細別)を登録します。作業は、選択した作業(または工事)の下層に登録されます。作業と資機材は同じ階層に登録することはできません。 資機材の下層に作業を登録することはできません。

[予算書]タブのコマンド	
作業－作業リスト編集	作業名と日当たり施工量等を持った作業リストを編集します。
資機材	選択した作業に資機材を登録します。資機材は最下層の作業にのみ登録可能です。親作業には登録できません。
資機材の表示切替	入力されている資機材の表示のオン／オフを切り替えます。
設計変更	現時点のデータを、設計変更データとして履歴保存します。 設計変更データは、帳票や[工程表]タブのバーチャートで、設計変更前後の工程の比較に使用します。
削除	選択した「作業」または「資機材」を削除します。 親作業を削除した場合は、子作業や資機材も同時に削除されます。
← →	選択した作業の階層を、1つ上または下に移動します。 下層の作業や資機材も、同時に移動します。
↑ ↓	選択した作業の行を、1つ上または下に移動します。 下層の作業や資機材も、同時に移動します。
作業の複製	選択した作業をコピーして、最終行に追加します。 下層の作業や資機材は、コピーされません。
ツリーの複製	選択した作業をコピーして、最終行に追加します。 子作業や資機材も、同時にコピーされます。
データ連携－ 【インデックス】から分類の取込	インデックスに登録されている分類を、作業に取り込みます。 選択している作業の下層に取り込まれます。
データ連携－ 【インデックス】に分類を登録	編集中のデータの作業を、インデックスの分類に登録します。
データ連携－ 【インデックス】からイベントの取込	編集中のデータに、インデックスのイベントを取り込みます。
データ連携－【インデックス】に イベント・工程を登録	編集中のデータのイベントと工程を、インデックスに登録します。
データ連携－【インデックス】から 天気・施工数量の取込	インデックスの日報に登録されている天気と施工数量を取り込みます。
データ連携－【インデックス】に 予定資機材・進捗を登録	最下位の「作業」の予定(日程・数量)および予定資機材と進捗を、インデックスに登録します。進捗とは「達成金額／予算金額」をパーセント表示したものです。
データ取込－データ取込	選択した作業の下層に、別工事データやテンプレートデータから「作業」「資機材」を取り込みます。
データ取込－ 武蔵 CSV 取込(工程を含む)	選択した作業の下層に、武蔵 CSV ファイルから作業を取り込みます。 (工程含む)
データ取込－積算データ取込	選択した作業の下層に、他社プログラムの積算データを取り込みます。 (「作業」「単価」「数量」等)
エクセル出力	編集中のデータの予算帳票・原価帳票・工程帳票・工程図表を、エクセル形式で出力します。

2 - 4 [工程表]タブのコマンド

[工程表]のコマンドを紹介します。



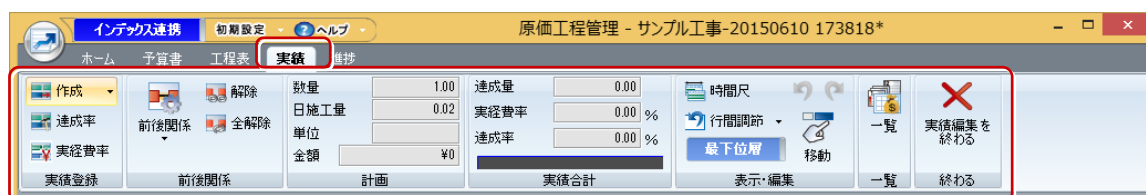
[工程表]タブのコマンド

工程情報	工事・作業の工程の確認をおこないます。 子作業の場合は、工程の変更もおこなえます。
作業	作業（工種、種別、細別）を登録します。作業は、選択した作業（または工事）の下層に登録されます。作業と資機材は同じ階層に登録することはできません。 資機材の下層に作業を登録することはできません。
資機材	選択した作業に資機材を登録します。資機材は最下層の作業にのみ登録可能です。親作業には登録できません。
資機材の表示切替	入力されている資機材の表示のオン／オフを切り替えます。
工程編集－工程の作成	作業に工程を入力します。
工程編集－工程の削除	工程を削除します。
工程編集－工程の分割	工程を分割します。
工程編集－工程の結合	分割された工程を結合します。
工程編集－ 日施工量から工数を計算	数量と 1 日当たりの施工量（日施工量）から工数（日数）を計算します。
前後関係	先行工程と後続工程の設定をおこないます。
前後関係の表示切替	入力されている前後関係の表示のオン／オフを切り替えます。
実績登録－稼働日の登録	[実績]タブで稼働日を登録します。
実績登録－達成率の登録	達成率は、工程のバーの長さを 100%として入力します。（最大 100%） 達成率の入力には、稼働日が入力されている必要があります。まず稼働日を入力してください。
実績登録－実経費率の登録	実経費率は、工程のバーの長さを 100%として入力します。（100%以上も入力可） 実経費率の入力には、稼働日が入力されている必要があります。まず稼働日を入力してください。
実績登録－実績工程編集	[実績]タブを表示して、実績工程の登録・編集をおこないます。
実績登録－実績の一覧表示	各作業の予定と実績（日数、達成数量、達成金額）を一覧表示します。
実績の表示切替	チャートパネルの実績（稼働日、達成率）の表示／非表示を切り替えます。 資機材がある場合は、実績資機材（セルの表示色がピンク）を表示します。
設計変更	現時点のデータを、設計変更データとして履歴保存します。 設計変更データは、帳票や[工程表]タブのバーチャートで、設計変更前後の工程の比較に使用します。
出来高グラフ	作業の EVM グラフを表示します。
山積みグラフ	入力されている資機材を山積みグラフで表示します。

[工程表]タブのコマンド	
計算	先頭の作業と末尾の作業を指定し、工程からクリティカルパスを計算します。 (工程の前後関係の設定がおこなわれていることが条件です。)
計算結果の表示切替	クリティカルパス計算結果の表示／非表示を切り替えます。
時間尺	[時間尺選択]ダイアログで、チャートパネルの日付の表示方法を設定します。
バー、アロー	バー表示とアロー表示を切り替えます。
行間調整－行間狭く	行間を狭くします。
行間調整－行間標準	行間を標準にします。
行間調整－行間広く	行間を広くします。
表示範囲－表示範囲	[表示範囲の選択]ダイアログで、表示する期間と作業を設定します。
表示範囲－主体	表示の主体を「作業ツリー」「資機材ツリー」「取引先ツリー」から選択します。
表示範囲－比較画面	画面を2分割して、比較しながら工程を編集します。工程の編集は上画面でおこないます。下画面はコマンド実行時の状態を表示します。
最下位層、全階層	最下位層のみ表示・全階層表示を切り替えます。
イベント	画面下部にイベントの表示／非表示を切り替えます。
アンドゥ	工程の編集を元に戻します。
リドゥ	元に戻した工程の編集をやり直します。
移動	選択されている作業の工程の先頭から表示します。
エクセル出力	編集中のデータの予算帳票・原価帳票・工程帳票・工程図表を、エクセル形式で出力します。

2-5 [実績]タブのコマンド

[実績]タブのコマンドを紹介します。



[実績]タブのコマンド	
作成－ 実績工程の作成 (稼働日の登録)	[実績]タブで稼働日を登録します。
作成－実績工程の削除	[実績]タブで稼働日を削除します。稼働日に含まれる実績も削除されます。
作成－実績工程の分割	実績工程を分割します。
作成－実績工程の結合	分割された実績工程を結合します。
達成率	達成率は、工程のバーの長さを 100%として入力します。(最大 100%) 達成率の入力には、稼働日が入力されている必要があります。 まず稼働日を入力してください。

[実績]タブのコマンド	
実経費率	実経費率は、工程のバーの長さを 100%として入力します。(100%以上も入力可) 実経費率の入力には、稼働日が入力されている必要があります。まず稼働日を入力してください。
前後関係	実績の先行工程と後続工程の設定をおこないます。
解除	実績工程の前後関係を解除します。
全解除	実績工程の前後関係を全て解除します。
数量	選択中の作業の設計数量を表示します。
日施工量	選択中の作業の「日施工量-基準値」を表示します。 ただし、値が未入力なら「日施工量-計算値」を表示します。
単位	選択中の作業の「単位」を表示します。
金額	選択中の作業の「単価」×「数量」を表示します。
達成量	選択中の作業の実績登録した数量を表示します。
実経費率	実際に使用した金額の「設計数量」に対する比率を表示します。
達成率	「達成量」の「設計数量」に対する比率を表示します。
実績合計	達成率をバーで表示します。
時間尺	[時間尺選択]ダイアログで、チャートパネルの日付の表示方法を設定します。
行間調節-行間狭く	行間を狭くします。
行間調節-行間標準	行間を標準にします。
行間調節-行間広く	行間を広くします。
最下位層、全階層	最下位層のみ表示・全階層表示を切り替えます。
アンドゥ	工程の編集を元に戻します。
リドゥ	元に戻した工程の編集をやり直します。
移動	選択されている作業の工程の先頭から表示します。
一覧	各作業の予定と実績(日数、達成数量、達成金額)を一覧表示します。
実績編集を終わる	実績の編集を終了して、[工程表]タブに戻ります。

2 - 6 [進捗]タブのコマンド

[進捗]タブのコマンドを紹介します。



[進捗]タブのコマンド

実績一覧	各作業の予定と実績(日数、達成数量、達成金額)を一覧表示します。
予定分	登録期間に予定されている作業のみ表示します。
全部	全期間の作業を表示します。
1日分を登録	実績を登録する日(期間)を設定します。期間指定した場合は、実績が期間内の各日に均等に振り分けられます。
資機材の登録	選択した作業に資機材を登録します。資機材は最下層の作業にのみ登録可能です。親作業には登録できません。
資機材の削除	選択した「資機材」を削除します。
ユニット作成	複数の作業をまとめてユニット化します。ユニット化することで、進捗の「達成数量」や「実経費」の入力がユニット単位でおこなえます。

索引

あ

赤書き	35
アクセス設定	32
厚さ	62
アップロード	32
アプリケーションから起動	104
アプリケーションの終了	23,32,103,110
アプリケーションを指定して起動	104
アラート設定	58
アルバム	77
アルバム作成	85
アルバムデータ取得	77
「アルバム」データ保守	82
「アルバム編集」の終了	82
アロー	27,114
安全管理	16,19
安全管理マスタ登録	17
安全対策	16,19
アンドゥ	27,28,114,115
位置	67,90,91,97
一括計画	53
一括削除	34,82
一括指定	55
一括処理	5
一括設定	61,62,63
一括訂正	41,67,90,97,104
一括並べ替え	43
一括変換	43
一覧	4,28,34,115
一覧表示	78
移動	27,28,34,41,63,69,85,92,98,114,115
移動回転	38,41
移動・挿入・削除	42
イベント	27,114
イベントの登録	24,111
イラストと図	16
入替	85
印刷	32,66,76,82,90,96,103
印刷範囲の設定	32
印刷プレビュー	32,66,82,90,96,103
「インデックス」から	77
【インデックス】からイベントの取込	25,112
【インデックス】から天気・施工数量の取込	25,112

【インデックス】から分類の取込	25,112
【インデックス】にイベント・工程を登録	25,112
「インデックス」に成果を登録	32,66,82,90,96
【インデックス】に分類を登録	25,112
【インデックス】に予定資機材・進捗を登録	25,112
「インデックス」へ	76
インフォメーションサムネイル表示	106
ウィザード	15
ウィルスチェックソフトの起動	107
ウインドウ枠の固定	67,91,97
上	85
打合せ簿管理ファイル	103
上書き保存	23,31,66,73,76,82,90,96,103,110
上へ移動	15
後	34
エクスプローラー	105
エクスプローラーを起動して取込	84
エクセル出力	23,25,27,110,112,114
エリア	83
エリアコントロール表示	44
エリアの書込	84
エリアの変更	83,84
エリアのメンテナンス	84
円	68,84,91,92,98
円・円弧	35
円弧	68,84,92,98
円弧伸縮	42
円弧半径	36
円周	36
延長	62
延長交点	47
延長止線	42,85
横断	60
横断一括	59
横断指定	62
横断図	39
横断図配置	58,59,60
横断設計照査	41
横断丁張	33
オートワイド	67,91,97
オブジェクト	33
オブジェクトの作成と貼り付け	33

オプション	46,70,78,86,93,99,107
オフセット	47
オフセット(2点指定)	37
オフセット(要素指定)	37
オフセット入力	70,93,99
折線	35
音声ガイド	46
温度管理の終了	90

か

解除	27,43,115
解説資料(オンラインマニュアル)	106
回転	41,68,85,92,98
ガイドバー	47
ガイド文字	70,93,99
ガイド文字を表示する	69,92,98
外部アプリケーション	107
外部ファイル	77
外部ファイル設定	31
外部ファイルへ保存	31
外部ファイルを開く	31
書込み	37,56,60,61
各種資料	5,17,47,70,79,86,93,100,107
拡大	34,69,92,98
拡大鏡	34
拡大図	39
拡張DMファイルを開く	31
角度線	37
確認	103
格納場所のファイル名のみ表示	105
拡幅	54
拡幅入力	52
画像	83
画像回転	77
画像出力	31
画像取り込み	17
画像配置	68,92,98
画像編集	77
「画像枠」「表」:選択対象外	85
カーソル情報表示	44
片勾配	54
片勾配・拡幅	61
片勾配入力	52
カット	42
稼働日の登録	113

画面設定	58,59	距離入力	50	現場作業環境	16,19
カラー	44	距離標高・座標	39	現場組織一覧	16
カラーパレット設定	46	切り取り	32,83	現場組織作成パターン	19
カラーラスタを透過	44	金額	115	工区割り	39
簡易断面	39	禁則文字一括変換	106	工事一覧のエクセル出力	5
簡易表示	78	禁則文字チェック	106	工事概要	7
簡易プロパティ表示	44	杭打ち計算	33	工事管理設定のリストア	5
管記号配置	41	空白写真	77	工事詳細情報の自動取得	4
管記号変換	41	区分ツリー(5階層)	78	工事情報	3,16,24,66,73,76,90,96,111
環境対策	16,19	雲形	40	工事情報の参照	7,10,12
観測データ	50	グラフ設定	69,92,99	工事情報の変更を反映	12
観測点関連付け	63	クリア	32	工事情報貼り付け	16
簡単計画	59	クリア(余白にする)	83	工事成果	7
管理	37	クリック個所の機能解説表示	47,107	工事成績評定	17
管理項目全文	104	グリッド	45,69,86,93,99	工事選択	7,10,12
管理項目の表示領域拡大	105	グリッド設定	46	工事テンプレート	70
関連付け	84	グリッド表示	44	工事内容	3
関連付け解除	84	クリップボードから貼り付け	66,82,90,96	工事内容表示	15
管路配置	41	クリーンアップ	43	工事の合成	31
機械名	16	グループ	4	工事の情報	31
規格値名設定	66,73,96	グループ構成の編集	7	工事マスタ	24,111
キーカスタマイズ	46	グループ挿入	82	工事マスタ編集	23,110
基準高	62	グループの変更	7	工種一覧	62
規定フォルダの日本語表示	105	クロス	45,86	工種指定	62
起動	78,103	計画	53,54,55,56,58,61	工種情報	16,103
起動パスワードの設定	3,23,110	計画一括訂正	55	工種設定	60
基本設計	60	計画層変更	60	工種選択	106
基本設計データ書込み	33	計算	26,39,59,114	工種ツリー(3階層)	78
基本設計データ読み込み	33	計算条件	51,52,61	工種分類を開く	66,90,96
基本設定	43,60	計算設定	48,49,50,51,53,54,55,56,57,58,59,60	控除	57,58
休日の設定	24,111	計算結果の表示切替	26,114	更新して閉じる	49,50,51,52,53,54,55,56,57,58,59,60,61,62,63
旧バージョンの工事データ取込	5	形式を選択して貼り付け	32	更新日訂正	104
クローンID	38	形状移動	42	合成	34
行	67,91,97	形状図配置	49,50,52,53,55,56,57	構成点除外	63
行間狭く	27,28,114,115	形状表示	46	構成比	25
行間調整	27,28,114,115	計測	46,47	構成要素	60,61
行間標準	27,28,114,115	計測点を座標登録	61	構造物	55
行間広く	27,28,114,115	下水道	41	後退	33
行移動	67,91,97	結合	42	交通管理	16,19
行入れ替え	67,91,97	原価工程管理データ読込	23,24,111	工程	4
行削除	67,91,97	検索	48,67,91,97,104	工程管理データ読込	24,110,111
鏡像	41,85	現地盤	54,56,58,60,61	工程情報	26,113
行挿入	67,91,97	現地盤交点	59	工程の結合	26,113
今日の日報を作成	10	原図	34,69,92,98	工程の削除	26,113
行複写	67,91,97	原図領域	34	工程の作成	26,113
曲線	53,54	原図領域(2点指定)	34	工程の分割	26,113
曲線要素	54	建設CAD起動	17	工程編集	26,113
距離・角度入力	44	建設CAD編集	17		
距離・角度補正	86				
距離・勾配入力	45				

交点	45,69,85,92,99	座標登録	49,52,56	実績の登録	26
交点設定	63	座標入力	33	実績の表示切替	26,113
小段	62	座標入力に戻る	49	実績編集を終わる	28,115
弧長	36	座標プロット	33	自動	38
勾配	36,56,59	座標変換	48	自動作成	39,60,73,90
項目選択	106	座標補正△x△y	44	自動三斜	58
項目変更	67,91,97	座標元に戻る	48	自動追従	43
コピー	32,82,83	座標やり直し	48	自動トレース	43
コピー〔範囲指定〕	32	サブフォルダ以下のファイルを表示	8	自動ハイライト表示	44
個別	38	左右中央	85	シフト	53,59
個別データ	23,110	算出点削除	56	シミュレート	90
コマンドバー	105	算出点指定	56	斜距離	47
コマンドバーカスタマイズ	46	三斜	58	写真管理	67,73,91,97
ごみ箱	77	三斜線変更	58	写真管理基準	16
ごみ箱に移動	3,7	残数量	28	写真管理データ取込	103
ごみ箱を開く	7	三辺	58	「写真管理」の終了	76
混合	57	次回起動時最後に編集した 工事を開く	4,8	写真管理を起動して取込	84
コンタレース	43	資機材マスタ登録	17	写真工種ツリー表示	105
		システムカラー設定	43	写真・参考図参照	105
		下へ移動	15	写真情報	76,77,78
		四角形	35,43,68,69,84,91,93,98,99	写真情報管理ファイル	103
		四角形イン	45,86	写真取込	84
		四角形タッチ	45,86	斜面積	47
		四角形内	69,93,99	車両軌跡	39
		四角形補正	38	ジャンプ	67,90,97
		時間尺	27,28,114,115	縦横断入力切替	66
		資機材	25,26,113	自由曲線	36,85
		資機材の削除	116	自由線	68,91,98
		資機材・組織・人材マスタ(共通)	3	集計	10,39
		資機材の登録	116	重心(多角形入力)	37
		資機材の表示切替	25,26,112	重心(閉合図形選択)	37
		資機材の編集	3	縦断	60
		資材名	16	縦断図配置	58,59,60
		自社情報	3,16	縦断図旗上げ	38
		辞書	16	縦断線形	33
		下	85	縦断データ読み込み	54
		実経費率	115	終了	4
		実経費率の登録	113	朱書き	40
		実績一覧	116	縮尺	44
		実績合計	28,115	縮尺設定	46
		実績工程の結合	27,114	縮尺追加	46
		実績工程の削除	27,114	縮尺編集	42,43
		実績工程の作成	27	主体	27,114
		実績工程の作成(稼働日の登録)	114	出力設定	67,91,97
		実績工程の分割	27,114	順序	85
		実績工程編集	26,113	準備(共有フォルダ作成)	106
		実績登録	26,113	上位桁	48
		実績の一覧表示	26,113	条件設定	66,77,90,96
				照査	41
				照査(自動)	41

さ

最下位層	27,28,114,115
再計算	51
最新の情報に更新	84
最新の情報に更新する	4,7,83
最前面へ移動	68,85,92,98
最背面へ移動	68,85,92,98
再描画	34
作業	24,25,26,111,112,113
作業設定	59,60
作業の選択	31
作業の登録	24,111
作業の複製	25,112
作業リスト編集	25,112
作業を開始する	3
削除	10,15,18,25,34,37,41,62,63,66,67,68, 70,73,78,82,85,90,92,96,98,104,112
削除(写真を削除して詰める)	83
削除(点)	55,56
削除(範囲)	55,56
作成	37,43,77,83,114
作成方法	58
サーチ	43
撮影年月日取得	104
座標	38
座標から作成	55,59
座標値プロット	38
座標抽出	58
座標デジタイズ	47

上下中央	85	寸法値再計算	36	全解除	27,115
詳細	4	寸法値チェック	41	全階層	27,28,114,115
詳細情報	24,111	寸法分割	36	線間カット	42
詳細表示	78	成果設定テンプレート	3	線形XML	33,60
使用状態の強制解除	3	成果設定テンプレートとして保存	12	線形切替	60
情報置換	77,78	成果の登録	15	線形計算	33
情報の編集	4	成果フォルダ	8	線形データ	53
初期状態に戻す	3	成果フォルダから作成	12	線形データ読み込み	54
初期設定	49	成果フォルダからチェックリスト作成	12	線形入力	51,52,53,61
所属グループの変更	3	成果フォルダの設定	3	線形変換	61
仕分け	76	成果編集	77	全項目	61,62,63
新規工事を作成する	3	成果編集をする	68,91,97	前後関係	26,27,113,115
新規作成	31,82,103	制御点編集	39	前後関係の表示切替	26,113
新規データ	7	整合	42	全削除	37,62,63
新規データ作成	23,24,110,111	正多角形	35	線種	44
伸縮	41,42	整列	42,83	線種設定	46
シンボル	40	積算データ	77	線上	45,69,86,93,99
シンボル取り込み	16	積算データ取込	25,112	線伸縮	42,85
水準入力	53,55,59	責任主体自動変更	41	全選択	45
垂線	35,68,84,91,98	属性移動	42	センター地層線	55
垂線の足	51	属性取得	42	センター取込	52
垂線の足(2点指定)	37	属性複写	42	センター標高	51
垂線の足(要素指定)	37	施工CADデータ(.EXG)を開く	31	センター表示	51,52,53,61
垂直点	37	施工計画書出力	15	全体	43
水平垂直(点間)	35	施工計画書ヘルプ	17	選択移動	45
水平垂直(要素)	36	施工計画書マスタ	19	選択した日の日報を作成	10
数学系	45	施工方法	16,19	選択モード	69,86,93,99
数値チェック	61	施工方法マスタ登録	17	先頭	67,90,97
数量	28,115	施工方法例文	16,19	線の延長点	47
数量計算	40	接円弧	35	線の変化点を表示	44
数量集計	41	設計値一括設定	73	線幅表示	69,92,99
図形引出し	40	設計変更	25,26,112,113	全部	116
図形引出し(複数行)	40	切削オーバーレイ	33	線分	69,84,93,99
スケジュール	7	切削オーバーレイ読み込	57	全文検索	104
スタイルシート使用	105	切削データ	60	前面へ	38,43
スタンプ	41	接線	35	前面へ移動	68,85,92,98
ステータスバー	47,69,78,86,92,99,105	接続設定	60	操作ナビゲーション	107
すべて選択	104	接続線	63	操作ナビゲーションを利用する	79
スペルチェック	15	絶対座標入力	44	挿入	34,83,85
図面管理ファイル	103	設定	10,43,57,77,85	挿入(別フォーム)	83
図面作成	52,57	設定のバックアップ	5	属性一括	38
図面モニタ	34	設定のリストア	5	属性一覧	38
隅切計算	47	セル	67,90,91,97	属性選択	45
スライド	77	セル項目変更	67,91,97	属性入力確認	38
図枠・表題	39	セル設定	69,92,99	属性複写	38
寸法	55,56	セルの固定	67,91,97	属性マスタ	38
寸法合成	36	セルの固定解除	67,91,97	測定項目	66,90,96
寸法線	35,36	セルの訂正	83	測点	66,73
寸法高調整	36	線	35,68,84,91,97,98	測点指定	52
				測点自動	53,59

測点自動作成	57,66
測点数設定	68
測点スタイル	51,61
測量系	45
測量計算データ起動	33
測量計算・図面データビューア	103
測量計算データ管理	33
組織マスタ登録	17
その他	62
その他形式	61

た

対象ファイル	106
台数	90
台数設定	92
台帳表示	78
ダイナミックピック	45,86
ダイナミックピックのヒント表示	86
ダウンロード	32
楕円	35,84
楕円・楕円弧	35
楕円弧	35,85
多角形	43,68,84,91,98
多角形イン	45,86
多角形タッチ	45,86
打設日	96
打設日毎入力	96
達成率	28,114,115
達成率の登録	113
達成量	27,28,115
単位	28,115
単位水量(塩分)一括訂正	97
単線	35
端点	45,69,86,92,99
端点距離	47
断面	39
断面情報	59
断面積	62
断面設定	55,56
チェック	41
チェックボックス表示	105
チェックリスト	7
チェックリストから作成	12
地下構造物	62
中止	33
抽出	49
中心点	45,69,86,93,99

中心半径	68,91,98
中心・半径・角度	35
中点	45,69,86,93,99
丁張計算	54,55,56
帳票作成	48,49,50,52,53,54,55,56,57,58,59
帳票の出力	73
重複線	43
直折れ線	68,91,98
直線	36
直線と円	47
直径	35,36
追加	4,18,34,63,66,73,90,96
ツリーイメージに 大きいアイコンを使用	25
ツリーの複製	25,112
ツリービューの表示	105
ツリー表示	16
ツールバー	47,69,92,98,105
訂正	28,38,39,40,41,68,92,98
訂正(点)	55
訂正(範囲)	55
出来形管理基準	16
出来形管理の終了	66
出来形項目	62
出来形設定	60
出来形展開図	33
出来形へ出力	73
テキスト	68,91,97
テキストボックス	84
出来高グラフ	26,113
手差し	77
テストハンマー	96
データ書込	23,110
データ管理	46
データ削除	23,110
データ情報	24,111
データ取込	25,112
データの取込	7
データ入力	51,52,53,54,57,58
データ複製	23,110
データ読込	23,24,110,111
データ領域	34
データ量の状態	47
データ連携	25,112
データ入力をする	66,90,96
点	36
天気登録	24,111
点指定	46,55

電子納品出力	103
電子納品ツール	78
電子納品取込	103
電子納品メディア書込	103
電子納品要領・基準案の参照	7,10,12
電子納品要領・基準案の選択	3,76
電子媒体納品書印	107
電子野帳送出	48
電子野帳取込	48,50
電卓	70,93,99
点と線の距離方向角	46
テンプレート	76
テンプレート管理	67,91,97
テンプレートデータとして保存	23,110
点・マーク	36,84
等高線	39
等分割(2点指定)	37
等分割(要素指定)	37
透明化	17
登録	38,40,70,78,83
登録(共有フォルダからの データ取込)	106
登録ファイル	104
登録ファイル確認	106
道路中心線形	61
道路中心線形データ書込み	33
道路中心線形データ読込み	33
道路面	61
特殊	40
特殊図形	40
特殊線入力	40
特殊線編集	40
土工管理	39
土工区分線	39
「どこでも写真管理」ダウンロード	76
「どこでも写真管理」取込	76
「どこでも写真管理」分類出力	76
「どこでも写真管理」連携	76
閉じる	48
「どっと原価NEO」連携ファイル	23
トラバース計算	33
ドラフタ	44,70,86,93,99
ドラフタ設定	46,70,93,99
取消	33
取り込み	53,76
トリミング	37
土量	39

な

内分点外分点	47	バックアップ	20	品質管理の終了	96
中抜き	40	バック指定	45	ファイラー一覧出力	103
ナビちゃん	24,111	発注図を開くガイド	31	ファイル管理ナビ	
名前の変更	7	ハッチング	40	for Document Navigator	106
名前を付けて保存	31,82,103	パノラマ	77	ファイル関連付け	104
並び替え	50,55,66	幅	62	ファイル情報設定	106
並べ替え	66,67,73,77,90,96,104	巾杭計算	51,52,53	ファイル追加	15
日施工量	28,115	巾杭計算条件	51	ファイル登録	104
日施工量から工数を計算	26,113	パラメトリック	40	ファイル登録コンシェルジュ	105
日数(測点数)設定	98	貼り付け	32,82,83	ファイルのバックアップ	103
二等分線	35	範囲	38	ファイル名の日本語表示	105
入力	36,40	範囲移動	39	ファイルやフォルダ	104
入力条件	57,59	範囲三斜	58	ファンクションバー	69,78,86,92,99
入力属性設定	44	範囲指定	42,55	フォーム	83
入力(点)	55	半径	35,36	フォーム選択	67,91,97
入力(範囲)	56	番号の整列	77,78	フォーム並べ替え	67,91,97
入力・編集	76	番号表示	85	フォルダ	24,104,111
入力方法	52	比較画面	27,114	フォルダウィンドウ	105
入力モード	44	引出線	36	フォルダ情報	104
任意線	37	引き出し文字	68,84,91,97	深さ	62
任意点距離	47	非検索データをバック表示	44	吹出し	40
塗潰し	36	左	85	吹き出し	84
納品チェック	106	ピック設定	69,93,99	福井コンピュータ連携	31,32
納品チェック(外部)	106	ピック補助	47	幅員計算	51,52
納品ファイラー一覧	103	ピックモード	45,69,85,86,92,93,99	幅員線	38
法長	62	一つ上へ移動	83	複写	34,41,66,68,85,92,98
法面	39,62	一つ下へ移動	83	複数行	35,40
法面展開図	33	ひな形ファイルの登録・編集	7,10,12	複製	3,7
法面部設定	55	表	39	副断面設定	55
法枠	39	描画順序	68,92,98	部品	37

は

バー	27,114	標高値配置	39	フリー	45,69,86,93,99
バージョン情報	5,17,47,70,79,86,93,100,107	標高訂正	39	フリーハンド	40,45,69,86,93,99
配置	17,37,39,40,55,58,62,83	標高点による補正	39	フリーハンド領域	69,93,99
配置揃え	85	標高配置	39	フリーハンド領域内	69,93,99
配置モード	85	表示	34,47	フリーページ領域の設定	34
背面へ	38,43	表示項目	48,49,50,52,53,55,57,59	フリーページ領域の配置	34
背面へ移動	68,85,92,98	表示色	44	プリンタの設定	32,82,103
倍率拡大	34,69,92,98	表紙挿入	82	プレーキ点	51
倍率縮小	34,69,92,98	表示範囲	27,114	プレビュー	77
配列複写	41	表示モード	44	プレビュー画面の表示領域拡大	105
白紙に戻す	82	標準断面	56	プレビュー表示	105
白紙ページ挿入	82	表・セル	83	プレビュー表示の更新	105
パス設定	20	表属性付加	39	ブロック積割付け	40
パスの設定	4	表題欄一括配置	39	プロパティ	104
旗上げ	38,41	表の訂正	83	プロパティのクリア	12
バック	43	表の入力	83	分解	42,83
		表配置	49,50,52,57,61	分割	42
		開く	7,31,82,103	分類	78
		「開く」データの変更	78		
		品質管理基準	15,16		

分類出力	76
分類情報	90,96
分類の登録	15
分類読み込み	76,77
閉合	84
閉合図形ベクトル化	43
平行移動点	47
平行線	35,36,37,68,84,91,97
平面	60
平面指定	62
平面図旗上げ	38
平面線形	38
ページ	34,82,83
ページ指定印刷	32
ページ挿入	82
ページ挿入(別フォーム)	82
ページタブバー	47
ページの一括変更	84
ページの書込	84
ページの変更	83
ページのメンテナンス	84
ページ編集初期化	68,92,98
別ウィンドウでプレビュー	104
ヘルプ	5,47,70,79,86,93,100,107
ヘロン・三斜	38
ペン	44
変更	66,67,73,96
ペン設定	46
変化点情報	55
変化点編集	42
変形	42
変形(寸法訂正)	42
変更	15,18,90,96
編集	17,38,40,43,62,83
編集前画像の出力	78
編集モード	85
編集を取り消す	49,50,51,52,53,54,55,56,57,58,59,60,61,62,63
辺長	38
ポイント	45
方位マーク	40
ポケット出力	70
ポケット取込	50
補助	37
舗装	55
装出来形管理データ読込	57
舗装出来形管理の終了	73
舗装展開図	17
ポップアップカスタマイズ	46

ま

マウス	27
前	34
前表示	34
マーク	36,45
マークプロット	38
マスターとして保存	68,92,98
マスタ貼り付け	16
末尾	67,90,97
豆図	40,83
豆図CAD起動	17
豆図CAD編集	17
豆図参照	67
豆図取り込み	16
豆図配置	68
豆図変更	68
豆図編集	68
丸め設定	44
右	85
見消	35
武蔵CSV取込(工程を含む)	25,112
武蔵.TV	5,16,47,107
武蔵データ	7
名称変更	82
メッセージバー	47
面積	47,62
面積計算	39
面積算出範囲	59
面取り	42
文字	35,68,84,91,97
文字入力	84
文字表示	44
文字編集	42
文字列	35,40
文字列検索	34
文字列置換	43,76
持ち出し	3,4
持ち出し終了	3,4
元に戻す	32,59,60,66,76,82,90,96
モノクロラスタをグレースケール化	44

や

矢印	85
野帳データ	49
山積みグラフ	26,113
やり直し	32,59,60,66,76,82,90,96
ユーザー	104
ユーザマスタ合成	20
ユニット作成	116
擁壁展開図	33
用紙設定	44,83
要素指定	42,46
要素長	47
要素と点の距離	36
要領案資料	107
要領案の変換	103
よくある質問と回答	5,47,70,79,86,93,100,107
予定分	116
読込み	56,60
より高度な編集	85

ら

ラスタ	37,38,45
ラスタスナップ	43
ラスタピック設定	46
ラベル印刷	107
リコーカメラメモリスト出力	76
リストア	20
リストビュー	105
リドウ	27,28,114,115
リモートサポート	5,47,70,79,86,93,100,107
輪郭ベクトル化	43
リンク	38
リンク先変更	104
リンクの設定	33
リンクフォルダと同期	106
ルーペ	34
ルーラーを表示する	69,92,98
レイアウト一括適用	83
レイヤ	44
レイヤ設定	46
レイヤ振分けアシスト	41
レ点	41
連結	42
連続距離	46
連続弧長	36
連続線	35,36,68,91,97
連続線変換	39

連続配置	62	CSV	76	X-FIELD読み込み	55
連続平行移動点	47	CSV書込	48	X-FIELD路線データへ保存	32
連続平行線	35	CSV取込	48	XLSファイルを出力	66,90,96
連番設定	15	CSVファイル出力	23,110	xy座標補正	86
連絡先一覧	16	DTDファイルを表示	105	XY入力	44
連絡先作成パターン	19	DXF/DWG	46	Z値編集	46
ローカルマスターの更新	5	DXF/DWG一括保存	31		
路線計算条件	51,61	D&D Keeper for imagio	106		
路線の設定	73	Excel出力	66,76,90,96		

わ

枠配置	83
-----	----

英数字

1点1方向	47	FCコンシェルジュ	5,47,107
1日分を登録	116	Google Earth	61
2円の交点	37,47	Google Earth 出力	31
2線間距離	46	HTML	76
2点間削除	42	iNetHELP設定	47,70,79,86,93,100
2点間の距離方向	46	IP点番点名付け直し	51
2点指示	36	LandXML	46,60,61
2点指定	43	LandXMLデータ書込み	33
2線の夾角	36	OK	33
2点の midpoint	47	PDF結合	104
2点半径	35	PDF出力	66
2点平行	36	PDF取込アシスト	31
3D化	17	PDFファイルを出力	66,90,96
3D形状線	63	PDF分割	104
3次元設計データ作成	33	PDF変換	104
3点外接	35	SIMA	53
3点垂直	46,47	SIMA (JPGIS) 書込	48
3点内角	36,46	SIMA (JPGIS) 取込	48
3点内接	35	SIMA書込	48
4点交点	37,47	SIMA書込み	51,55
4半円点	45	SIMA取込	48
BTV・BTXAデータを開く	31	SIMA読み込み	51,55
BX互換ファイルへ保存	32	SIMA読み込み	59
BX互換ファイルを開く	31	SXF一括保存	31
CAD	46	SXF属性	38
CAD四角形入力	49,50	TeamGEO2データビューア	103
CAD数値化	54,61	TRENDffデータ(.MFF)を開く	31
CAD製図基準チェック	41	TREND-POINT読み込み	59
CAD多角形入力	49,50	TS出来形断面設定	56
CADチェック設定	106	Web/PDF取り込み	17
CAD[要素指定]	46	X-FIELD/XYCLONE取込	50
CD-Rライタソフトの起動	107	X-FIELD(.XFD)/XYCLONE データ(.MCF)へ保存	32
CIMPHONY連携	32	X-FIELD(.XFD)/XYCLONE データ(.MCF)を開く	31